

第八十四回 帝國議會衆院

大日本育英會法案外二件委員會議錄(速記)第一回

昭和十九年一月二十四日(月曜日)午前十時
十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小柳

理事柏原

池崎

紀藤

小柳

高城

圖師

樋口

眞崎

水谷

最上

渡邊

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣

文部省總務局長

文部省專門教育局長

文部省國民教育局長

文部省教學局長

文部省科學局長

文部省體育局長

文部書記官

厚生省勤勞局長

中村敬之進君

小笠原道生君

阿原謙藏君

近藤壽治君

清水虎雄君

永井浩君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
大日本育英會法案(政府提出)

青年學校教育費國庫補助法中改正法律案
(政府提出)

公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正
法律案(政府提出)

○小柳委員長 ソレデハ是カラ會議ヲ開キ

マス、御諸り致シタインデアリマスルガ、國

ニ著手致シマシタ、舊曆第一回ノ獎學生ノ

銓衡ヲ終ツテソレバ、送金ヲ終リマシタ、

目下第二回ノ銓衡ニ銳意努力中デアリマス

ルガ、本來本財團法人ハ暫定的措置トシテ

設立セラレタノデアリマシテ、本制度ノ趣

旨ニ鑑ミマシテ、之ニ事業ノ確實性ト永續

性トヲ附與シテ鞏固ナル國家的施設ト致シ

マスル爲ニ、之ヲ特別法ニ依ル特殊法人ト

ナスコトノ必要デアルコトハ豫テヨリ唱ヘ

ラレテ居ツタ所テアリマシテ、今回大日本

育英會法案ヲ策定致シマシテ、今會議ニ提

出シテ御協賛ヲ御願ヒスルコトトシタ次第

デアリマス、本法案ノ立て方ハ他ノ金庫法、

營團法等ニ依ル特殊法人ノ用例ニ從ツタ

點ガ多イノデアリマスノデ、本案自體ノ特

異ノ點ヲ主トシテ御説明申上げタイト思ヒ

マス

○岡部國務大臣 大日本育英會法案外二件

ノ提案ノ理由並ニ其ノ内容ノ主ナル點ニ付

テ御説明ヲ申上げタイト存ジマス

先ヅ大日本育英會法案ニ付テ御説明ヲ申

上ゲマスルガ、先般前通常議會ニ於テ各位等

ノ非常ナル熱心ナル御意見モアリ、又其ノ後

付託議案

大日本育英會法案(政府提出)(第一四號)
青年學校教育費國庫補助法中改正
法律案(政府提出)(第一七號)
公立學校職員年功加俸國庫補助法
中改正法律案(政府提出)(第一八號)

(一八)

種々御配慮ヲ受ケマシテ財團法人大日本育英會ハ、昨年十月設立ヲ見マシテ愈々事業ニ着手致シマシタ、舊曆第一回ノ獎學生ノ銓衡ヲ終ツテソレバ、送金ヲ終リマシタ、

目下第二回ノ銓衡ニ銳意努力中デアリマスルガ、本來本財團法人ハ暫定的措置トシテ設立セラレタノデアリマシテ、本制度ノ趣旨ニ鑑ミマシテ、之ニ事業ノ確實性ト永續性トヲ附與シテ鞏固ナル國家的施設ト致シマスル爲ニ、之ヲ特別法ニ依ル特殊法人トナスコトノ必要デアルコトハ豫テヨリ唱ヘラレテ居ツタ所テアリマシテ、今回大日本育英會法案ヲ策定致シマシテ、今會議ニ提出シテ御説明申上げマス

第一ニハ第三條ノ本會ノ基金ニ付テノ規定デアリマス、百萬圓ノ基金ヲ造成致スコトト致シマシタノハ、本會ニ法人格ヲ附與致シマスル爲ノ財的根據ヲ置イタノニ外ナラナイノデアリマス、尤モ本會ノ事業費或ハ事務費等ハ、別ニ國ニ於テ面倒ヲ見ルコトトナツテ居ルノデアリマシテ、此ノ事ハ後ニ申述ベタイト思ヒマス

第二ニハ第十六條ノ本會ノ業務ノ規定デアリマスルガ、第一號ノ學資ノ貸與ハ本會ノ中心ノ事業デアルコトハ申スマデモアリマセヌ、其ノ外ニ本會ト致シマシテハ獎學生ノ進學ノ輔導ヲ致シマストカ、或ハ寮舍ツク所デアリマス、隨ヒマシテ此ノ事業ガ豫期サレルノデアリマス、此ノ點ガ從来アリマスル所ノ金庫或ハ營團等ト全然異ナ

ヲ造ツテ收容シ修學ノ便宜ヲ圖ルトカ、其ノ他福利施設等モ漸次計畫實施シテ行クコトが適當ト考ヘマシテ、第二號以下ノ規定ヲ設ケタ次第デアリマス

第四ニハ第十七條ノ貸與學資ノ資金ノコトデアリマスルガ、是ハ大藏省預金部ヨリ融通ヲ受ケルコト、其ノ他別ニ尙適當ナルモノガアレバソレニ依リ得ルコト、或ハ寄附金ヲ以テ充當シ得ルコト等ヲ規定シテ、資金融通ノ方法ヲ明カニシタ次第デアリマス

第五ニハ第二十七條及び第二十八條ノ規定ニ付テデアリマスルガ、前ニ申シマシタ通リ本法人ニ對スル政府ノ保證及ビ補助ノ件ヲ定メタノデアリマシテ、之ヲ以テ本法人ノ財政的基礎ヲ確立シ、之ニ永續性ト國家性トヲ附與致サンストスルモノデアリマス、第十六條第一項第一號ニ規定シテ居リマスル學資ノ貸與ニ要スル資金ハ、毎年度所要額ヲ大藏省預金部ヨリ借入レルコトニナツテ居リマシテ、政府ハ其ノ借入金ノ元本ノ償還利息ノ支拂ニ付テ、二億七千四百萬圓ヲ限度トシテ之ヲ保證スルコトヲ得ルコトヲ第二十七條ニ規定シタノデアリマス、即チ此ノ保證ニ依リマシテ、大日本育英會ニ其ノ業務ヲ永續的ニ行ヒ得ル基礎ヲ與ヘ、又之ニ依リ事業ノ國家的意義ヲ明確ニシタノデアリマス

次ニ第二十八條ノ補助ニ關シマシテハ、先づ大日本育英會ノ貸費ノ方法ノ概略ヲ御説明申シマス、育英會ノ貸費致シマスル人員ハ中等學校六千人、專門學校千五百人、高等學校千三百人、大學千二百人ト致シテ居ルノデアリマシテ、各年度ニ於テ新タニ貸費ヲ始メマスル人員ハ合計一萬人デアリ

マスルガ、此ノ計畫ニ依リ貸費ヲ行ツテ參リマスト、昭和五十七年度即チ丁度四十年

餘名トナリマシテ、其ノ貸費總額ガ三億六千四百萬圓トナリ、以下増減ガナイコトトナル計算デアリマス、而シテ此ノ貸費總額ノ中ノ二億七千四百萬圓ヲ預金部ヨリ借入レ、残リノ九千百萬圓ハ貸費ノ返還金中カラ預金部ニ對スル償還金ヲ差引キマシタ殘額ヲ、育英會ニ於テ償還準備トシテ保有シテ居リ、之ヲ貸費資金ニ充當スルコトト致サントスルノデアリマス、而シテ預金部ヨリノ借入金ハ五年据置二十五年賦ヲ以テ償還致シマスルガ、其ノ償還方法ハ獎學生即チ貸費ヲ受ケタ者ノ中死亡者ノ貸費額ニ相當スル額ヲ年々償還シテ、三十年目ニ生存者ノ分ヲ纏メテ償還スルコトニナツテ居リマス、而シテ死亡者ニ對スル貸費ハ返還ヲ免除致シマスル關係上、當然ニ育英會ノ損失トナル譯デアリマシテ、此ノ損失ヲ補填致シマス方法トシテ、貸費ノ返還金ヲ基礎トリシテ勅令ノ定ムル所ニ依リ算出致シマシタ金額、即チ前述ノ償還準備トシテ保有スベキ金額デ、實際ハ貸費資金ニ充當シテ居ル金額ニ對シマシテ、一定ノ運用利子收入ヲ補給スル方式ヲ採用シタ次第デアリマス

第一十八條第一項第一號ハ貸費資金トシテ預金部ヨリ借入レタ金額ニ對スル利子ノ補助、同項第一號ハ貸費ノ返還金ヲ基礎トシテ算出シタ金額ニ對スル補助ヲ規定致シマス、而シテ從來市町村立青年學校、是ハ市町村立青年學校ニ相當スル東京都立青年學校ヲモ含ムモノデアリマス、其ノ職員ノ俸給ニ付テハ國庫ノ豫算ニ計上セラレタ定額ヲ以テ、市町村ニ對シ補助シテ來タモノノ損失等ニ付テ、毎年度豫算ノ範圍内ニ於

テ補助スルコトヲ得ル規定ヲ設ケタノデアリマス

第六ニハ附則ニ付テ申上ゲマス、第一本付テ概略御説明申上ゲタノデアリマスガ、其ノ他ノ點ハ先ニモ申述ベマシタ通り、他ノ特殊法人ニ於テ定メラレテ居ル事項ト大同小異デアリマスカラ、特ニ御説明致ストハ省略サセテ戴キタイト存ジマス、尙本會ノ今後ノ運營ニ付キマシテハ、此ノ上トモ格別ノ御配意ヲ仰ギタイト存ジマスガ、此ノ機會ニ併セテ特ニ御願ヒ申上ゲテ置ク

次第デアリマス
次ニ青年學校教育費國庫補助法中改正法律案ノ御説明ヲ申上ゲマス、御承知ノ通り青年學校ハ國民學校ト同様、國民ノ義務教育デアリマスノデ、市町村立青年學校職員ハ、國民學校ニ限ルノデアリマシテ、是ハ國民學校ノ場合ト同様ノ趣旨ニ依ルモノデアリマス、尙市町村立青年學校職員中國庫ニ於テ其ノ給與ノ半額ヲ補助スル職員ハ、國民學校職員ノ場合ト同様ノ義務就學者ノ教授及び訓練ヲ擔任スル職員ニ限ルノデアリマス、次ニ公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正法律案ニ付テ御説明申上ゲマス、只今御説明致シマシタ青年學校教育費國庫補助法ノ改正ニ依リマシテ、市町村立青年學校職員ノ年功加俸ニ對スル國庫補助金モ之ニ包含サレテ、其ノ半額ガ定率補助サレルコトニナリマスカラ、本法カラ青年學校職員ヲ除外スルノ要ガアリマスルシ、又青年學校教員養成所ハ昭和十九年度カラ官立青年師範學校ト致シタイノデ、本法中ノ職員カラ之ヲ除外スルノ必要ガアルノデアリマスノデ、本法ヲ改正セントスルノデアリマス以上三件ニ付キマシテ概略ヲ御説明致シマシタ、何卒御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス

デアリマス、年功加俸ニ付テモ國庫豫算ニシテ來タノデアリマス、然ルニ青年學校教育整備擴充ハ時局下特ニ其ノ必要ヲ加ヘテ

立ニ當リマシテハ設立委員ヲ設ケ、廣ク衆智ヲ集メマシテ十分ニ議ヲ練リ、萬全ノ用意ヲ致シタイト云フコト、第三ハ財團法人大日本育英會ハ解散シテ、此ノ權利義務ハ本會ガ承繼スルコト等ガ其ノ重要ナル點デアリマス
以上大日本育英會法案中其ノ主ナル點ニ付テ概略御説明申上ゲタノデアリマスガ、其ノ他ノ點ハ先ニモ申述ベマシタ通り、他ノ特殊法人ニ於テ定メラレテ居ル事項ト大同小異デアリマスカラ、特ニ御説明致ストハ省略サセテ戴キタイト存ジマス、尙本會ノ今後ノ運營ニ付キマシテハ、此ノ上トモ格別ノ御配意ヲ仰ギタイト存ジマスガ、此ノ機會ニ併セテ特ニ御願ヒ申上ゲテ置ク

次第デアリマス
次ニ青年學校教育費國庫補助法中改正法律案ノ御説明ヲ申上ゲマス、御承知ノ通り青年學校ハ國民學校ト同様、國民ノ義務教育デアリマスノデ、市町村立青年學校職員ハ、國民學校ニ限ルノデアリマシテ、是ハ國民學校ノ場合ト同様ノ趣旨ニ依ルモノデアリマス、尙市町村立青年學校職員中國庫ニ於テ其ノ給與ノ半額ヲ補助スル職員ハ、國民學校職員ノ場合ト同様ノ義務就學者ノ教授及び訓練ヲ擔任スル職員ニ限ルノデアリマス、次ニ公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正法律案ニ付テ御説明申上ゲマス、只今御説明致シマシタ青年學校教育費國庫補助法ノ改正ニ依リマシテ、市町村立青年學校職員ノ年功加俸ニ對スル國庫補助金モ之ニ包含サレテ、其ノ半額ガ定率補助サレルコトニナリマスカラ、本法カラ青年學校職員ヲ除外スルノ要ガアリマスルシ、又青年學校教員養成所ハ昭和十九年度カラ官立青年師範學校ト致シタイノデ、本法中ノ職員カラ之ヲ除外スルノ必要ガアルノデアリマスノデ、本法ヲ改正セントスルノデアリマス以上三件ニ付キマシテ概略ヲ御説明致シマシタ、何卒御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス

○小柳委員長 是ヨリ質疑ニ入りタイト思

ヒマス、通告順ニ依リマシテ之ヲ許シマス——最上政三君

○最上委員 私ハ文部行政ニ付テ色々當局ニ伺ヒタインデアリマスガ、實ハ各項目ニ瓦ル質疑中、偶大臣ニ質疑致シタイ點ガアルノデアリマシテ、大臣諸用ガアラレマセウカラ、私ハ纏メテ先ツ勞頭大臣ニ二、三點御伺ヒ申上ゲマス、隨テ辻棲ノ合ハナイ點モアルカモ知レマセヌガ、其ノ邊ハ宜シク御聽取り願ヒタインデアリマス、第一點ハ戰時ノ教育ノ根本的對策ト私立學校ノ官立學校統合問題、第二ハ事變以來ノ教育方針ニ鑑ミ指導者ノ再教育方針、對策、第三ハ國民學校ノ就學年齡低下ニ對スル問題デアリマス、第四ハ科學技術者動員對策、此ノ四點ニ付テ聊カ御説明ヲシテ當局大臣ノ御意見ヲ聽キタインデアリマス

我が國ノ教育ノ指導原理ハ教育勅語ニ

大體現ハレテ居ル所デアツテ、我々ガ歎々ス

ルマデモナイノデアリマス、現下高度國防

國家ニ副フベキ戰時教育ハ中々容易ナモノ

デハアリマセヌ、各國ニ於テモ開戰後各

戰時教育強化、或ハ之ニ關スル對策ヲ整ヘ

大學等ハ之ヲ兵營化シテ、中學ニ於テモ今

マデノ教育科目ヲ全部實戰ニ適應スルヤウ

ナ處置ヲ執ル、或ハ電氣化學デアルトカ、

或ハ航空學デアルトカ、「ラジオ」、無線電

行ハレマシタ、併シマダノ實戰ニ即應ス

ハ事實デアリマス、「ノーノー」ト言フ人ガ

ル戰時教育ガ行ハレテ居ルカドウカ、最近政府ニ於テハ、今後各學校ニ對スル所ノ戰時訓練ヲ強化スルト云フヤウナ御方針ヲ說

明サレマシタガ、甚ダ私ハ喜ンデ居ルノデアリマス、今日バカリデハナイ、平時ニ於テモ我ガ國ノ教育ハ、動モスレバ實際ノ問題ニ即應シナイ、例へバ今日農村ニ於テハ電化問題ガ盛ンデアリマス、動力ヲ使フト云フノモ、國民學校ハ兎モ角、中學卒業生スラ、「ス

イッチ」ガ切レタト云ツテモソレヲ直スコトガ出來ナイ、斯ウ云フ有様デアリマスカラ、

第一線ニ於ケル兵ノ如キモ、科學知識ニ乏シイ、自動車、戰車、最近ニ於ケル「ロケータ」¹デアルトカ「ディテクター」デアルトカ云フモノハ使フコトガ出來ナイサウデアリ

マス、斯ウ云フヤウナ事態デアツテハ、政

府ハドウシテモ此ノ際國防國家ニ即應スル

教育對策ヲ立テナケレバナラヌ、同時ニ我

ガ國ノ教育組織ガ非常ニ複雜デアル、是ハ

我ガ國バカリデハアリマセヌ、併シナガラ

國防國家ニ即應スル所ノ教育ハ、其ノ組織

タルヤ之ヲ一元的ニ統一シナケレバナラヌ

ノデアリマス、是ハ現ニ「ドイツ」等ニ於テ

モ行ハレテ居ル、然ルニ我ガ國ハ官公立學

校アリ、私立學校アリト云フヤウナ工合デ、

ノデアリマス

ニ於キマシテモ教育非常措置ニ付キマシテ、ハ兩三回ノ決定ヲ見テ居ルノデアリマス、今日ノ要請ト致シマシテハ、先づ此ノ軍ノ要員、要求ト云フコトガ最モ第一義デアリマスノデ、先般徵集猶豫停止ノ決定ヲ見マシタ、丁年以上ノ學徒ハ總テ徵集ヲ受ケルト云フコトニ大キナ變化ヲ致シタノデアリマス、其ノ結果、法文系ノ者ハ直チニ軍ニ入ツテ、幹部候補生トシテノ教育ヲ受ケ、理工科系統ノ者ハ軍ノ技術要員トシテノ養成ヲスル爲ニ、依然トシテ學校ニ残ツテ、此ノ軍ノ要請ニ應ヘル教育ヲ受ケテ居ル譯勘案致シマシテ、一年ノ三分ノーヲ勤労ノ方ニ奉仕スル、尙今日勤労ガ非常ニ要請セラレマスルノデ、教育面ト勤労ノ要請トヲ此ノ軍ノ要請ニ應ヘル教育ヲ受ケテ居ル譯勘案致シマシテ、一年ノ三分ノーヲ勤労ノ方ニ奉仕スル、或ハ都合ニ依ツテハ更ニソレ以上ニ延バシテモ宜イコトニ決定ヲシテ居ルノデアリマス、現ニ東京地方ニ於キマスル大學及ビ専門學校ノ電氣科ノ最高級ノ者ハ、昨年十月或ハ十一月頃カラ電波通信機ノ製作ニ實習の——實習ト申シマスヨリハ、寧ロ工場ニ於テ最モ重要ナル役割ヲ分擔シテ、貢獻シテ居ルヤウナ譯デアリマス、尙其ノ他ノ方面ニ於キマシテモ、一年ニ四ヶ月間ト云フモノハ相當ナ時間デアリマシテ、更ニ専門學校或ハ大學教育ヲ受ケマシタ者ハ、工場ニ於テヤハリサウ云フヤウナ方面ノ國家ニ寄與スルコトモ考ヘテ居ルノデアリマス、今後ハ尙其ノ點ニ付ケハ一層充實ヲ圖ツテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ同時ニ又

此ノ教育ノコトヲ全然放擲スルコトハ到底國家トシテ許スベキデハアリマセヌノデ、
教育ノ方ハ出來ルダケ重點的ニ之ヲ壓縮致
シマシテ、刻下ノ軍ノ要請、勤勞方面ノ要
請、相勘案シ合ツテ、教育ヲ戰時型ニ切替
ヘルコトニ著々ヤツテ居ル譯デアリマス
ソレカラ私立學校ヲ官立學校ニ統合スル
考ヘバナイカト云フ御質問デアリマシタガ、
是ハ色々々ノ事情カラシデ篤ト考ヘナケレバ
ナラヌ問題デアリマスルノデ、此ノ點ニ付
キマシテハ唯御意見トシテ承ツテ置クコト
ニシタイト思ヒマス

次ニ國防國家ノ今日、指導者ニ對スル再
教育ヲスル必要ニ付テノ御質問デアリマシ
タガ、此ノ點モ至極御尤モナ御意見デアリ
マシテ、政府ニ於キマシテハ師範學校卒業
生等ニ對シマシテ先づ再教育ノ方法ヲ講ジ
テ居リマス、又其ノ他ノ學校ノ校長或ハ教
員等ニ對シマシテモ、隨時學校ノ教育ノ方
ノ都合ヲ付ケマシテ、或ハ軍隊ニ暫ク入ツ
テ軍隊内ノ教育ノ實情ニ付テノ認識ヲ深メ
ル、或ハ教育課程ニ關シ從來足リナカツタ
點ニ付テノ補充的教育ヲ更ニ施スト云フヤ
ウナ種々ノ方法ヲ講ジテ、國防國家ニ副フ
所ノ教育者トシテノ素養ヲ更ニ深メルヤウ
致シテ居ルノデアリマス

第三ニ、國民學校就學年齢ヲ低下サセル
考ヘハナイカ、是ハ非常ニ教育ノ方面ニ對
シテ深イ諒解ヲ持ツテ居ラル、方ノ御質問
ハ大イニ研究シテ考ヘナケレバナラスト存
ジマシテ、現ニ研究ハ致シテ居リマス、固
ヨリ五歳ト六歳トハ大分發育ノ狀況モ違ヒ
マスルノデ、是ハ或ハ一律ニ實行出來ナイ
コトモアリ得ルト思ヒマスガ、體力ノソレ

ニ耐へ得ル者ニ對シテハ、低下シテ教育ヲ
施スト云フコトモ考ヘナケレバナラヌ問題
デハナイカト思ツテ居ルノデアリマス
ソレカラ第四ノ科學技術者ノ動員ノ問題、
是ハ豫算ニモ此ノ度ハ相當計上致シタノデ
モ支出スルコトヲ考ヘテ居リマス、實際今
日ノ戰爭ハ科學戰デアリ、モウ智慧比ベデ
其ノ必要ヲ認メマスル場合ハ、豫備金カラ
ト云フコトニ付テハ最大ノ努力ヲ拂ハナケレバ
ナラヌト考ヘテ居リマス、尙科學者ノ登録
ニアリマスルノデ、我々トシテハ科學ノ戰力化
ニ付テモ御尋ネガアリマシタガ、是ハ閣議決
定ニ於テ一應登録ヲスルコトニモウ致シテ居リ
リマス、併シ科學者ハ細カク分ケマスト色々
違ツタ専門ガアリマシテ、其ノ専門々々ニ於
テ今マデハ兎角連絡ナシニ、個々ノ研究者ガ
勝手ナ研究ヲシテ居ツタト云フヤウナ嫌ヒ
ガアリマスノデ、先般閣議決定ニ基キマシテ、
文部省ト致シマシテハ學術研究會議ヲ充實
致シマシテ、其ノ中ニ科學研究ノ動員特別
委員會ヲ設ケ、全國ノ科學研究者ト連絡ヲ
十分緊密ニ圖ルコトニ致シマシテ、所謂共
同研究的ナ態勢ヲ整ヘテ、此ノ戰時要請ニ
副フベク努力シテ居ル譯デアリマス、現
ニ其ノ效果ハ相當舉ガテ居リマシテ、例ヘ
バ真空管ノ製作ノ如キハ、此ノ研究ノ結果非
常ニ優秀ナモノガ出來ルヤウニモウ既ニナ
ツテ參ツテ居リマス、其ノ他幾多新シ研
究ガ出來テ居リマスガ、是ハ戰勝ノ祕訣デ
アリマスルカラ公表スルコトハ差控ヘテ置
キタイトと思ヒマス

アリマス、唯時間ノ關係上簡單ニ申上ダマスカラ宣シク御酌取リヲ願ヒタイノデアリマス、
先づ先般教育ニ關スル非常措置ヲ發表セラレ、既ニ決定セラレタ國民學校ノ義務教育八年制ヲ本年カラ實施スル筈デアツタノヲ、延期スルト云フヤウナコトガアリマスガ、其ノ理由ハ勤勞給源ニ依ルモノデアルカ、或ハ其ノ他ノ理由ガアルカ、又當分ノ内ト云フヤウナコトガアリマスガ、其ノ當分ノ内ト申スノハ、戰爭終了後マテト解シテ宜シカ、更ニ朝鮮ニ於テモ二十一年ヨリ六年制義務教育ガ布カレルコトニナツテ居リマスガ、此ノ朝鮮ノ義務制ハドウ云フヤウナコトニナリマスカ、此ノ三點ニ付テ御伺ヒシタイ〇岡部國務大臣　只今ノ國民學校高等科教育義務制延期ノ理由ニ付キマシテハ、大體御推察ノ通り、ヤハリ勤勞關係ガ主タルモノデアリマシテ、國民學校高等科ノ年齢ノ者ガ、直チニ非常ニ大キナ役ヲ務メルトモ考ヘラレマセスガ、家庭ニ於キマシテ、或ハ子守トガ、農村ニ於ケル手傳ヒト云フヤウナコトハ相當立派ニヤレマスノデ、サウスレバ家庭ノ人ガ田へ働キニ出ルト云フヤウナ所ニモ間接的ナ效果ガアリマシ、又先般決定致シマシタ國民勤勞動員方策ノ中ニモ、此ノ度全國民ノ登録ヲスルコトニナツテ居リマスルガ、是等モ滿十二歳カラ登録スルコトニナツテ居リマシテ、國民學校高等科ノ年齢ノ者ハヤハリ此ノ勤勞動員ノ登録ノ中ニ加ハルコトニナル譯デアリマス
ソレカラ義務制延期ノ當分ノ内ト云フノハ、別ニ今期限ヲハツキリ考ヘテ居ル譯デハナク、其ノ必要ガナクナレバ固ヨリ八年制ト

云フ根本ハ飽クマデモ堅持シテ行キタイト
考ヘテ居リマス、出來レバ早ク延期ヲ取消
シ、正規ノ通リニ復スルコトヲ望ンデ居ル
ノデアリマスガ、當分ノ内ド云フノハ、戰爭
終了マデダト云フヤウナコトヲハツキリ申
上ゲルコトハ差控ヘタイト存ズル次第デア
リマス、朝鮮ニ關スルユドハ次官カラ御説
明致シマス

○菊池政府委員 朝鮮ニ於ケル國民學校ノ義務教育ノ取扱ヒニ付キマシテハ、内地ト同一デアリマス

○最上委員 同一ト云フト、朝鮮ハ二十一

年度カラ六年制ガ實施セラル、コトニナツ

テ居リマスガ、ソレハ既ニ決定シテ居ルノ

デアリマセウカ

○菊池政府委員 左様デゴザイマス、取扱

ヒヒ同ジヤウニナツテ居リマス

○最上委員 只今義務制ノ一時延期ノ問題

ニ付テ勤勞給源ニ依ルモノナリト仰セラレ

マシタガ、ソナラバ私ハ多少意見ガアリ

マス、政府ハ今年非常處置ニ依ツテ、普通

ナラバ昭和二十二年ニ中學四年ノ卒業生ヲ

出スノヲ改メテ、來年度ヨリ四年卒業者ヲ

出スヤウニ制定サレマシタ、斯ウ云フヤウ

ニ國民教育ノ義務制ヲ延期スルナラバ、何

故中等學校ノ四年卒業ヲ來年ニセズ、今年

實施シナイカ、サスレバ勞務給源ニ於テモ、

國民學校ノ義務制マデ延期シナクテモ宜イ

ダケノ人員ハ得ラレルト思フ、又今年ノ中

學校等ノ入學定員ヲ見ルト、特ニ十八年度

ノ數ヲ超エナイコトトシテ、却テ工業學校

ノ入學定員ヲ減ラサナイカ、多少減少シ

テモ宜イノデアリマス、何故デアルカト云

五年生ノ數トハ非常ナ違ヒガアル譯デアリ

ハ國民學校尋常科卒業生ノ數ト、中學校ノ

五年生ノ數トハ非常ナ違ヒガアル譯デアリ

ヘルノデアリマス

○岡部國務大臣 國民學校ノ實情ニ付キマ

シテハ、尋常科卒業ノ相當大部分ノ者ハ或

ハ高等科ニ、或ハ他ノ上級學校ニ入る者ガ

大多數デアリマシテ、高等科ニモ行カナイ、

上ノ學校ニモ行カナイ、詰リ尋常科ダケデ

止メテシマフト云フ者ハ比較的極ク少數デ

アリマス、今度義務制ヲ止メテ高等科ニハ

皆ヤラセナイト云フ譯デハ無論アリマセ

ヌ、上ノ方ノ進學ニ付テハ何等ノ拘束ハ致

サナイ方針デアリマス、中學校ノ第五年ノ

コトニ付キマシテモ、是ハ今年四年修業ノ者

ハ上ノ學校ニ進學スルコトヲ許スコトニ致

シタ譯デアリマス、相當專門學校、或ハ高

等學校等ニ入學スル者ガ、中學校ノ四年修

業者ノ中カラ多クアルコトデアラウト考ヘ

タルトカ云フヤウナ國デ、東洋ニ於テモ一二

ス「其ノ他ノ國ニ於テモ皆八年制デアル、六

年制トカ云フ國ハ「バナマ」トカ、「エクアド

ニ付テハ敵英米ノ如キハ、既ニ御承知ノ如

ク九年制デアリマス、「ドイツ」、「フラン

ス」其ノ他ノ國ニ於テモ皆八年制デアル、六

年制トカ云フ國ハ「バナマ」トカ、「エクアド

ル」トカ云フヤウナ國デ、東洋ニ於テモ一二

アリマスガ、大キナ聲デハ言ヘマセヌガ、

比較的弱國デアル、大東亞共榮圈ノ指導者

トシテ日本方今日六年制ノ義務教育ヲ以テ

満足スル、而モ是ガ百萬トカ二百萬ノ給源

ガ得ラレルナラバ兎ニ角、二三十萬ノ給源

ヲ取ル爲ニ斯ウ云フヤウナ延期ヲ聲明セラ

ルト、就學年限ガ違フノデアリマスガ、年限

延長ニ依ツテ是等ノ就學年限ノ調整等ヲ行

フ必要ハアリマセヌデセウカ、此ノ點ニ付

テ御伺ヒ致シタトイ思ヒマス

○岡部國務大臣 其ノ點ニ付テハ政府委員

カラ御説明申上げタ方ガ宜イト思ヒマスカ

ラ…：

○菊池政府委員 淘ニ恐縮デゴザイマスケ

レドモ、私一寸御質問ノ御趣意ヲ擱ミ兼ネ

マシタノデ…：

○最上委員 師範學校ノ改正ノ結果トシテ、

義務教育ヲ實施スル爲ニ、例ヘテ申シマス

レバ女子ハ二十二年度マデニ入學シタ生徒

ハ本科二年デアル、ソレカラハ普通三年デア

ル、男ノ方ハ普通三年デアル、當時政府ノ

説明デハ、何カ年限ヲ延長シタ爲ニ一時教

師が出ナイヤウナ場合ガアルカラ、女子ト

男子トノ間ニ差別ヲ作ツタ云フヤウナコ

トガ言ヘレテ居ルノデアリマスガ、義務年

限延長ヲ中止シタナラバ斯ウ云フコトガ要

ラナイカト云フ意味デアツテ、又今日教員不足ノ折柄、學年ヲ少クシテドンヽ出シタ方ガ有利デアラウト思ツテ聽クノデアリマス

○菊池政府委員 分リマシタ、先般ノ計畫ニ於キマントハ、只今御詫ノゴザイマシタ

ニテ修業年限三年トシテ實行致シタイ、コヤウニ師範學校ガ官立ノ專門學校ノ程度ニナル、隨テ茲ニ年限ノ延長ガ起リマス、サウレバナラナクナリマセス、其ノ需要供給ノ致シマスルト其ノ間年々ノ教員ノ供給ト云フ問題ガアリ、是ガ確保ヲ圖ツテ參ラナケナル後ノ問題ヲ進メマス、今マデ二十二年デアツタノガ今度二十年ニ全部修業スル

ノデスガ、要スルニ師範學校ノ修業年限ハ短縮シナイ、是デ宜イト云フヤウニ解釋シテ私ハ後ノ問題ヲ進メマス、今マデ二十二年デアツタノガ今度二十年ニ全部修業スル

ヤウニナツタト云フコトデ、師範學校ノ此ノ年限ヲ變ヘナクテモ宜イカドウカト云フ

調節ヲ圖ツテ參ル、ソコデ一方年限ノ延長ヲ致シテ總ニ實行政シマスルト、其ノ間ニ於テ一年マルデ教員ノ供給ガ出來ナ

イト云フ年ガアルノデアリマス、其ノ間ノ調節ヲ圖ル爲ニ變態デハアリマシタガ、女子ニ付キマシテ經過的ニ修業年限二年、サウシテ此ノ全體ノ供給ニ不都合ヲ來サナイヤ

ウナ處置ヲ講ジタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマシタノデアリマス、勿論是ハ經過的ナコトデゴザイマス、段々本則的ニ立チ返ル場合ニ於キマシテハ、原則トシテ總テ三年ニ返ル、コヽデ調整ガ取レル、斯ウ云フ計畫デアリマス、所ガ今モ御話ニ出テ居リ

マシタヤウニ、今度中等學校ノ修業年限ガ此ノ戰時措置ト致シマシテ、從來五年デアツモノヲ四年ニ短縮致シマシテ、ソレモ實施ガ昭和二十二年ノ豫定デアリマシタガ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リ

マス、サウ致シマスト、昭和二十年カラ中等學校ハ總テ四年ト云フコトニナリマス、サウ致シマスレバ、此ノ四年ヲ修了致シマ

シタ者ニ付テハ總テ調子ガ揃ヒマス、ソコ

デ其ノ程度ニ於テ入學シマシタ者ハ、總テ之ヲ修業年限三年トシテ實行致シタイ、ココデ調整ガ取レル、斯ウ云フ風ニ計畫致シテ居リマス、左様御諒承願ヒマス

○最上委員 御答ヘガドウモ要領ヲ得ナイノデスガ、要スルニ師範學校ノ修業年限ハ短縮シナイ、是デ宜イト云フヤウニ解釋シテ私ハ後ノ問題ヲ進メマス、今マデ二十二年デアツタノガ今度二十年ニ全部修業スル

ヤウニナツタト云フコトデ、師範學校ノ此ノ年限ヲ變ヘナクテモ宜イカドウカト云フ

問題ナンデス

○菊池政府委員 其ノ點ニ付テハ今御詫ガアリマシタヤウニ、實ハ當局トシテ苦心シテ居ルノデアリマス、出來ルダケ早ク出シタ

イ、而モ此ノ戰時ニ於ケル急場ニ間ニ合ハシタイ、力モ與ヘタイ、ソコデ、今申シマシタヤウニ、中等學校ハ四年ニ切下ゲ、サウシテ師範教育ノ專門教育ハ三年トシテ力ヲ入レテ、サウシテ尙ホ早ク出シタイ、是ガ全體ノ關聯シタ計畫デゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○最上委員 其ノ點ハ此ノ程度ニシテ打切リマス、次ハ大學、高等專門學校等ノ整備要領ハ、曩ニ新聞紙上等ニ發表セラレテ大體了承致シテ居リマス、唯其ノ後ノ整備ノ状況ハドウナツテ居ルカ、文科系學校ノ轉換、理工科系學校ノ擴充及び其ノ他種開ニ依ル地方轉出ノ學校等ハ、既ニ著々御決マリデアリマセウカト云フ點ト、又昨年來整備狀況ニ付テハ其ノ後ドウナツテ居ルカ、

是等ノ點ニ付テ御伺ヒシタノデアリマス、サウ致シマスレバ、此ノ四年ヲ修了致シマ

シタ者ニ付テハ總テ調子ガ揃ヒマス、ソコ

ニハ政府委員カラ御説明申上ガマス

○菊池政府委員 學校ノ戰時ノ措置ニ付キマシテ、御承知ノ通り其ノ大體ノ措置上ノ方針ニ付キマシテハ、過般ノ十二月ノ閣議決定ニ定マツテ居リマス、此ノ方針ニ從ツテ著々調査ヲ致シテ居リマス、尤モ是ハ學校ノ程度ニ依リマシテ考ヘテ參ラナケレバナラスト思ヒマス、同ジク學校ノ整備ト申シマシテモ、大學モアリマスシ、高等專門學校モアリマスシ、中等學校モアリマス、又各種學校等モアリマス、色々其ノ種類段階ニ應ジマシテ、其ノ措置方法ヲ機械的デオク現狀ニ即シテ、又一面學校ノ歴史、沿革等モ尊重シテ、サウシテ有效ニ措置スルヤウニ考ヘテ參ラナケレバナラスト、折角苦心ヲ致シテ居リマス、只今最上サンカラモ御指摘ノ、各種學校等ニ付テ昨年來ノ整備狀況ハドウカト云フコトデゴザイマスガ、是モ全國ニ亘り地方ノ狀況等ヲ詳細ニ調査致シマシテ、サウシテ所謂不要不急ニ屬スル所ノ學校或ハ教育內容、其ノ授業ノ運營ノ方法、設立者ノ狀況、地方的ノ分布ノ狀況等各種ノ事項ヲ大體勘査致シ、サウシテ地

方ニ指示致シマシテ、其ノ標準ノ下ニ學校當局トモ地方當局が能ク話合ツテ大體ノ見當ヲ付ケル、只今マデ措置致シマシタ狀況ヲ申上げマスナラバ、各種學校ガ全體デ約一千校ゴザイマスガ、其ノ中只今申シマシタヤウナ方針措置ニ依ツテ、昨年十一月マデニ閉鎖ノ處置ヲ講ジマシタモノガ六百九十校ゴザイマス、ソレカラ尙ホ其ノ

ノ所デハ轉換ヲスルモノモゴザイマスガ、今ノデ、轉換ヲスルモノモゴザイマスガ、今ノ所デハ轉換ヲスルモノハサウ多クハナ

アリマスシ、此ノ沿革ハ飽クマデモ尊重シリマシテ、是ハ又サモアルコトト考ヘマス

大學ニ於テモソレヽノ沿革ガアルコトデアリマスシ、行キタイト云フヤウナ希望モ強イノデアリマシテ、是ハ又サモアルコトト考ヘマス

ノデ、轉換ヲスルモノモゴザイマスガ、今ノ所デハ轉換ヲサセルトカ、或ハ統合ヲサ

セルト云フコトハ避ケテ、成ベク自發的、又教育ノ内容ヲ充實スルヤウナ意味ニ於

テ考慮シテ貴ヒモシ、又協議ヲシテ居ルノ

モアルヤウナ次第デアリマス、先程モ御質

タ狀況ハ大體左様ニナツテ居リマス

○最上委員 次ニ當局者ノ談ニ依レバ私立大學ニ對シテハ此ノ際積極的統合ハシナイガ、事實上文科系私立大學へ募集人員ノ減少ニ依リ專門學校ニ轉ズル向ガ多イト言ハレ

テ居リマス、是ハ新聞ニ發表サレタ所デアツテ、當局ノ或ル方カラ發表サレタト思ハレルノデアリマスガ、其ノ後私立大學側ノ要望モアツテ、多少此ノ點ニ付テ變ツタト云フヤウナ噂モ聞イテ居ルノデアリマスガ、是等ニ付テ私立學校對文部當局トノ御相談ノ真相ヲ發表シテ戴キタイト思ヒマス

○岡部國務大臣 募集減員ハ官私ヲ問ハズ、文科系統ハ高等學校ニ於キマシテハ三分ノ一、專門學校ニ於テハ二分ノ一ト云フコトニ致シタイト存ジテ居ルノデアリマス、ソレカラ其ノ結果私立大學等ニ於テハ專門學校ニ轉換スルモノモアルト云フコトデアリマスガ、是ハ事實十九歲ニ徵兵適齡ガ低下サレマスト、法文系統ノ大學ト云フモノハ學生ガ殆ド居ラナクナツテシマフノデアリ

マシテ、大學トシテノ經營ハ相當困難ニナルコトデアラウト考ヘテ居リマス、併シ各大學ニ於テモソレヽノ沿革ハ飽クマデモ尊重シリマシテ、是ハ又サモアルコトト考ヘマス

アリマスシ、此ノ沿革ハ飽クマデモ尊重シリマシテ、是ハ又サモアルコトト考ヘマス

ノデ、轉換ヲスルモノモゴザイマスガ、今ノ所デハ轉換ヲサセルトカ、或ハ統合ヲサ

セルト云フコトハ避ケテ、成ベク自發的、又教育ノ内容ヲ充實スルヤウナ意味ニ於

テ考慮シテ貴ヒモシ、又協議ヲシテ居ルノ

モアルヤウナ次第デアリマス、先程モ御質

ト思ヒマスガ、何分ニモ先程來段々國民學校ノ高等科ノ義務制ニ付テモ御話ノアリマシタヤウナ状況デ、一方勞務ノ給源ト云フ合ニハ資材ノ問題トカ、或ハ教員供給ノ問題トカ、色々ノ點カラ考ヘナケレバナラヌ問題ガアリマス、ソレト同様ナ譯デアリマシテ、教育ノ見地カラハ一刻モ早ク實現ハ致シタイト思ヒマスケレドモ、今日ノ諸般ノ状況其ノ他デ制約ヲ受ケル關係カラ、女子ノ義務制ハ此ノ際ハ當分ノ内實現ハ困難デアラウ、併シナガラ是ガ相當ノ状況ニ達シ得ル場合ニハ、是非速カニ考ヘタイト思ツテ居リマス、現状ニ於キマシテハ、國民學校高等科ノ義務制モ延期致シタヤウナ状況ニ鑑ミマシテ、當分ノ内困難デアルト考ヘマス

○小柳委員長 最上君ニ一寸申上ゲマスガ、
勤労局長方見エマシタ、他ノ委員會ニ又行
カナケレバナラヌサウデアリマスカラ……
○最上委員 デハ勤労局長竝ニ文部當局ニ
伺ヒマス、就業禁止令ニ依ツテ夜間中學校
ノ生徒ガ大部分職ヲ失ツタ結果トシテ、學
校等ニ於テモ或ハ轉向或ハ廢止サレタヤウ
ナ向モアツテ、是等學生ハ非常ニ困ツテ居
ルヤウデアリマス、此ノ大日本育英會法案
ノ如キモ、要スルニ資財ニ乏シキ者ヲ救フ
爲メノ案デアリマスガ、夜間中學ニ於テモ
中學校令ニ依ツテ認メラレテ居ル學校ノ生
徒ダケハ、書簡職業ヲ與ヘ得ルヤウナ特別
除外例等ヲ設ケルヤウナ御意向ハアリマセ
ヌカ、此ノ點ニ付テ御聽キシタインデアリ
マス

○最上委員 中學校令ニ依ル夜間中學、私共實際現在市街ニアル幾多ノ中學校ノ内容等ハ知リマセヌガ、一般ニ夜間中學ハ全部禁止令ニ依ツテ廢止サレ又他ニ學校ヲ轉ジナケレバナラヌヤウニ考ヘテ居ル、ドウカ是等ニ付テ宜シク御研究ノ上、是等氣ノ毒ナ學徒ニ對シテハ出來ルダケ便宜ヲ與ヘテ、此ノ就業禁止令等モ多少ノ緩和ハ出來ル、現ニ官廳等ハヤツテ居ル、民間ダケハヤラナイ、斯ウ云フ意味カラ、其ノ最後ノ決定ニ於テ宜シク手加減ヲ加ヘラレンコトヲ希望致シマス

ソレカラ勤勞問題ニ付テ簡單ニ二、三申上ガテ私ノ質疑ヲ終リマス、今回政府ハ緊急學徒勤勞動員方策要綱ヲ發表セラレテ、色々ナル動員計畫ヲ立テラレマシタガ、從來學徒ハ國民勤勞報國協力令ニ依ツテ勞務奉仕ヲヤツテ居ツタト思ハレマスガ、今回ハ之ニ依ルカ、又何等力法的ニ學徒勤勞ニ對スル根據法デモ設ケル御積リデアルカ、此ノ點ヲ先づ御聽キシタインデアリマス

○藤野政府委員 只今御尋ネノ點ハ、從來ハ一般ノ國民勤勞協力令ニ依ツテ概不扱ツテ居リマシタ、今後強化セラレマシタ學徒勤勞ニ付キマシテハ、從來ノ儘デハ如何力考ヘマシテ、只今ソレ等ニ付テノ法規的ナ整備ヲ圖ルベク研究ヲ進メテ居ル次第デアリマス

○最上委員 分リマシタ、今回ノ勤勞動員ニ依レバ、同一ノ學校生徒ヲ單一職場ニ動員シテ、一學期四箇月ノ作業ヲサセル、其ノ方法ハ實際工場トカ作業場ニ出向イテヤルカ、或ハ工業學校等ニ於テハ製品ヲ學校ヘ持ツテ來テヤルノモ一ツノ方法デアル、是等ノ方法ハドウ云フヤウニスルカ、又附近

○藤野政府委員 只今ノ御質疑デアリマス
ルガ、御述ベニナリマシタヤウニ、工場、
事業場ニ學徒ヲ出動セシムルト云フコトノ
例ヘバ雨天體操場ヲ部品工場設備トシテ利
用シ得ルト云フヤウナ狀況ニアリマスルモ
ニハ考ヘテ居リマセヌ、學校ノ中ニ適當ナ、
ズシモ工場、事業場ニ出動致シマセヌデ
モ、學校内ニ於テ十分學徒勤勞ノ出來ルヤ
ウニ致シタイト云フ考ヘフ持ツテ居リマス、
又學徒ノ勤勞ハ既ニ決定致シテ居リマスル
學徒戰時勤員體制確立要綱ニ基キマシテ、
單リ工場、事業場ニ於ケル重要物資ノ生產
作業ノミナラズ、或ハ運輸、輸送力ノ方面
ニ於ケル協力、乃至ハ軍ノ施設ニ對スル協
力、就中食糧增産ニ關スル協力、此ノ四ツ
ノ事業ヲ目標ト致シテ居リマスルノデ、工
場、事業場ガ附近地ニナイト云フヤウナ學
校ニ於ケル學徒ハ、大體ニ於テ食糧增産其
ノ他ノ事業ニ協力ヲ致スト云フコトニ相成
ラウト考ヘテ居リマス

工場ニ付テハ指導者トシテ舍監トカ、功勞管理官トカガアリマスガ、是ハ學校教師ニモ囑託スルヤウナ制度デモ御採リニナルノデアリマセウカ、其ノ點ニ付テ御伺ヒシタインデアリマス

○藤野政府委員 只今ノ前段ノ御質疑ノ、從來中等學校三年生以下ノ者ハ、一應學徒勤労カラ除外シテ置イタガ、今回ハドウ考ヘルカト云フ御尋ネデアリマス、非常ニ勤労員強化ヲ致サナケレバナラヌ、國民動員ノ強化ヲ致サナケレバナラヌ情勢下ニアリマスルノデ、工場、事業場等ニ於ケル作業ニ付キマシテハ、中學一年二年、隨テ國民學校ノ高等科ト云フヤウナ程度ノモノモ、或ル程度マデハ使ヒマスルガ、全面的ニト云フ譯ニハ參ラヌト思ヒマス、隨テ從來通り三年以上ヲ主流ニハ致シマスルガ、中等學校ノ一二年、國民學校ノ高等科ト云フヤウナモノモ、是ガ補充的ナ意味ニ於テハ後十分考慮シテ行カナケレバナラヌ、殊ニ食糧増產ニ付キマシテハ、是等ノ生徒モ今後ハ相當ニ勤労動員ヲ致シテ行ク考ヘデアリマス

○最上委員 只今ノ御話ヲ聽イテ大體分

マシタガ、特ニ私ノ心配スル所ハ、工場對學校ガ一體トナツテ生産增强ニ資スル、其ノ點ニ付テハ教職員ハ何等心配ハナイノデアリマスガ、唯何トシテモ人間デアリマス、茲ニ待遇ノ點ニ於キマシテ、勤トモスルト工場側ト教職員側ニ於テ隔リガアル、政府ハ昨年七月國民學校教職員ノ待遇改善要綱ヲ掲ゲテ、其ノ精神的、物質的優遇方法ヲ致シマシタ、又賞與ノ如キハ昨年ハ二十一割ヲヤルト云フヤウナコトヲ言ツテ居ツタ、實際ヤツテ居ルカドウカハ知リマセヌガ、サウ云フコトヲ言ツテ居ル、又本年ハ青年ノ待遇ノ向上ヲ豫算ニ計上シテ居リマスガ、是ダケデハ現在我國ノ戰時トノ教育ヲ完

全ニスルコトハ出來ナイ、特ニ今回斯ウ云フ工場等ニ出入スル場合ニ於テ、知ラズ識デアルトカ云フ者ハ勿論、地方ニ於ケル教育行政關係ノ官吏、例ヘバ視學官トカ視學トカ云フヤウナ向モ、或ハ軍需監理官乃至ハ勞務管理官ト云フヤウナモノヲ兼務ラスルト云フヤウナ方法ヲ採リマシテ、工場内ニ於ケル一年ノ三分ノ一相當期間ノ學徒ノ勤労ラシテ、眞ニ學徒ノ勤勞トシテ誤リナカラシメ、而モ自今ノ最モ焦眉ノ急デアル

○岡部國務大臣 大體ニ於テハ學校教職員

生産增强ノ上ニ十分役立チ得ルヤウナ仕組ヲ十分貫イテ行キタイ、同時ニ又工場、事業場側ニ於キマシテモ、ソレ等ノ職員ノ中トシテ貴ヒタイト云フコトニ相成ツテ居リマス、ソレ等ノ點ハ遺漏ナキコトヲ期スル積リデアリマス

○最上委員 只今十八年度ヨリ實施サ

マシタ國民學校教員ノ優遇ニ付テモ、未

ダ十分デナイトノ御指摘ヲ戴キマシテ、洵

ニ恐縮致シテ居リマスガ、是等ニ付キマシ

テハ既ニソレドノ方針モ決定致シテ居ル

コトデアリマスルカラ、或ハ實施ノ初年度

デアリマスル十八年度ニ於キマシテハ、十分

デナイ點ガアツカモ分リマセヌガ、今後

文部省ト致シマシテハ十分是等ノ點ニ付テ

徹底シテ進メタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、

又中等教員ノ優遇ニ付キマシテハ、前議會ニ

於キマシテモ議員側ヨリモ非常ニ御熱心ナ

御主張モアリ、文部省ト致シマシテモ其ノ沟

ニ理アルコトニ存ジテ居リマシテ、本期ニ於

キマシテハ、中等教員優遇ノ爲ノ相當額ヲ計

上致シマシタ、例ヘバ年功加俸等ニ付テ又

其ノ昇給率ヲ上ダマスルコト、詰リ國民學

校ト同様ニ是マデノ昇給率ガ百分ノ五ヲ遙

カニ下ツテ居リマシタガ、今回ハ百分ノ

五程度ニ上ゲテ行ク、斯ウ云フヤウナ方

法ヲモ加ヘマシテ、今回若干ヲ豫算ニモ計

上致シマシタ次第デアリマス、而シテ是ガ

趣旨ノ徹底ニ於キマシテハ、最上委員御

心配ヲ戴イテ居リマスル通リ——我々ト

シテモ專ラ是ハ地方廳ノ取扱ヒト云フコト

ガ主デアリマス、現ニ其ノ財源ノ如キ道府

シマシテ、從來ノ國民學校教員ノ優遇ニ關

スル方針ノ徹底ハ勿論、本期計上致サレテ

ノ低下ノ點ニ付テノ御心配デゴザイマシタ、

付キマシテモ一應コチラノ意圖ヲ述べ、幸

ヒニシテ豫算確定ノ上ハ速カニ本省ノ意圖

示傳達ヲ致シタヤウナ次第デアリマス、御

指摘ノ點ハ今後十分注意ヲ致シテ御期待ニ

居リマス、具體的ノ問題ト致シマシテハ政

府委員カラ御説明サシタイト思ヒマス

レマシテ居リマスガ、是等ニ付テモ、未

ダ十分デナイトノ御指摘ヲ戴キマシテ、洵

ニ恐縮致シテ居リマスガ、是等ニ付キマシ

テハ既ニソレドノ方針モ決定致シテ居ル

コトデアリマスルカラ、或ハ實施ノ初年度

デアリマスル十八年度ニ於キマシテハ、十分

デナイ點ガアツカモ分リマセヌガ、今後

文部省ト致シマシテハ十分是等ノ點ニ付テ

徹底シテ進メタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、

又中等教員ノ優遇ニ付キマシテハ、前議會ニ

於キマシテモ議員側ヨリモ非常ニ御熱心ナ

御主張モアリ、文部省ト致シマシテモ其ノ沟

ニ理アルコトニ存ジテ居リマシテ、本期ニ於

キマシテハ、中等教員優遇ノ爲ノ相當額ヲ計

上致シマシタ、例ヘバ年功加俸等ニ付テ又

其ノ昇給率ヲ上ダマスルコト、詰リ國民學

校ト同様ニ是マデノ昇給率ガ百分ノ五ヲ遙

カニ下ツテ居リマシタガ、今回ハ百分ノ

五程度ニ上ゲテ行ク、斯ウ云フヤウナ方

法ヲモ加ヘマシテ、今回若干ヲ豫算ニモ計

上致シマシタ次第デアリマス、而シテ是ガ

趣旨ノ徹底ニ於キマシテハ、最上委員御

心配ヲ戴イテ居リマスル通リ——我々ト

シテモ專ラ是ハ地方廳ノ取扱ヒト云フコト

ガ主デアリマス、現ニ其ノ財源ノ如キ道府

シマシテ、從來ノ國民學校教員ノ優遇ニ關

スル方針ノ徹底ハ勿論、本期計上致サレテ

ノ低下ノ點ニ付テノ御心配デゴザイマシタ、

付キマシテモ一應コチラノ意圖ヲ述べ、幸

ヒニシテ豫算確定ノ上ハ速カニ本省ノ意圖

示傳達ヲ致シタヤウナ次第デアリマス、御

指摘ノ點ハ今後十分注意ヲ致シテ御期待ニ

居リマス、具體的ノ問題ト致シマシテハ政

府委員カラ御説明サシタイト思ヒマス

レマシテ居リマスガ、是等ニ付テモ、未

ダ十分デナイトノ御指摘ヲ戴キマシテ、洵

ニ恐縮致シテ居リマスガ、是等ニ付キマシ

テハ既ニソレドノ方針モ決定致シテ居ル

コトデアリマスルカラ、或ハ實施ノ初年度

デアリマスル十八年度ニ於キマシテハ、十分

デナイ點ガアツカモ分リマセヌガ、今後

文部省ト致シマシテハ十分是等ノ點ニ付テ

徹底シテ進メタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、

又中等教員ノ優遇ニ付キマシテハ、前議會ニ

於キマシテモ議員側ヨリモ非常ニ御熱心ナ

御主張モアリ、文部省ト致シマシテモ其ノ沟

ニ理アルコトニ存ジテ居リマシテ、本期ニ於

キマシテハ、中等教員優遇ノ爲ノ相當額ヲ計

上致シマシタ、例ヘバ年功加俸等ニ付テ又

其ノ昇給率ヲ上ダマスルコト、詰リ國民學

校ト同様ニ是マデノ昇給率ガ百分ノ五ヲ遙

カニ下ツテ居リマシタガ、今回ハ百分ノ

五程度ニ上ゲテ行ク、斯ウ云フヤウナ方

法ヲモ加ヘマシテ、今回若干ヲ豫算ニモ計

上致シマシタ次第デアリマス、而シテ是ガ

趣旨ノ徹底ニ於キマシテハ、最上委員御

心配ヲ戴イテ居リマスル通リ——我々ト

シテモ專ラ是ハ地方廳ノ取扱ヒト云フコト

ガ主デアリマス、現ニ其ノ財源ノ如キ道府

シマシテ、從來ノ國民學校教員ノ優遇ニ關

スル方針ノ徹底ハ勿論、本期計上致サレテ

ノ低下ノ點ニ付テノ御心配デゴザイマシタ、

付キマシテモ一應コチラノ意圖ヲ述べ、幸

ヒニシテ豫算確定ノ上ハ速カニ本省ノ意圖

示傳達ヲ致シタヤウナ次第デアリマス、御

指摘ノ點ハ今後十分注意ヲ致シテ御期待ニ

居リマス、具體的ノ問題ト致シマシテハ政

府委員カラ御説明サシタイト思ヒマス

レマシテ居リマスガ、是等ニ付テモ、未

ダ十分デナイトノ御指摘ヲ戴キマシテ、洵

ニ恐縮致シテ居リマスガ、是等ニ付キマシ

テハ既ニソレドノ方針モ決定致シテ居ル

コトデアリマスルカラ、或ハ實施ノ初年度

デアリマスル十八年度ニ於キマシテハ、十分

デナイ點ガアツカモ分リマセヌガ、今後

文部省ト致シマシテハ十分是等ノ點ニ付テ

徹底シテ進メタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、

又中等教員ノ優遇ニ付キマシテハ、前議會ニ

於キマシテモ議員側ヨリモ非常ニ御熱心ナ

御主張モアリ、文部省ト致シマシテモ其ノ沟

ニ理アルコトニ存ジテ居リマシテ、本期ニ於

キマシテハ、中等教員優遇ノ爲ノ相當額ヲ計

上致シマシタ、例ヘバ年功加俸等ニ付テ又

其ノ昇給率ヲ上ダマスルコト、詰リ國民學

校ト同様ニ是マデノ昇給率ガ百分ノ五ヲ遙

カニ下ツテ居リマシタガ、今回ハ百分ノ

五程度ニ上ゲテ行ク、斯ウ云フヤウナ方

法ヲモ加ヘマシテ、今回若干ヲ豫算ニモ計

上致シマシタ次第デアリマス、而シテ是ガ

趣旨ノ徹底ニ於キマシテハ、最上委員御

心配ヲ戴イテ居リマスル通リ——我々ト

シテモ專ラ是ハ地方廳ノ取扱ヒト云フコト

ガ主デアリマス、現ニ其ノ財源ノ如キ道府

シマシテ、從來ノ國民學校教員ノ優遇ニ關

スル方針ノ徹底ハ勿論、本期計上致サレテ

ノ低下ノ點ニ付テノ御心配デゴザイマシタ、

付キマシテモ一應コチラノ意圖ヲ述べ、幸

ヒニシテ豫算確定ノ上ハ速カニ本省ノ意圖

示傳達ヲ致シタヤウナ次第デアリマス、御

指摘ノ點ハ今後十分注意ヲ致シテ御期待ニ

居リマス、具體的ノ問題ト致シマシテハ政

府委員カラ御説明サシタイト思ヒマス

レマシテ居リマスガ、是等ニ付テモ、未

ダ十分デナイトノ御指摘ヲ戴キマシテ、洵

ニ恐縮致シテ居リマスガ、是等ニ付キマシ

テハ既ニソレドノ方針モ決定致シテ居ル

コトデアリマスルカラ、或ハ實施ノ初年度

デアリマスル十八年度ニ於キマシテハ、十分

デナイ點ガアツカモ分リマセヌガ、今後

文部省ト致シマシテハ十分是等ノ點ニ付テ

徹底シテ進メタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、

又中等教員ノ優遇ニ付キマシテハ、前議會ニ

於キマシテモ議員側ヨリモ非常ニ御熱心ナ

御主張モアリ、文部省ト致シマシテモ其ノ沟

ニ理アルコトニ存ジテ居リマシテ、本期ニ於

キマシテハ、中等教員優遇ノ爲ノ相當額ヲ計

上致シマシタ、例ヘバ年功加俸等ニ付テ又

其ノ昇給率ヲ上ダマスルコト、詰リ國民學

校ト同様ニ是マデノ昇給率ガ百分ノ五ヲ遙

カニ下ツテ居リマシタガ、今回ハ百分ノ

五程度ニ上ゲテ行ク、斯ウ云フヤウナ方

法ヲモ加ヘマシテ、今回若干ヲ豫算ニモ計

上致シマシタ次第デアリマス、而シテ是ガ

趣旨ノ徹底ニ於キマシテハ、最上委員御

心配ヲ戴イテ居リマスル通リ——我々ト

シテモ專ラ是ハ地方廳ノ取扱ヒト云フコト

ガ主デアリマス、現ニ其ノ財源ノ如キ道府

シマシテ、從來ノ國民學校教員ノ優遇ニ關

スル方針ノ徹底ハ勿論、本期計上致サレテ

ノ低下ノ點ニ付テノ御心配デゴザイマシタ、

付キマシテモ一應コチラノ意圖ヲ述べ、幸

ヒニシテ豫算確定ノ上ハ速カニ本省ノ意圖

示傳達ヲ致シタヤウナ次第デアリマス、御

指摘ノ點ハ今後十分注意ヲ致シテ御期待ニ

居リマス、具體的ノ問題ト致シマシテハ政

府委員カラ御説明サシタイト思ヒマス

レマシテ居リマスガ、是等ニ付テモ、未

ダ十分デナイトノ御指摘ヲ戴キマシテ、洵

ニ恐縮致シテ居リマスガ、是等ニ付キマシ

テハ既ニソレドノ方針モ決定致シテ居ル

コトデアリマスルカラ、或ハ實施ノ初年度

デアリマスル十八年度ニ於キマシテハ、十分

デナイ點ガアツカモ分リマセヌガ、今後

文部省ト致シマシテハ十分是等ノ點ニ付テ

徹底シテ進メタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、

又中等教員ノ優遇ニ付キマシテハ、前議會ニ

於キマシテモ議員側ヨリモ非常ニ御熱心ナ

御主張モアリ、文部省ト致シマシテモ其ノ沟

ニ理アルコトニ存ジテ居リマシテ、本期ニ於

キマシテハ、中等教員優遇ノ爲ノ相當額ヲ計

上致シマシタ、例ヘバ年功加俸等ニ付テ又

其ノ昇給率ヲ上ダマスルコト、詰リ國民學

校ト同様ニ是マデノ昇給率ガ百分ノ五ヲ遙

カニ下ツテ居リマシタガ、今回ハ百分ノ五程度ニ上ゲテ行ク、斯ウ云フヤウナ方法ヲモ加ヘマシテ、

勤勞奉仕ニ出掛ケル、又是ガ實行ヲ致シマスルノハ單ニ一つノ勞務ノ提供ニ機械的ナ勞務ノ提供デナイト我々ハ考ヘテ居リマス、是ハ即チ學業ノ一端デアル、サウ云フ生キタ學業ノ體驗ヲ積マセル、殊ニ戰時下ニ於テ之ニ依ツテ御奉公ノ實ヲ舉ゲルト云フコトハ非常ニ精神的ノ意味ガアル、又實際ニ於テ先程大臣カラモ御話ガゴザイマシタガ、出來ルダケ其ノ事情ニ即シ、其ノ能力ニ即シテ之ヲ運用シテ行ギタイト思ヒマスカラ、或ル意味ニ於キマシテハ其ノ實習體驗ノ一つノ體驗ニナル、ソレニハ先程最上サシカラ御指摘ガアリマシタヤウニ、現場ニ於ケル指導ト云フモノヲサウ云フ風ニ徹底シナケレバナリマセヌ、此ノ點ハ御話ノ通リ苦心致シテ參リタイ、斯様ニシテ學ト業學校ト現場、是ガ相俟ツテ有效ナ結果ヲ擧ゲルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、ソレニハ又學校ニ於テ先生ノ再教育ヲヤラレバナラヌ、サウ云フ重點的ナ意味ニ於キマシテ再教育ヲ是非實行政致シタイト考ヘテ居リマス、現ニ其ノ都度地方廳ニモ連絡指示致シテ居ルコトモアリマス、サウ云フ風ニシテ出來ルダケ御話ノヤウニ學力ノ低下ヲ來サスヤウニ、又軌道ガスカラ多少ノ學力ノ低下ハアルカモ知レマセス、ソレハ場合ニ依ツテハ上級ノ專門學校等ニ行キマスナラバ、專門學校等ニ於テモ

○最上委員 私ハ女子挺身隊ノ問題ニ付テ、厚生省竝ニ文部省ノ委員ニ伺ヒタノデアリマス、先日軍需省ノ大西海軍中將ガ「ラジオ」ニ依ツテ放送セラレ、又新聞紙上等ニ於テモ屢々發表セラレル所ニ依ルト、ドウモ女子ノ挺身隊ノ組織ガ捲々シクナイ、特ニ都市ニ於テ其ノ傾向ガアルト云フヤウニ報道サレテ居ル、文部當局ニ於テハ昨年來女子挺身隊ノ組織ニ付テハ、地方縣知事ヨリシテ各女學校等ニ是ガ組織方ラ命ジテ居リマスガ、其ノ狀況ハドウナツテ居ルカ、又是等ニ付テ詳シク聽キタインデアリマスガ、唯從來ノ卒業シタ生徒ニ對スル挺身隊ノ組織ト、又今回卒業セラレル女子生徒ノ報國挺身隊ノ組織ニ付テドウ云フ狀況デアルカ聽キタインデアリマス

○藤野政府委員 文部省ノ專ラ與カリマスルノハ女子ノ學校在學者ヲ扱ツテ居リマス、女子挺身隊ノ御述ベニナリマシタ部分ハ、大體ニ於テ女學校ノ卒業者ノ問題デアリマス、隨て此ノ點ハ厚生省ト御協力致シテ居ルノデアリマス、女子挺身隊ノ組織ノ狀況ハ重點的ニ考ヘル、此ノ內容ノ改變モ相當ナケレバナラヌ、サウ云フ重點的ナ意味ニ於キマシテ再教育ヲ是非實行政致シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ又教科目ノ取扱ニ今工夫致シテ居リマス、現ニ其ノ都度地方廳ニモ連絡指示致シテ居ルコトモアリマス、サウ云フ風ニシテ出來ルダケ御話ノヤウニ學力ノ低下ヲ來サスヤウニ、又軌道ガスカラ多少ノ學力ノ低下ハアルカモ知レマセス、ソレハ場合ニ依ツテハ上級ノ專門學校等ニ行キマスナラバ、專門學校等ニ於テモ

之ヲ補充スル、ズツト脈絡連關ヲ執ツテ、齟齬ヲ來サスヤウニ致シタイ、左様ニ考ヘテ居リマス
○最上委員 私ハ女子挺身隊ノ問題ニ付テ、厚生省ノ御方ニ此ノ點御聽キシタインデアリマス、兎角女學校出身ノ女子挺身隊ノ家庭ハ、地方等ニ於キマシテハサウデハアリマセヌガ、都市等ニ於キマシテハ、多クハ家庭ニ女中ヲ使ツテ居ルニモ拘ラズ、其ノ子弟ガ挺身隊トシテ數箇月働ク、或ハ今回ノ規定ニ依ルト、一年乃至二年ト云フコトニナツテ居リマスガ、二年働クト云フコトニナルト、ドウシテモ勞務給源上如何カト思フ、其ノ女子ヲ家庭ニ働カセテ、女中ヲ勞務方面ニヤツタラバ宜クハナイカト云フヤウニモ我々ハ考ヘルノデアリマス、ドウモ家ニハ女中ヲ使ツテ居ルニモ拘ラズ、其ノ子弟ハ挺身隊トシテヤツテ居ルト云フヤウニ家庭ガ多イノデアリマス、是ハ女學校卒業者ノ家庭ニ多イ、是等ニ對シテ當局ハドウ云フ御考ヘデアルカ、又女中ニ付テモ二人、三人ト云フヤウナモノヲ使ツテ居ル人ガ、ソレヲ見逃シテ置イテ、其ノ他ノ方ニ熱心ナ希望ガアルニ拘ラズ、受入レル方ノ側デソレ程ノ準備ガナカツタ、今回ハ具體的ニ我々ノ方カラ此ノ工場ハ今回一、三月ニ於テハ何人女子ヲ入レルンダト云フコトヲハツキリ示シマシテ、目下各府縣ニ於キマシテ、ソレバ事業主ト具體的ナ入レ方ヲ相談シテ居ルヤウナ狀況デアリマス、大體ニ申シマスレバサウ云フヤウナコトニナガドウ云フ風ニナツテ居ルカ、殊ニ都市ニ付テ如何ト云フヤウナ點ハ、一つ厚生省ノ方カラ御答ヘヲ願ヒタイト思ヒマス

○中村(敬)政府委員 女子ノ挺身隊ノ問題デゴザイマスルガ、厚生省ト致シマシテハ組織ノ準備ガ出來マスレバ、其ノ都度報告ヲ集計シマスルト、是ハ相當ノ數ニ相成ツテ居リマス、併シナガラ現狀ニ於キマシテ、厚生省竝ニ文部省ノ委員ニ伺ヒタノデアリマス、先日軍需省ノ大西海軍中將ガ「ラジオ」ニ依ツテ放送セラレ、又新聞紙上等ニ於テモ屢々發表セラレル所ニ依ルト、ドウモ女子ノ挺身隊ノ組織ガ捲々シクナイ、特ニ都市ニ於テ其ノ傾向ガアルト云フヤウニ報道サレテ居ル、文部當局ニ於テハ昨年來女子挺身隊ノ組織ニ付テハ、地方縣知事ヨリシテ各女學校等ニ是ガ組織方ラ命ジテ居リマスガ、其ノ狀況ハドウナツテ居ルカ、又是等ニ付テ詳シク聽キタインデアリマスガ、唯從來ノ卒業シタ生徒ニ對スル挺身隊ノ組織ト、又今回卒業セラレル女子生徒ノ報國挺身隊ノ組織ニ付テドウ云フ狀況デアルカ聽キタインデアリマス

○最上委員 大體様子ハ分リマシタガ、唯厚生省ノ御方ニ此ノ點御聽キシタインデアリマス、兎角女學校出身ノ女子挺身隊ノ家庭ハ、地方等ニ於キマシテハサウデハアリマセヌガ、都市等ニ於キマシテハ、多クハ家庭ニ女中ヲ使ツテ居ルニモ拘ラズ、其ノ子弟ガ挺身隊トシテ數箇月働ク、或ハ今回ノ規定ニ依ルト、一年乃至二年ト云フコトニナツテ居リマスガ、二年働クト云フコトニナルト、ドウシテモ勞務給源上如何カト思フ、其ノ女子ヲ家庭ニ働カセテ、女中ヲ勞務方面ニヤツタラバ宜クハナイカト云フヤウニモ我々ハ考ヘルノデアリマス、ドウモ家ニハ女中ヲ使ツテ居ルニモ拘ラズ、其ノ子弟ハ挺身隊トシテヤツテ居ルト云フヤウニ家庭ガ多イノデアリマス、是ハ女學校卒業者ノ家庭ニ多イ、是等ニ對シテ當局ハドウ云フ御考ヘデアルカ、又女中ニ付テモ二人、三人ト云フヤウナモノヲ使ツテ居ル人ガ、ソレヲ見逃シテ置イテ、其ノ他ノ方ニ熱心ナ希望ガアルニ拘ラズ、受入レル方ノ側デソレ程ノ準備ガナカツタ、今回ハ具體的ニ我々ノ方カラ此ノ工場ハ今回一、三月ニ於テハ何人女子ヲ入レルンダト云フコトヲハツキリ示シマシテ、目下各府縣ニ於キマシテ、ソレバ事業主ト具體的ナ入レ方ヲ相談シテ居ルヤウナ狀況デアリマス、大體ニ申シマスレバサウ云フヤウナコトニナガドウ云フ風ニナツテ居ルカ、殊ニ都市ニ付テ如何ト云フヤウナ點ハ、一つ厚生省ノ方カラ御答ヘヲ願ヒタイト思ヒマス

○中村(敬)政府委員 只今女中等ノ家事使用人ノ問題ノ御尋ねデゴザイマスガ、我々ト致シマシテハ、只今明年度ノ國民動員計畫ヲ色々考へテ居リマス、只今ハ各所カラノ需要ヲ軍需省ニ於テ一括シテ取纏メ中デアルカ、伺ヒタインデアリマス

ノテアリマス、是等ノ數字カドノ程度ニ落
著クカマダハツキリシタコトハ分リマセヌ
ガ、何レニ致シマシテモ、此ノ需要ガ相當
大キクナル、隨テ給源ヲ之ニ配當スル際ニ
ハ、相當各方面ニ、或ハ場合ニ依ツテハ無
理ナ供出ヲ御願ヒシナケレバナラヌノデヤ

イカ又はノ文部當局ニ驅キタインテアリマス
スガ、今マデノ所謂勤勞報國隊等ガ會社等力
ラ戴ク所ノ手當ニアリマス、勿論多クハ國
家ニ獻金スルトカ、或ハ公共費用ニ使フ、
是ハ勿論宜イノデアリマス、併シ女子挺身
隊ニ於テモ、一年モ使用スルヤウナ場合ニ

是ノ教育上團体ニトテアルカシ。此ノ黒ヲ特ニ注意スベシト云フコトヲ根幹ニ致シマシテ指示ヲ致シテ居リマスノデ、具體的ニハ受取リマシタ手當ヲ一應學校デ取纏メテ受取リマシテ、各學生個人ガ報酬トカ勞銀ノヤウナ意味デ受取ラナイヤウニトシテ、文書ノ文墨ニテ、學校デ文墨ニテ受取

○最上委員 私バカリ時間ヲ預戴シテ甚ダ
濟ミマセスガ、時間ガ來マシタノデモウ一
點ダケ本案ニ付テ質問シテ終リタイト思ヒ
究勘案中デゴザイマス

ナイガ
期ウ云フ風ニ若ヘテ居リマス、其ノ際ニ於キマシテ、所謂家事使用人ト云フヤウナモノニ付キマシテモ、現在既ニ若干ノ制限ハ致シテ居リマスケレドモ、更ニ其ノ制限ヲ強化シナケレバ到底大キナ需要ニハ賄ヒ付カヌ、サウ云フコトニナルノデハナイカト若ヘテ居ルノデアリマス、隨テ家事使用人ニ付テ或ル程度ノ制限ガ強化サレルト云フ事態ニナリマスレバ、家庭内ノ仕事ニ付キマシテ其ノ家ノ女子ガ女中ノ代リニナツテ、女中ハ使ヘナイ、斯ウ云フヤウナコトニ段々ナツテ來ルノデヤナイカト考ヘテ居リマス

ノデアリマスガ、文部當局ハ是等手當ニ對シテドウ云フ方針デ進マレルノデアリマスカ、此ノ二點ヲ伺ヒタイノダアリマス
○中村(敬)政府委員　挺身隊ノコトニ付テ御尋ネデアリマスガ、過日ノ閣議決定ニ於キマシテモ、挺身隊ノ制度ニ付テ検討致シマシテ、場合ニ依ツテハ必要ナ限度ノ法制的ナ措置ヲ講ズルト云フ方針ニ致シテ居リマシテ、只今色々ノ問題ニ付テ研究中デアリマス、御尋ネノ年齢ノ點デアリマス

ツタモノヲ、ヤハリ學生或ハ其ノ家庭等ニ
於テ實費方掛リマスカラ、汽車賃トカ其ノ
他ノ實費ニ付テハ各個人ニ之ヲ渡スヤウニ、
其ノ他ノ部分ニ付キマシテハ學校デ取纏
メテ適切ナ使途ニ使フヤウニ、其ノ國際學校
ノ考へ、或ハ生徒ノ總意等デ之ヲ國防
獻金ニ使用スルト云フヤウナコドニナレバ
勿論是モ結構デアル、斯ウ云フ風ニシテ從
來ヤツテ參ツテ居リマス、併シナガラ將來
ハ只今御示シノヤウニ學徒ノ勤勞ノ數モ非
常ニ増シテ參ルノデアリマシテ、從來ヤツテ
居ツタヤウニ學校デ取纏メテ申シテ居リ

レル森田委員等が數年前ヨリ非常ニ運動セラレマシテ、漸ク茲ニ實ヲ結ンダト云フコトハ、我々非常ニ嬉シク感ズルノデアリマスガ、其ノ計畫當時ニハ此ノ法案ノ實施ト共ニ、民間ノ育英機關モ之ニ全部統合スルト云フヤウナ運動デアツタト記憶シテ居ルノデアリマス、其ノ他現在政府ニ於テモ、厚生省等ニ於テハ多子產家庭ニ對スル育英資金デアルトカ、或ハ戰死傷病者遺家族ニ對スル育英資金ガ出テ居ルノデアリマスガ、政府ハ今回ノ此ノ案ガ實施サレルト共ニ、民間育英事業ヲ全部統轄スル意味ノ方針デ

○最上委員 政府委員ノ御答へデ大體了承
致シマシタ、唯一般地方ニ於テハマダヽ
挺身隊ト家庭婦トノ間ニ全然考ヘヲ持タナ
イ、サウ云フヤウナ考ヘデ女中等ノ使用モ
制限シ、之ヲ強化シテ、國全般ガ勤勞動員
ニ携ハレルヤウニ希望致シマス

が、現在ノ見込トシテハ、年齢程度モ無論
引上ゲル考ヘデ居リマス、之ニ對應シテ國
民登錄制度モ近ク改正スル積リデアリマス
ガ、登錄年齢ノ如キモノモ、現在ハ大體二
十五歳未満ノ未婚女子ト云フコトヲ主ニシ
テ居リマスケレドモ、此ノ範圍モ擴大シマ

マシテモ、學校ガ取纏メテ取扱フ金額が相當大キナ金額ニモ上リマスルシ、或ハ又此ノ手當ト云フモノノ標準ニ付キマシテモ、今後一層適正ヲ期シテ行カナケレバナラナイ、或ハ又學生ニ對シテ從來渡シテ居ツタ寶費ト云フモノニ付キマシテモ、餘り窮屈

アテレルカ、又今申シタ政府ノ他ノ諸施設モ之ニ合流統轄スルヤウナ御考ヘデアルカ、此ノ點ヲ最後ニ伺ツテ私ノ質問ヲ終リタイト思ヒマス

ソレカラ女子挺身隊ノ年齢ヘ今マデハ國民
登録等ニ依ツテ十四歳以上二十五歳以下ト
アリマシタ、是ハ男子モ多少變ヘルト思フノ
デアリマスガ、昨今ノ女學校卒業者ハ鬼モ角
トシテ、女學校ヲ卒業シタ者ノ方面ニ於テモ
挺身隊ヘ多イノデアリマス、ソレガ二十六歳以
上デハ駄目ダト云フヤウニモ解釋サレテ居
トマスガ、是等ニ付テ政府ハ何等カ此ノ年限

シテ、登録ト隊組織ノ年齢關係ヲ相應サセ
ルヤウニ致シタイト者ヘテ居リマス
○小笠原政府委員 只今ノ御尋ねノ中デ、
學徒ノ勤勞ニ伴フ手當ノ點ニ付テ御答へ申
上ゲマス、此ノ手當ハ、從來モ全部獻金ニ
シロトカ、或ハ公共的ナコトニ使ヘト云フ
コトハ必ズシモ定メテ居リマセヌ、唯其ノ
手當ヲ貰ヒマシタ場合ノ使ヒ方ニ付テハ

ナコトデ、實際ニハ目モ見ニナイ金が陰ニ
ハ掛ツテ居ル、相當ノ負擔ガ掛ルト云フヤ
ウナコトニ相成リマシテモ困ルノデアリマ
ス、兎ニ角今後勤勞動員ガ一層強化サレル
ニ伴ヒマシテ、此ノ手當ト申シマスカ、其
ノ金ノ受取り方竝ニ其ノ使ヒ方ニ付キマシ
テハ、從來ノ趣旨バカリデナク、其ノ具體
的方法ニ付キマシテ、モウ一層進シダ適切

モ、之ニ依ツテ從來カラ民間テ多年歴史經驗ヲ持ツテ發達シテ參リマシタ、又地方ニ於テソレハ特殊ノ事情ニ依ツテ發達シテ參ツテ居リマスル各種ノ團體、是等ヲ機械的ニ統合シテ一本ニスルト云フヤウナ考ヘハ持ツテ居リマセヌ、ソレハ今マデ發達シテ居リマシタ團體ハ、歴史沿革モアリマセウシ、特別ノ持味ヲ持ツタモノ相當ア

ヲ——是ハ徵用デハナイ、斯謂青少年ノ登

十分適正ヲ期セヨ、殊ニ勤勞ノ爲ノ報酬ト
云フ感ジガ餘リ強クナツテシマフコトハ、

ナ方法ヲ研究致シマンテ、之ヲ指示シテ行
キタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、御示

ルト思ヒマス、ソレハソレデ活カシテ、ソシテ其ノ特長ヲ發揮スルコトガ宜イト思ヒ

ナ國家的育英基金ヲ運營スル上ニ於キマシテ、色々實行上ニ於テハ十分連絡ヲ執ツテ參リタト思ヒマスカラ、サウ云フ經驗者、有識者ト其ノ間ニ於テハ十分連絡ヲ執ツテ參リタイガ、之ヲ機械的ニ統合スルト云フヤウナ考へハ持ツテ居リマセヌ

○多田委員 幸ヒニ大臣オイデアリマスカラ最上君ノ質問ニ關聯シテ一、二點伺ツテ見タイト思フノデアリマス、ソレハ就學年齢ノ低下問題デアリマスガ、大臣ノ御答ニ依リマスト、目下研究ヲシテ居ルト云フ御話デアリマス、私ハ此ノ戰時下ニ於テ、此ノ問題ハ最モ早ク取上ガルベキ性質ノモノダト考ヘテ居ルノデアリマシテ、既ニ世論ハ熱シテ居ルデハナイカト思フ、研究ト申シマシテモ、今マデノヤウナ調査研究ト稱シマシテ、二年三年ヲ送ルト云フ意味ノ研究デアツテハ此ノ場合不適切ダト考ヘテ居ルノデアリマシテ、大臣ハ來年度アタリ之ヲ實行スル御考ヘノ下ニ研究ヲサレテ居ルノデアルカ、其ノ事ニ付テ一つ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス

○岡部國務大臣 此ノ問題ニ付テノ研究ハ、今色々ノ——御承知ノ通リ教員ガ非常ニ不足ヲシテ居リマスシ、又校舎等モ相當窮屈デ中々増設モ出來マセヌ、サウ云フ事實問題ガアリマスノデ、相當當ツテ見ナイデアリマス、又地方ニ依リマスト、色々大都會ハ大體ニ於テ二部制ヲヤツテ居ル譯デアリマス、殆ド能力一パイヤツテ居ル譯デアリマス、又地方ニ依リマスト、色々大キナ工場等ガ出來テ、非常ニ兒童ガ殖エテ從來ノ學校デハ收容シ切レナイヤウナ事情ノ所モ相當方々ニアリマスノデ、時期ニ付

○多田委員 御話ニ依リマスト、低下問題ハモウ決定シテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマシテ、サウ解釋サレ得ルノデアリマシテ、私非常ニ結構ダト思ヒマスガ、外ノ之ヲ實行スル上ニ於テノ手段方法ナドニ付テハ、是ハ考ヘ方ニ依ツテ私ハヤレナイコトハナカラウト思フ、而モ年齢低下ト云フトバ、ヤハリ先へ行ツテ——現在八年制ノ義務教育ヲ六年制ニシテ居ルノデアリマスカラ、十四デ卒業スル者ハ十三デ卒業スルト云フコトニナリマスシ 生徒ガ殖エルト云フ意味ヂヤナイ、結局同數ノモノノ教育シテ行クト云フコトニナルノデアリマスカラ、是ハ相當研究ヲシマスレバヤレナイコトハナイト思ヒマスカラ、特ニ大臣ノ御考慮ヲ願ツテ、速急ニ之ヲ實施シテ現下ノ時局ニ適應スルヤウニ運ンデ戴キタイト思ヒマスモウ一つハ、最上君ノ質問ノ中デ、義務教育ヲ六年ニシタノハドウ云フ譯カ、斯ウ云フコトデ大臣ノ御答辯ガアリマシタガ、私ハ一體義務教育ノ延長論者デアツタ、所ガ今日デハ六年大賛成論者デアリマス、ソコデ大臣ノ御答辯ノ中ニ、成ベク早ク還元スルト御約束申ス、斯ウ言ハレテ居ルノデアリマシテ、是ハ其ノ通り速記ニ戴ツテ居ルト思フノデアリマスガ、此ノ事柄ハ餘程重大ナル響キヲ與ヘルデハナイカト思フ、ツイ來年度カラ之ヲ廢メルト云フコトニナル、國民ハドウ思フカト云フト、六年制ニナツタノダ、是ハ大變ダト、時局容易ナラザルモノガアルト云フ感ジヲ教育上カラシテ考ヘテ居ルノデアリマス、所ガソレヲ實行シヨ

ウト仰シヤル大臣ガ、成ルベク早ク還元ス
ルノダト御約束ナサル、サウ云フコトニナ
リマスト、此ノ響キハ國民ヲシテ歸趨ニ迷
ハシメルヤウナ感ジヲ與ヘルノデアリマス、
此ノ早ク還元スルト云フ意味合ハ、戰爭經
續中ト云フコトヲ條件トシテ早ク還元スル
ト云フノデアルカ、戰爭ノ淒愴苛烈ノ度ガ
幾分カズ、緩和シテ行クト云フ時ニ成ルベク
早ク還元スルト御約束サレルノデアルカ、
此ノ點ヲ一つハツキリシテ置キタイ、折角
國民ノ精神ガ緊張シテ居ル、此ノ度合ニ聊
カモ弛ミノナイヤウニシテ行キタイト云フ
老婆心カラ、敢テ舉足ヲ取ル譯デハアリマ
セヌガ、斯ウシタ言葉ハ響キガ相當アルト
思ヒマスルカラ、大臣ノ御考ヘヲ伺ツテ置
キタインデアリマス

ハ開カレル筈デアリマスガ、此ノ戰時下ニ
於テ最モ重要デアル文教問題——豫算總會
ニ於テ二日間論議サレテ居リマスケレドモ、
此ノ問題ガ少シモ現ハレテ來テ居リマセヌ、
私ハ頗ル遺憾ニ思ツテ居ルノデアリマシテ、
一昨日此ノ委員會成立當時、委員ノ申合セ
デハ育英法案ニ關シテノ委員會デアルケレ
ドモ、重大ナル教育問題全般ニ亘ツテ忌憚
ナク論議ヲシヨウデハナイカト云フコトニ
相成ツテ居ルノデアリマス、文部大臣ハ今
日最初ヨリ此處ニ御出席下サイマシテ、我
我同僚ノ論議ナリオ意見ナリヲ御聽キニナラ
レ、懇切丁寧ニ御答辯ニナツテ居ルコトニ
私少カラザル敬意ヲ表スルモノノデアリマス
ルガ、此ノ意味ニ於テ出來上ツタ委員會デ
アリマスカラ、今後モ亦大臣トシテ出來得
ルダケハ御差繹リノ上御出席下サレ、而シ
テ決戦下ニ於ケル教育問題ヲ如何ニ處置ス
ベキヤト云フコトニ付テ、オ互ヒ遠慮ナク
論議シテ行キタイト思ヒマスカラ、ドウゾ
此ノ點大臣以下政府委員モ御諒承ノ上御出
席アランコトヲ希望致シマシテ終リト致シ
マス

コトハ、文相ハ決戦下ニ於ケル教育ノ大本
ト申シマスカ、此ノ點ニ付テ昨年ノ十月十
二日ノ閣議デ、教育ノ緊急措置トシテ發表
セラレタノヲ私共見タノデアリマスルガ、
アノ程度デ満足セラレテ居ルノデアラウカ、
時々刻々ニ懲愴苛烈ノ度ヲ極メテ居ル今
日、更ニ一段ト決戦體制ノ教育措置ヲ執ル
必要ハナイノデアラウカ、私ハ此ノ點ニ付
テ先づ第一ニ伺ツテ見タイト思フノデアリ
マス

○岡部國務大臣 非常ニ重大ナ時局ノ要請
ニ付テノ御考慮カラノ御質問デアリマスル
ガ、非常ニ簡單デ實ハ御質問ノ御趣意ノア
ル所モ伺ヒ兼ネタ點モアルノデアリマスル
ガ、時局下此ノ重大國家ノ總力ヲ擧ゲテノ
戰爭デアリマスルカラ、教育モ固ヨリ此ノ
國家ノ要請ニ即應スペク、寧ロソレニ先行
スル位ノ心構ヘヲ以テ、教育ノ體制ヲ考ヘ
テ行カナケレバナラスト思ツテ居ルノデア
リマス、同時ニ教育ノ國家の重要な性ト云フ
コトト、戰爭直接ノ軍或ハ生産等ニ關スル
方面ノ要請ト云フコトトノ調整ト云フコト
モ、考ヘテ參ラナケレバナラヌコトデアリ
マス、教育ハ教育ノ見地ヨリノミ其ノ計畫
ヲ立て、行クコトモ出來ナイ事情デアリマ
スカラ、其ノ點ニ於テ種々困難モアリ、又
教育面カラ見マスレバ多少遺憾ノ點モナイ
デハナイト思ヒマスルガ、是ハモウ今日ノ
此ノ重大ナ時局デアリマスカラ已ムヲ得ナ
イコトデアリマス、又當然シナケレバナラ
ヌコトト考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ付
キマシテ具體的ノ問題ト致シマスレバ、先
程御話ノアリマシタヤウナ就學年齢ノ低下
ノ問題ヲ初メト致シマシテ、上ハ大學、大
學院ノ問題、或ハ學術部門ノ研究ノ問題、

或ハ思想問題等、種々此ノ文教ノ方面カラ
シテ考ヘナケレバナラヌ問題ガアリマスル
ノデ、是等ニ付テハ著々措置ヲ講ジテ居ル
譯デアリマス、又研究モシツ、アル譯デア
リマス、簡單デアリマスガ大體以上御答ヘ
申上ゲマス

○多田委員 私ノ質問ハ大マカデアリマシ
タガ、併シ私ハ斯様ナコトヲ申上ゲテ置イ
タノデアリマス、昨年十月十二日ニ閣議デ
決メタアノ緊急措置デ御満足ナリヤ否ヤト
云フコトヲ具體的ニ申上ゲタノデアリマス、
決シテ茲漠一點デハナクテ、茫漠ノ中ニモ
具體的ノ意味ヲ加味シテ居ル譯デアリマス、
併シ文相ハ教育ハ各方面トモ睨ミ合セテ考
ヘナケレバナラナイ、決シテ現在ヲ以テ滿
足シテ居ルモノデハナイト云フヤウナ御
言明ガアリマシタ、然ラバドウ云フ風ニ決
戰即應ノ教育體制ヲ決メテ行クカト云フコ
トガ問題ニナツテ來ルノデアリマシテ、ア
ノ程度デ満足ナラソレデ宜シウゴザイマス
ガ、マダヤルノダト云フコトデアルナラバ、
御考ヘノ程ヲ伺ツテ置キタイ、若シ私ガ御
意見ヲ申上ゲテ、ソレニ對シテ一應文相カ
ラ、是ハ宜シイ、アレハ惡イト云フコトノ
御考ヘノ程ヲ受ケテモ結構デアリマスケレバモ、
シテ居リマスルシ、又私ハ國民ノ要請ト云
ナイト思フノデアリマスルガ、是等ニ付キ
マシテハ十分誤解ヲ取去ルヤウニ努力モ致
シテ居リマスルシ、又私ハ國民ノ要請ト云
フコトハ、教育ノ中ニ十分ニ盛込シテ行カ
ナケレバナラヌ、國民生活ナリ或ハ國情ナ
リニ遊離シタ教育デハナラヌト云フコトヲ
常ニ考ヘテ居リマスルノデ、其ノ方針ニ依
ツテ是ガ具體的措置ヲ講ジテ參リタイト考
ヘテ居ルノデアリマシテ、御答ヘハ抽象的
ニナリマスルガ、又具體的ノ點ニ付テ御尋
ねガアリマスレバ、ソレニ付テモ御答ヘ致
シテ行キタイト思ヒマス

○岡部國務大臣 御答ヘ申上ゲマス、此ノ
十月十二日ノ閣議決定ハ大體種々戰時下ニ
於ケル教育ノ對策措置ニ付キマシテ掲ゲテ
居ルノデアリマシテ、是ガ實行ハ中々多方
面ニ瓦ツテ居リマスルノデ、簡單デハナイ
ノデアリマス、著々此ノ實現ニ付テモ考慮
申上ゲマス

○多田委員 大體臨時措置デ一應ハモウ宜
テ内容、制度各般ニ向ツテ改善ヲ加ヘテ行
カナケレバナラヌト思フノデアリマス、而
モ此ノ戰争ハ必ズシモ短期デハナイト云フ
ガ即軍隊ノ豫備教育ト云フヤウナモノモ加
味シナケレバナラヌ點モ多々アルト考ヘマ
スルシ、又勤勞方面ノ要請モ段々強化シテ
來ル譯デアリマスルカラ、ソレ等ニ適應シ
テ、此ノ具體的ノ實施問題ト致シマスレバ
多少是ヨリモ又變ツタコトモ考ヘ得ルノデ
アリマスルガ、併シ今日ト致シマシテハ、
具體的ニ申シマスレバ、是レ以外ニ細カイ
點ニ於テハ或ハ多少違ツタ考ヘ方モ出来ル
カト思ヒマスルガ、大體ニ於テハ之ヲ實行
ニ移シテ行クト云フコトガ、先づ先決問題
デハナイカト考ヘテ居ル譯デアリマス、勿論
此ノ中ニ於キマシテハ非常ニ抽象的ニ、又
極ク大マカナ規定モシテアリマスルノデ、
種々誤解ヲ受ケテ居ツタ點モナイトハ言ヘ
ナイト思フノデアリマスルガ、是等ニ付キ
マシテハ十分誤解ヲ取去ルヤウニ努力モ致
シテ居リマスルシ、又私ハ國民ノ要請ト云
フコトハ、教育ノ中ニ十分ニ盛込シテ行カ
ナケレバナラヌ、國民生活ナリ或ハ國情ナ
リニ遊離シタ教育デハナラヌト云フコトヲ
常ニ考ヘテ居リマスルノデ、其ノ方針ニ依
ツテ是ガ具體的措置ヲ講ジテ參リタイト考
ヘテ居ルノデアリマシテ、御答ヘハ抽象的
ニナリマスルガ、又具體的ノ點ニ付テ御尋
ねガアリマスレバ、ソレニ付テモ御答ヘ致
シテ行キタイト思ヒマス

○多田委員 大體臨時措置デ一應ハモウ宜
テ内容、制度各般ニ向ツテ改善ヲ加ヘテ行
カナケレバナラヌト思フノデアリマス、而
モ此ノ戰争ハ必ズシモ短期デハナイト云フ
ガ即軍隊ノ豫備教育ト云フヤウナモノモ加
味シナケレバナラヌ點モ多々アルト考ヘマ
スルシ、又勤勞方面ノ要請モ段々強化シテ
來ル譯デアリマスルカラ、ソレ等ニ適應シ
テ、此ノ具體的ノ實施問題ト致シマスレバ
多少是ヨリモ又變ツタコトモ考ヘ得ルノデ
アリマスルガ、併シ今日ト致シマシテハ、
具體的ニ申シマスレバ、是レ以外ニ細カイ
點ニ於テハ或ハ多少違ツタ考ヘ方モ出来ル
カト思ヒマスルガ、大體ニ於テハ之ヲ實行
ニ移シテ行クト云フコトガ、先づ先決問題
デハナイカト考ヘテ居ル譯デアリマス、勿論
此ノ中ニ於キマシテハ非常ニ抽象的ニ、又
極ク大マカナ規定モシテアリマスルノデ、
種々誤解ヲ受ケテ居ツタ點モナイトハ言ヘ
ナイト思フノデアリマスルガ、是等ニ付キ
マシテハ十分誤解ヲ取去ルヤウニ努力モ致
シテ居リマスルシ、又私ハ國民ノ要請ト云
フコトハ、教育ノ中ニ十分ニ盛込シテ行カ
ナケレバナラヌ、國民生活ナリ或ハ國情ナ
リニ遊離シタ教育デハナラヌト云フコトヲ
常ニ考ヘテ居リマスルノデ、其ノ方針ニ依
ツテ是ガ具體的措置ヲ講ジテ參リタイト考
ヘテ居ルノデアリマシテ、御答ヘハ抽象的
ニナリマスルガ、又具體的ノ點ニ付テ御尋
ねガアリマスレバ、ソレニ付テモ御答ヘ致
シテ行キタイト思ヒマス

ト云フコトヲ中心トシテ、之ニ重點ヲ置イ
テ内容、制度各般ニ向ツテ改善ヲ加ヘテ行
カナケレバナラヌト思フノデアリマス、而
モ此ノ戰争ハ必ズシモ短期デハナイト云フ
ガ即軍隊ノ豫備教育ト云フヤウナモノモ加
味シナケレバナラヌ點モ多々アルト考ヘマ
スルシ、又勤勞方面ノ要請モ段々強化シテ
來ル譯デアリマスルカラ、ソレ等ニ適應シ
テ、此ノ具體的ノ實施問題ト致シマスレバ
多少是ヨリモ又變ツタコトモ考ヘ得ルノデ
アリマスルガ、併シ今日ト致シマシテハ、
具體的ニ申シマスレバ、是レ以外ニ細カイ
點ニ於テハ或ハ多少違ツタ考ヘ方モ出来ル
カト思ヒマスルガ、大體ニ於テハ之ヲ實行
ニ移シテ行クト云フコトガ、先づ先決問題
デハナイカト考ヘテ居ル譯デアリマス、勿論
此ノ中ニ於キマシテハ非常ニ抽象的ニ、又
極ク大マカナ規定モシテアリマスルノデ、
種々誤解ヲ受ケテ居ツタ點モナイトハ言ヘ
ナイト思フノデアリマスルガ、是等ニ付キ
マシテハ十分誤解ヲ取去ルヤウニ努力モ致
シテ居リマスルシ、又私ハ國民ノ要請ト云
フコトハ、教育ノ中ニ十分ニ盛込シテ行カ
ナケレバナラヌ、國民生活ナリ或ハ國情ナ
リニ遊離シタ教育デハナラヌト云フコトヲ
常ニ考ヘテ居リマスルノデ、其ノ方針ニ依
ツテ是ガ具體的措置ヲ講ジテ參リタイト考
ヘテ居ルノデアリマシテ、御答ヘハ抽象的
ニナリマスルガ、又具體的ノ點ニ付テ御尋
ねガアリマスレバ、ソレニ付テモ御答ヘ致
シテ行キタイト思ヒマス

コトニ致シマシテ、國民學校ニ入ル二箇年前ヲ準備教育トシテ、小サイ中カラ日本精神ヲ之ニ打込ンデ、心身鍛錬ヲサセルト云フ建前ヲ執ル必要ガアルト思ヒマスルガ、此ノ點ハ如何デアリマセウカ、一ツヅツ先づ伺ツテ行キタイト思フノデアリマス〇岡部國務大臣 只今ノ御尋ネノ最初ニ御言葉ガアリマシタガ、生レタ者カラ直ニ國家ガ之ヲ教育スル必要ガアルト云フ風ニモ伺ツタノデアリマスルガ、此ノ點ハ政府ト致シマシテハ、教育ハ飽クマデモヤハリ親ノ義務デナケレバナラヌ、子供ノ教育ハ親ガスルト云フ建前ハ、日本ノ家族制度ニ立脚シタル此ノ國體カラシテ、其ノ根本ヲ忘レナイヤウニシナケレバナラスト云フコトハ、總理初メ政府ノ一貫シタ者へ方デアリマシテ、育英會法案等ヲ審議ノ際ニモ、ヤハリ是ハ親ノ教育ノ義務ヲ忘レサセルヤウナコトニナツテハナラスト云フコトガ、常ニ考ヘラレテ居ツタ譯デアリマス、是ハ皆様方ノ方ニ於テモ、サウ云フ御意見ガ大體オアリニナツタヤウニ拜承シテ居ルノデアリマスガ、併シ今御話ノ通り三歳、四歳ノ子供ヲ幼稚園ニ於テモツ徹底シタ保育ヲシテ行カナケレバナラヌデハナイカト云フ御考ヘニ付キマシテハ、是モ一つノ考ヘ方ト思ヒマスガ、又必要ノコトデモアラウト者ヘマスガ、實際問題トシテハソコマデ義務的ニヤラセルト云フコトガ中々困難ガアルヤウデアリマスノデ、私モマダ其ノ點ニ付テハ研究モシテ居リマセヌガ、尙詳シイコトガ御希望デアレバ事務當局カラ御説明申上ガマス〇多田委員 教育ハ人ニ任せルト云フ話デアリマシタガ、今日ノ場合ニ於キマシテハ、

ヤハリ國家ノ力ト云フモノガ教育ノ上ニモ強ク滲透シテ行クト云フコトニスルコトガ、此ノ點ハ如何デアリマセヌガ、而モ此ノヅ同ツテ行キタイト思フノデアリマス〇千葉縣ノ千倉町ト云フ所デ現ニ之ヲ實行シテ居ルノデアリマシテ、相當ノ成績ヲ挙ゲルト云フ建前ハ、私ハ千葉縣デアリマスガ、モノニスルト云フ建前ハ、私ハ千葉縣ノ千倉町ト云フ所デ現ニ之ヲ實行シテ居リマス、義務教育ニハシテ居リマセスケレドモ、可ナリ成績ヲ挙ゲテ居ルノデアリマス、私ハ今後ドウシテモ其ノ建前ヲ踏みシテ行ク必要ガアルト思フノデアリマスガ、大臣御立チノヤウデアリマスカラ、次官カラデモ宜シウゴザイマスガ、御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス〇菊池政府委員 幼兒ノ保育ノ問題デアリマスガ、今御話ノゴザイマシタヤウニ、是ハ事柄ガ極メテ大切ナ問題デアルト思ヒマス、第一其ノ保育ニ當ルベキ者ノ指導者モ考ヘナリマスト、實施ニ付テハ餘程色々ナ點ヲ考ヘナケレバナラヌシ、資材其ノ他ノ點モ考ヘナリマスガ、只今次官カラ伺ツテ見マスト、其ノ設備、或ハ是ノ教育ニ當ル人、各種ノ要デアル、各種ノ點カラ考ヘテ居ルノデアリマスガ、私ハサウ云フコトハ事務的ノ事柄デ、大シタ問題デハナイト思フ、唯今日此ノ場合ニ於テ此ノ制度ヲ執ルコトノ可ナリヤ否ヤ、此ノ問題ガ決定ヲ致シマスレバ、アトハモウ些々タル問題デアツテ、サウ考慮ニ入レル必要ハナイト思フ、現在我々が論議シヨウト云フ此ノ育英法ノ如キ、是ハ二、三年前ニハ、考ヘテモ考ヘ得ラレナイコトデアツタケレドモ、モウ時局ガ之ヲ要致シテ居ル、而モ衆議院ニ於テ何人モ之ニ異論ヲ挾ム者ガナイト云フ問題ニナツテ云フコトハ如何カト思ヒマスノデ、是ハシイコトガ御希望デアレバ事務當局カラ御説明申上ガマス〇多田委員 教育ハ人ニ任せルト云フ話デアリマシタガ、今日ノ場合ニ於キマシテハ、

シテハ親ノ責任トシ、又親ガ其ノ責任ヲ全質問ヲスルノデアツテ、設備、校舎、補導員ト云フヤウナコトハ制度上ノ問題デ、後ウ云フ有效ナ結果ヲ挙ゲルト云フニハ、ドウシテモ家庭教育ト云フコトガ極メテ大切デアルト思ヒマス、家庭教育ノ中心タル母ノ教育、母ノ自覺、サウ云フモノニ付テ政府ト致シマシテモ家庭教育ノ振興充實ヲ期シテ参りタイ、ソレ等ノ必要ナル資材ヲ考ヘテ参りタイト、目下左様ニ考ヘテ居リマス

○菊池政府委員 現在公立ノ、所謂市町村立ノ幼稚園ハ二千校バカリゴザイマス、幼兒ノ之ニ就學致シテ居リマス數モ十七萬ヲ超エテ居リマシテ、漸次發達ノ状況ニアリマス、今多田サンノ熱心ナ御意見モ、幼兒ノ保育教育、ソレカラ時局下ニ於ケルサウ云フ施設ノ擴充ト云フコトハ私ハ必要デアルト思ヒマス、ソレカラ殊ニ今御話ノアリノ效果ヲ挙ゲル上ニ於テモ必要デアル、殊ニ今日ノヤウニ勞力ノ不足ヲ致シテ居ル時ニハ、幼稚園ニ子供ヲ入れテ置イテ父兄ガヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、第一其ノ保育ニ當ルベキ者ノ指導者モ考ヘナリマスト、實施ニ付テハ餘程色々ナ點ヲ考ヘナケレバナラヌシ、資材其ノ他ノ點モ考ヘナリマスガ、私ハサウ云フコトハ事務的ノ事柄デ、大シタ問題デハナイト思フ、唯今日此ノ場合ニ於テ此ノ制度ヲ執ルコトノ可ナリヤ否ヤ、此ノ問題ガ決定ヲ致シマスレバ、アトハモウ些々タル問題デアツテ、サウ考慮ニ入レル必要ハナイト思フ、現在我々が論議シヨウト云フ此ノ育英法ノ如キ、是ハ二、三年前ニハ、考ヘテモ考ヘ得ラレナイコトデアツタケレドモ、モウ時局ガ之ヲ要致シテ居ル、而モ衆議院ニ於テ何人モ之ニ異論ヲ挾ム者ガナイト云フ問題ニナツテ云フコトハ如何カト思ヒマスノデ、是ハシイコトガ御希望デアレバ事務當局カラ御説明申上ガマス〇多田委員 教育ハ人ニ任せルト云フ話デアリマシタガ、今日ノ場合ニ於キマシテハ、

シテハ親ノ責任トシ、又親ガ其ノ責任ヲ全質問ヲスルノデアツテ、設備、校舎、補導員ト云フヤウナコトハ制度上ノ問題デ、後ウ云フ有效ナ結果ヲ挙ゲルト云フニハ、ドウシテモ家庭教育ト云フコトガ極メテ大切デアルト思ヒマス、家庭教育ノ中心タル母ノ教育、母ノ自覺、サウ云フモノニ付テ政府ト致シマシテモ家庭教育ノ振興充實ヲ期シテ参りタイ、ソレ等ノ必要ナル資材ヲ考ヘテ参りタイト、目下左様ニ考ヘテ居リマス

○菊池政府委員 現在公立ノ、所謂市町村立ノ幼稚園ハ二千校バカリゴザイマス、幼兒ノ之ニ就學致シテ居リマス數モ十七萬ヲ超エテ居リマシテ、漸次發達ノ状況ニアリマス、今多田サンノ熱心ナ御意見モ、幼兒ノ保育教育、ソレカラ時局下ニ於ケルサウ云フ施設ノ擴充ト云フコトハ私ハ必要デアルト思ヒマス、ソレカラ殊ニ今御話ノアリノ效果ヲ挙ゲル上ニ於テモ必要デアル、殊ニ今日ノヤウニ勞力ノ不足ヲ致シテ居ル時ニハ、幼稚園ニ子供ヲ入れテ置イテ父兄ガヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、第一其ノ保育ニ當ルベキ者ノ指導者モ考ヘナリマスト、實施ニ付テハ餘程色々ナ點ヲ考ヘナケレバナラヌシ、資材其ノ他ノ點モ考ヘナリマスガ、私ハサウ云フコトハ事務的ノ事柄デ、大シタ問題デハナイト思フ、唯今日此ノ場合ニ於テ此ノ制度ヲ執ルコトノ可ナリヤ否ヤ、此ノ問題ガ決定ヲ致シマスレバ、アトハモウ些々タル問題デアツテ、サウ考慮ニ入レル必要ハナイト思フ、現在我々が論議シヨウト云フ此ノ育英法ノ如キ、是ハ二、三年前ニハ、考ヘテモ考ヘ得ラレナイコトデアツタケレドモ、モウ時局ガ之ヲ要致シテ居ル、而モ衆議院ニ於テ何人モ之ニ異論ヲ挾ム者ガナイト云フ問題ニナツテ云フコトハ如何カト思ヒマスノデ、是ハシイコトガ御希望デアレバ事務當局カラ御説明申上ガマス〇多田委員 教育ハ人ニ任せルト云フ話デアリマシタガ、今日ノ場合ニ於キマシテハ、

ラヌガ、併シ其ノ事柄ノ重要性、事柄ノ必
要ナコト、ソレカラ出來ルダケサウ云フ面
ニ付テ擴充ヲシテ行クト云フコトニ付テハ、

御意見ノ通り大切ナ事柄デアツテ、私ハ極

メテ贊成デアリマス

○多田委員 次官カラ大體私ノ考ヘテ居ル
幼稚園教育ヲ公立義務教育ニスル方向ニ付
テハ、贊成デアルト云フヤウナ御話ヲ伺ヒ

マシテ、私ハ大イニ意ヲ強ウスル者デアリ

マスガ

是ハ一ツ是非實行ニ移シテ戴キタ

イト考ヘテ居ルノデアリマス、研究サレル

ト云フコトデアリマスガ、實行スルト云フ

考ヘ方ノ下ニ御研究ヲ願ヒタイ、只今公立

二千校ト云フ御話ガアリマシタガ、幼稚園

ハ私立ガ多イヤウデアリマスガ、公立ガソ

ンナニゴザイマセウカ

○菊池政府委員 市町村立ノ幼稚園ノ數ハ

現在二千七十九校デアリマス、私立ニ付キ

マシテハ又調べマシテ御返事申上ゲマス

○多田委員 公立二千校ト云フ此ノ大勢ヲ

見テモ、私ハ此ノ幼稚園教育ヲ義務教育ニ

シテ行クベキダト考ヘルノデアリマス、併

シ此ノ點ハ此ノ程度ニ止メテ置キマス——

大臣ハイツ頃御歸リデアリマセウカ

○小柳委員長 大體十分位ノ豫定デアリマ

スカラ、間モナクオ見エニナリマセウ

○多田委員 ソレデハ大臣ノ御留守中ニ、

事務的ノコトヲ、二御尋ネ致シテ置キマ

ス、早ク教育ノ效果ヲ擧ガルト云フ、ソコ

デ義務教育八年制ヲ六年制ノ現状ノ儘ニ止

メテ置クコトニ贊成デアルコトハ、私先程

申上ゲタ通リデアリマスガ、午前ノ此ノ席

上ニ於テモ、教育ノ效果ヲ少カラシメテハ

イケナイ、徒ラニ年限ヲ少クシテ教育ガ低

下シテハイカスト云フ議論ガ出マシタ、私

モ其ノ説ニハ贊成デアリマシテ、之ヲ實行

スルニハドウスレバ宜イカト申シマスト、

育ノ内容制度ニ向ツテ一大革新ラシテ、六

年間ニ於テ八年ノ效果ヲ擧ガル、而モ其

ノ成績最モ顯著ナリト云フヤウナコトニシ

テ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス

ガ、此ノ點ニ對シテ文部當局ハ如何ニ御考

ヘニナツテ居ルカ、一應伺ツテ置キタイト

思ヒマス

○菊池政府委員 御話ノヤウニ斯様ナ忙シ

キ決戦下ニアリマスル場合ニ於キマシテ

ハ、教育モ亦之ニ即應シテ、出來ルダケ速

カニ其ノ能率ヲ上ゲマシテ、サウシテ速

カニ國ノ要請ニ應ズルヤウニ改善工夫ヲシ

ナケレバナラヌト云フ點ハ、全ク御同感デア

リマス、斯様ナ意味ヲ以チマシテ、御承知

ノヤウニ大學、高等専門學校、中等學校等

ニ於キマシテモ、或ハ相當ノ犠牲ヲ拂ツテ

修業年限ノ短縮ヲ圖リ、或ハ臨機ノ措置ヲ

リ立入ツテ論議スルコトハ避ケマスケレド

モ、是等ニ付テモ相當考ヘル餘地ガアラウ

ト思フ、或ハ土曜日ヲナクスル、暑中休暇

レテ居リマスカラ、専門家デナインリ、餘

シテ行クベキダト考ヘルノデアリマス

スカラ、間モナクオ見エニナリマセウ

○多田委員 ソレデハ大臣ノ御留守中ニ、

事務的ノコトヲ、二御尋ネ致シテ置キマ

ス、早ク教育ノ效果ヲ擧ガルト云フ、ソコ

デ義務教育八年制ヲ六年制ノ現状ノ儘ニ止

メテ置クコトニ贊成デアルコトハ、私先程

申上ゲタ通リデアリマスガ、午前ノ此ノ席

上ニ於テモ、教育ノ效果ヲ少カラシメテハ

イケナイ、徒ラニ年限ヲ少クシテ教育ガ低

下シテハイカスト云フ議論ガ出マシタ、私

モ其ノ説ニハ贊成デアリマシテ、之ヲ實行

スルニハドウスレバ宜イカト申シマスト、

育ノ内容制度ニ向ツテ一大革新ラシテ、六

年間ニ於テ八年ノ效果ヲ擧ガル、而モ其

ノ成績最モ顯著ナリト云フヤウナコトニシ

テ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス

ガ、此ノ點ニ對シテ文部當局ハ如何ニ御考

ヘニナツテ居ルカ、一應伺ツテ置キタイト

思ヒマス

○菊池政府委員 御話ノヤウニ斯様ナ忙シ

キ決戦下ニアリマスル場合ニ於キマシテ

ハ、教育モ亦之ニ即應シテ、出來ルダケ速

カニ其ノ能率ヲ上ゲマシテ、サウシテ速

カニ國ノ要請ニ應ズルヤウニ改善工夫ヲシ

ナケレバナラヌト云フ點ハ、全ク御同感デア

リマス、斯様ナ意味ヲ以チマシテ、御承知

ノヤウニ大學、高等専門學校、中等學校等

ニ於キマシテモ、或ハ相當ノ犠牲ヲ拂ツテ

修業年限ノ短縮ヲ圖リ、或ハ臨機ノ措置ヲ

リ立入ツテ論議スルコトハ避ケマスケレド

モ、是等ニ付テモ相當考ヘル餘地ガアラウ

ト思フ、或ハ土曜日ヲナクスル、暑中休暇

レテ居リマスカラ、専門家デナインリ、餘

シテ行クベキダト考ヘルノデアリマス

スカラ、間モナクオ見エニナリマセウ

○多田委員 ソレデハ大臣ノ御留守中ニ、

事務的ノコトヲ、二御尋ネ致シテ置キマ

ス、早ク教育ノ效果ヲ擧ガルト云フ、ソコ

デ義務教育八年制ヲ六年制ノ現状ノ儘ニ止

メテ置クコトニ贊成デアルコトハ、私先程

申上ゲタ通リデアリマスガ、午前ノ此ノ席

上ニ於テモ、教育ノ效果ヲ少カラシメテハ

イケナイ、徒ラニ年限ヲ少クシテ教育ガ低

下シテハイカスト云フ議論ガ出マシタ、私

モ其ノ説ニハ贊成デアリマシテ、之ヲ實行

スルニハドウスレバ宜イカト申シマスト、

育ノ内容制度ニ向ツテ一大革新ラシテ、六

年間ニ於テ八年ノ效果ヲ擧ガル、而モ其

ノ成績最モ顯著ナリト云フヤウナコトニシ

テ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス

ガ、此ノ點ニ對シテ文部當局ハ如何ニ御考

ヘニナツテ居ルカ、一應伺ツテ置キタイト

思ヒマス

○菊池政府委員 御話ノヤウニ斯様ナ忙シ

キ決戦下ニアリマスル場合ニ於キマシテ

ハ、教育モ亦之ニ即應シテ、出來ルダケ速

カニ其ノ能率ヲ上ゲマシテ、サウシテ速

カニ國ノ要請ニ應ズルヤウニ改善工夫ヲシ

ナケレバナラヌト云フ點ハ、全ク御同感デア

リマス、斯様ナ意味ヲ以チマシテ、御承知

ノヤウニ大學、高等専門學校、中等學校等

ニ於キマシテモ、或ハ相當ノ犠牲ヲ拂ツテ

修業年限ノ短縮ヲ圖リ、或ハ臨機ノ措置ヲ

リ立入ツテ論議スルコトハ避ケマスケレド

モ、是等ニ付テモ相當考ヘル餘地ガアラウ

ト思フ、或ハ土曜日ヲナクスル、暑中休暇

レテ居リマスカラ、専門家デナインリ、餘

シテ行クベキダト考ヘルノデアリマス

スカラ、間モナクオ見エニナリマセウ

○多田委員 ソレデハ大臣ノ御留守中ニ、

事務的ノコトヲ、二御尋ネ致シテ置キマ

ス、早ク教育ノ效果ヲ擧ガルト云フ、ソコ

デ義務教育八年制ヲ六年制ノ現状ノ儘ニ止

メテ置クコトニ贊成デアルコトハ、私先程

申上ゲタ通リデアリマスガ、午前ノ此ノ席

上ニ於テモ、教育ノ效果ヲ少カラシメテハ

イケナイ、徒ラニ年限ヲ少クシテ教育ガ低

下シテハイカスト云フ議論ガ出マシタ、私

モ其ノ説ニハ贊成デアリマシテ、之ヲ實行

スルニハドウスレバ宜イカト申シマスト、

育ノ内容制度ニ向ツテ一大革新ラシテ、六

年間ニ於テ八年ノ效果ヲ擧ガル、而モ其

ノ成績最モ顯著ナリト云フヤウナコトニシ

テ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス

ガ、此ノ點ニ對シテ文部當局ハ如何ニ御考

ヘニナツテ居ルカ、一應伺ツテ置キタイト

思ヒマス

○菊池政府委員 御話ノヤウニ斯様ナ忙シ

キ決戦下ニアリマスル場合ニ於キマシテ

ハ、教育モ亦之ニ即應シテ、出來ルダケ速

カニ其ノ能率ヲ上ゲマシテ、サウシテ速

カニ國ノ要請ニ應ズルヤウニ改善工夫ヲシ

ナケレバナラヌト云フ點ハ、全ク御同感デア

リマス、斯様ナ意味ヲ以チマシテ、御承知

ノヤウニ大學、高等専門學校、中等學校等

ニ於キマシテモ、或ハ相當ノ犠牲ヲ拂ツテ

修業年限ノ短縮ヲ圖リ、或ハ臨機ノ措置ヲ

リ立入ツテ論議スルコトハ避ケマスケレド

モ、是等ニ付テモ相當考ヘル餘地ガアラウ

ト思フ、或ハ土曜日ヲナクスル、暑中休暇

レテ居リマスカラ、専門家デナインリ、餘

シテ行クベキダト考ヘルノデアリマス

スカラ、間モナクオ見エニナリマセウ

○多田委員 ソレデハ大臣ノ御留守中ニ、

事務的ノコトヲ、二御尋ネ致シテ置キマ

ス、早ク教育ノ效果ヲ擧ガルト云フ、ソコ

デ義務教育八年制ヲ六年制ノ現状ノ儘ニ止

メテ置クコトニ贊成デアルコトハ、私先程

申上ゲタ通リデアリマスガ、午前ノ此ノ席

上ニ於テモ、教育ノ效果ヲ少カラシメテハ

イケナイ、徒ラニ年限ヲ少クシテ教育ガ低

下シテハイカスト云フ議論ガ出マシタ、私

モ其ノ説ニハ贊成デアリマシテ、之ヲ實行

スルニハドウスレバ宜イカト申シマスト、

育ノ内容制度ニ向ツテ一大革新ラシテ、六

年間ニ於テ八年ノ效果ヲ擧ガル、而モ其

ノ成績最モ顯著ナリト云フヤウナコトニシ

テ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス

ガ、此ノ點ニ對シテ文部當局ハ如何ニ御考

ヘニナツテ居ルカ、一應伺ツテ置キタイト

思ヒマス

○菊池政府委員 御話ノヤウニ斯様ナ忙シ

キ決戦下ニアリマスル場合ニ於キマシテ

ハ、教育モ亦之ニ即應シテ、出來ルダケ速

カニ其ノ能率ヲ上ゲマシテ、サウシテ速

カニ國ノ要請ニ應ズルヤウニ改善工夫ヲシ

ナケレバナラヌト云フ點ハ、全ク御同感デア

リマス、斯様ナ意味ヲ以チマシテ、御承知

ノヤウニ大學、高等専門學校、中等學校等

ニ於キマシテモ、或ハ相當ノ犠牲ヲ拂ツテ

修業年限ノ短縮ヲ圖リ、或ハ臨機ノ措置ヲ

リ立入ツテ論議スルコトハ避ケマスケレド

モ、是等ニ付テモ相當考ヘル餘地ガアラウ

ト思フ、或ハ土曜日ヲナクスル、暑中休暇

レテ居リマスカラ、専門家デナインリ、餘

シテ行クベキダト考ヘルノデアリマス

スカラ、間モナクオ見エニナリマセウ

○多田委員 ソレデハ大臣ノ御留守中ニ、

事務的ノコトヲ、二御尋ネ致シテ置キマ

ス、早ク教育ノ效果ヲ擧ガルト云フ、ソコ

デ義務教育八年制ヲ六年制ノ現状ノ儘ニ止

メテ置クコトニ贊成デアルコトハ、私先程

申上ゲタ通リデアリマスガ、午前ノ此ノ席

上ニ於テモ、教育ノ效果ヲ少カラシメテハ

イケナイ、徒ラニ年限ヲ少クシテ教育ガ低

下シテハイカスト云フ議論ガ出マシタ、私

モ其ノ説ニハ贊成デアリマシテ、之ヲ實行

スルニハドウスレバ宜イカト申シマスト、

育ノ内容制度ニ向ツテ一大革新ラシテ、六

年間ニ於テ八年ノ效果ヲ擧ガル、而モ其

ノ成績最モ顯著ナリト云フヤウナコトニシ

テ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス

ガ、此ノ點ニ對シテ文部當局ハ如何ニ御考

ヘニナツテ居ルカ、一應伺ツテ置キタイト

思ヒマス

○菊池政府委員 御話ノヤウニ斯様ナ忙シ

キ決戦下ニアリマスル場合ニ於キマシテ

ハ、教育モ亦之ニ即應シテ、出來ルダケ速

カニ其ノ能率ヲ上ゲマシテ、サウシテ速

カニ國ノ要請ニ應ズルヤウニ改善工夫ヲシ

○菊池政府委員 御承知ノヤウニ青年學校ハ勤キツ、學ブヤリ方デアリマス、隨ヒマシテ義務教育ト申シマシテモ、義務課程ト云フモノヲ茲ニ決メテ居ルノデアリマスルガ、一方勤キナガラ學ブト云フ意味ニ於テノ調和ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマテ毎年ノ教授訓練時數ト云フモノハ、標準的ニハ凡ソ二百時間程度ニ過ギナインノデアリマス、此ノ少數ノ時間ヲ活用シテ、此ノ勤勞大衆ノ教育ヲ全ウスルノデアリマスカラ、ソコニ相當ノ苦心ヲ要スルト思フノデス、又御承知ノヤウニ青年學校ハ、以前ノ實業補習學校ト青年訓練所ガ統合セラレマシテ、兩者ノ持味ヲ發揮シツ、茲ニ制度ガ義務制トナリマシタノデ、即チ徵兵適齡期ニ至ルマデノ教育ヲ繼續スル、サウシテ其ノ訓練ヲ經タ者ガ今度徵兵適齡ノ方へ入ツテ行クト云フヤウナ頭デ出來テ居ルノデアリマスルカラ、ソコデ現在普通科二年、本科五年トナツテ居リマス、此ノ普通科義務教育ハ國民學校ノ六年カラ續ク場合ニ、普通科云フモノヲ考ヘテ居リマス、國民學校ノ高等科ヲ卒ヘテ、ソレカラ聯絡致シマスル場合ニハ五年、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、斯様ナ譯ニアリマスカラ、之ヲ唯年限ヲ短縮スルト云フコトハ如何ナモノデアリマセウカ、色々ナ關係ヲ見テ判断シテ居リマス、斯様ナ譯ニアリマスカラ、之ヲ此ノ點ニナリマストト一年ニ一度カ二度、或ハ簡閱點呼式ノヤウナモノヲ招集シテ之ニコトウスルカト云フ問題モアリマセウガ、トドウスルカト云フ問題モアリマセウガ、

教練ヲ加ヘ、之ニ修練ヲ與ヘルト云フヤウナケレバナラスト考ヘテ居リマス、現在ニ於ギマシテハ五年ノ年限ハ、是ハ寧ロ内容ノ運用方法ヲ考フベキデナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス、ト申シマスルノハ或ハ低學年ニ於テ相當學科編成ノ時數ノ盛り方ヲ考ヘテ、高學年ニ於テハ今度ハ現場、職場等ノ勤勞方面ヲ強化スル、サウンテ時間ノ調節ヲ圖リ、全體ヲ通ジテ青年教育ヲ全ウスル

ト云フ方法ガ適切デハアルマイカ、斯ウ云フ風ニ今考ヘテ居リマス

○多田委員 私ノ言葉ガ足ラナカツタカモ云フモノヲ茲ニ決メテ居ルノデアリマスルガ、一方勤キナガラ學ブト云フ意味ニ於テノ調和ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマテ毎年ノ教授訓練時數ト云フモノハ、標準的ニハ凡ソ二百時間程度ニ過ギナインノデアリマス、此ノ少數ノ時間ヲ活用シテ、此ノ勤勞大衆ノ教育ヲ全ウスルノデアリマスカラ、ソコニ相當ノ苦心ヲ要スルト思フノデス、又御承知ノヤウニ青年學校ハ、以前ノ實業補習學校ト青年訓練所ガ統合セラレマシテ、兩者ノ持味ヲ發揮シツ、茲ニ制度ガ義務制トナリマシタノデ、即チ徵兵適齡期ニ至ルマデノ教育ヲ繼續スル、サウシテ其ノ訓練ヲ經タ者ガ今度徵兵適齡ノ方へ入ツテ行クト云フヤウナ頭デ出來テ居ルノデアリマスルカラ、ソコデ現在普通科二年、本科五年トナツテ居リマス、此ノ普通科義務教育ハ國民學校ノ六年カラ續ク場合ニ、普通科云フモノヲ考ヘテ居リマス、國民學校ノ高等科ヲ卒ヘテ、ソレカラ聯絡致シマスル場合ニハ五年、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、斯様ナ譯ニアリマスカラ、之ヲ唯年限ヲ短縮スルト云フコトハ如何ナモノデアリマセウカ、色々ナ關係ヲ見テ判断シテ居リマス、斯様ナ譯ニアリマスカラ、之ヲ此ノ點ニナリマストト一年ニ一度カ二度、或ハ簡閱點呼式ノヤウナモノヲ招集シテ之ニコトウスルカト云フ問題モアリマセウガ、トドウスルカト云フ問題モアリマセウガ、

教練ヲ加ヘ、之ニ修練ヲ與ヘルト云フヤウナケレバナラスト考ヘテ居リマス、現在ニ於ギマシテハ五年ノ年限ハ、是ハ寧ロ内容ノ運用方法ヲ考フベキデナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス、ト申シマスルノハ或ハ低學年ニ於テ相當學科編成ノ時數ノ盛り方ヲ考ヘテ、高學年ニ於テハ今度ハ現場、職場等ノ勤勞方面ヲ強化スル、サウンテ時間ノ調節ヲ圖リ、全體ヲ通ジテ青年教育ヲ全ウスル

ト云フ方法ガ適切デハアルマイカ、斯ウ云フ風ニ今考ヘテ居リマス

○多田委員 私ノ言葉ガ足ラナカツタカモ云フモノヲ茲ニ決メテ居ルノデアリマスルガ、一方勤キナガラ學ブト云フ意味ニ於テノ調和ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマテ毎年ノ教授訓練時數ト云フモノハ、標準的ニハ凡ソ二百時間程度ニ過ギナインノデアリマス、此ノ少數ノ時間ヲ活用シテ、此ノ勤勞大衆ノ教育ヲ全ウスルノデアリマスカラ、ソコニ相當ノ苦心ヲ要スルト思フノデス、又御承知ノヤウニ青年學校ハ、以前ノ實業補習學校ト青年訓練所ガ統合セラレマシテ、兩者ノ持味ヲ發揮シツ、茲ニ制度ガ義務制トナリマシタノデ、即チ徵兵適齡期ニ至ルマデノ教育ヲ繼續スル、サウシテ其ノ訓練ヲ經タ者ガ今度徵兵適齡ノ方へ入ツテ行クト云フヤウナ頭デ出來テ居ルノデアリマスルカラ、ソコデ現在普通科二年、本科五年トナツテ居リマス、此ノ普通科義務教育ハ國民學校ノ六年カラ續ク場合ニ、普通科云フモノヲ考ヘテ居リマス、國民學校ノ高等科ヲ卒ヘテ、ソレカラ聯絡致シマスル場合ニハ五年、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、斯様ナ譯ニアリマスカラ、之ヲ唯年限ヲ短縮スルト云フコトハ如何ナモノデアリマセウカ、色々ナ關係ヲ見テ判断シテ居リマス、斯様ナ譯ニアリマスカラ、之ヲ此ノ點ニナリマストト一年ニ一度カ二度、或ハ簡閱點呼式ノヤウナモノヲ招集シテ之ニコトウスルカト云フ問題モアリマセウガ、トドウスルカト云フ問題モアリマセウガ、

教練ヲ加ヘ、之ニ修練ヲ與ヘルト云フヤウナケレバナラスト考ヘテ居リマス、現在ニ於ギマシテハ五年ノ年限ハ、是ハ寧ロ内容ノ運用方法ヲ考フベキデナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス、ト申シマスルノハ或ハ低學年ニ於テ相當學科編成ノ時數ノ盛り方ヲ考ヘテ、高學年ニ於テハ今度ハ現場、職場等ノ勤勞方面ヲ強化スル、サウンテ時間ノ調節ヲ圖リ、全體ヲ通ジテ青年教育ヲ全ウスル

ト云フ方法ガ適切デハアルマイカ、斯ウ云フ風ニ今考ヘテ居リマス

○多田委員 私ノ言葉ガ足ラナカツタカモ云フモノヲ茲ニ決メテ居ルノデアリマスルガ、一方勤キナガラ學ブト云フ意味ニ於テノ調和ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマテ毎年ノ教授訓練時數ト云フモノハ、標準的ニハ凡ソ二百時間程度ニ過ギナインノデアリマス、此ノ少數ノ時間ヲ活用シテ、此ノ勤勞大衆ノ教育ヲ全ウスルノデアリマスカラ、ソコニ相當ノ苦心ヲ要スルト思フノデス、又御承知ノヤウニ青年學校ハ、以前ノ實業補習學校ト青年訓練所ガ統合セラレマシテ、兩者ノ持味ヲ發揮シツ、茲ニ制度ガ義務制トナリマシタノデ、即チ徵兵適齡期ニ至ルマデノ教育ヲ繼續スル、サウシテ其ノ訓練ヲ經タ者ガ今度徵兵適齡ノ方へ入ツテ行クト云フヤウナ頭デ出來テ居ルノデアリマスルカラ、ソコデ現在普通科二年、本科五年トナツテ居リマス、此ノ普通科義務教育ハ國民學校ノ六年カラ續ク場合ニ、普通科云フモノヲ考ヘテ居リマス、國民學校ノ高等科ヲ卒ヘテ、ソレカラ聯絡致シマスル場合ニハ五年、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、斯様ナ譯ニアリマスカラ、之ヲ唯年限ヲ短縮スルト云フコトハ如何ナモノデアリマセウカ、色々ナ關係ヲ見テ判断シテ居リマス、斯様ナ譯ニアリマスカラ、之ヲ此ノ點ニナリマストト一年ニ一度カ二度、或ハ簡閱點呼式ノヤウナモノヲ招集シテ之ニコトウスルカト云フ問題モアリマセウガ、トドウスルカト云フ問題モアリマセウガ、

教練ヲ加ヘ、之ニ修練ヲ與ヘルト云フヤウナケレバナラスト考ヘテ居リマス、現在ニ於ギマシテハ五年ノ年限ハ、是ハ寧ロ内容ノ運用方法ヲ考フベキデナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス、ト申シマスルノハ或ハ低學年ニ於テ相當學科編成ノ時數ノ盛り方ヲ考ヘテ、高學年ニ於テハ今度ハ現場、職場等ノ勤勞方面ヲ強化スル、サウンテ時間ノ調節ヲ圖リ、全體ヲ通ジテ青年教育ヲ全ウスル

ト云フ方法ガ適切デハアルマイカ、斯ウ云フ風ニ今考ヘテ居リマス

○多田委員 私ノ言葉ガ足ラナカツタカモ云フモノヲ茲ニ決メテ居ルノデアリマスルガ、一方勤キナガラ學ブト云フ意味ニ於テノ調和ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマテ毎年ノ教授訓練時數ト云フモノハ、標準的ニハ凡ソ二百時間程度ニ過ギナインノデアリマス、此ノ少數ノ時間ヲ活用シテ、此ノ勤勞大衆ノ教育ヲ全ウスルノデアリマスカラ、ソコニ相當ノ苦心ヲ要スルト思フノデス、又御承知ノヤウニ青年學校ハ、以前ノ實業補習學校ト青年訓練所ガ統合セラレマシテ、兩者ノ持味ヲ發揮シツ、茲ニ制度ガ義務制トナリマシタノデ、即チ徵兵適齡期ニ至ルマデノ教育ヲ繼續スル、サウシテ其ノ訓練ヲ經タ者ガ今度徵兵適齡ノ方へ入ツテ行クト云フヤウナ頭デ出來テ居ルノデアリマスルカラ、ソコデ現在普通科二年、本科五年トナツテ居リマス、此ノ普通科義務教育ハ國民學校ノ六年カラ續ク場合ニ、普通科云フモノヲ考ヘテ居リマス、國民學校ノ高等科ヲ卒ヘテ、ソレカラ聯絡致シマスル場合ニハ五年、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、斯様ナ譯ニアリマスカラ、之ヲ唯年限ヲ短縮スルト云フコトハ如何ナモノデアリマセウカ、色々ナ關係ヲ見テ判断シテ居リマス、斯様ナ譯ニアリマスカラ、之ヲ此ノ點ニナリマストト一年ニ一度カ二度、或ハ簡閱點呼式ノヤウナモノヲ招集シテ之ニコトウスルカト云フ問題モアリマセウガ、トドウスルカト云フ問題モアリマセウガ、

ト云フ問題デアリマス、大東亞戰爭前マデハ、日本ノ國民學校教員ト云フモノハ、世界ニ於テモ優秀ナルモノデアルト云フコト申シマセヌケレドモ、外國ノ例カラ見マスト、其ノ數モ少ク、而モ相當優秀ナル者モ教職ニ身ヲ奉ジテ居ツタノデアリマスガ、戰爭開始後ニ於ケル教育界ノ狀況ヲ見マスト、甚ダ遺憾デアリマスケレドモ、教育界ノ教職員ノ素質ガ低下セリト申サザルヲ得ナイノデアリマス、而モ可ナリ不適當ナル者モナキニシモアラズ、一例ヲ申シマスト、女學校ヲ卒業シタバカリノ者ニ或ル短期間教育ヲ致シテ、之ヲ直グ採用スル、短期間ノ中ニ直グ本科正教員ニ引直スト云フヤウナコトモアリマス、益々教員ノ素質ガ惡クナツテ來ルト云フコトハ、是ハ蔽フベカラザル事實デアリマス、戰時デアリマスカラ已ムヲ得ストハ申シナガラ、此ノ點ニ付テハ文部當局トシテ、餘程慎重ナル態度ヲ以テ臨見解如何、之ヲ伺ヒタイノデアリマス○菊池政府委員御指摘ノ通り、徵用、召集其ノ他ノ關係モアリ、又今日國民學校等ニ於キマシテモ、教員ノ不足ガ段々現ハレテ參ツテ居リマスコトハ事實デアリマス、リマス、而シテ今御話ノゴザイマシタヤウニ、男女ノ教員ノ比率モ大分變ツテ參ツテ居リマス、此ノ點ハ國民教育上非常ニ大事ナ問題デアリマスカラ、一方ニ於キマシテ

ハ教員ノ養成計畫ヲ擴充致シマシテ、師範學校ニ於ケル教員養成數ヲ増シマス、現ニ來年度ニ於キマシテハ、師範學校ノ其ノ意味ノ供給數ノ擴張ヲ考へテ居リマス、尙臨時施設、ソレカラ教員再教育ノ施設等モ豫算デ相當工夫ハ致シテ居リマス、唯御理解ヲ願ツテ置キタイト思ヒマスコトハ、斯様ニ男女ノ比率ハ變リツ、アリマスケレドモ、本科正教員ニ付テハ餘り著シイ變化ハアリマセヌ、詰リ助教等ニ付テ非常ニ數方増シテ居ル、斯ウ云フ狀況デアリマス、隨テ今申シマスヤウニ、之ニ對スル必要ナ再教育ノ施設ヲ出來ルダケ講ジテ、サウシテ教員ノ資質ノ向上ヲ圖リ、速カニソレヲ補充シテ參リタイ、斯様ニ工夫致シツ、アリマス、今一ツ、ソレト同時ニ教員ノ資格、訓導、准訓導等ノ資格検定方面ノ色々難カシイ條件ガアリマスガ、斯ウ云フ際デモアリマスカラ、無試験検定ノ條件範圍ヲ稍、擴ゲマシテ、民間ニ於ケル相當な經驗者、有識者等ノ人材ノ御協力ヲ願ヒタイト云フ意味デ、此ノ検定方法ニ依ツテ出來ルダケ教員ノ確保ヲ圖ツテ參リタイ、サウ云フヤウナコトモ考ヘテ居リマス

カラウ、若シクハ今マデ誠ニシタ——誠ニシタト言フト語弊ガアリマスガ、辭メテ居ツタ人ヲ又使フト云フコトハ、今日ノ場合ニ於テ相當必要デアラウト思ヒマス、是等ノ點ニ付テモ十分御考慮ヲ願ツテ置キタイト思フノデアリマス。

○阿原政府委員 男子教員、女子教員ノ比率ニ付キマシテ申上ゲマス、十七年度ノ調べデゴザイマスガ、男子百人ニ對シマシテ女子ガ七八人ノ割合ニナツテ居リマス、是多少年前年ヨリモ増加ノ傾向ヲ辿ツテ居リマス、國民學校教員養成施設ニ付キマシテハ、來年度ノ豫算ニ於キマシテ師範學校ノ女子部ノ設置、本科生徒ノ増募、豫科生徒ノ増加等ヲ計畫致シマシテ、ソレドヽ豫算ニ計上致シテ居リマス、今少シク具體的ニ申シマスルト、女子部ハ東京第一、愛知第二、大阪第二ノ各師範ニ女子部ヲ設ケルコトニナツテ居リマス、本科生徒ノ増募ハ男子三學級、女子十六學級ノ増募ヲ考ヘテ居リマス、尙豫科生徒ニ付キマシテハ東京第一師範一學級、大阪第一師範ニ豫科ヲ設置致シマシテ、二學級募集致シタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス

○小柳委員長 多田君ニ一寸申上ゲマスガ、大臣ハ豫算總會ノ方ニモ出席ヲ要求サレテ居リマスノデ、出來ルナラメ纏テ大臣ニ御質問ヲ願ヒタイ、又イラツシヤルサウデアリマスケレドモ……

○多田委員 大臣ニ簡單ニ伺ツテ置キタイト思ヒマスガ、義務教育ヲ六年ニシタコトハ拘ニ結構デス、所ガ國民學校高等科ト云シテ、高等科ヲ設置シテアルノデアリマス、八年ニシテ居ルト云フコトト名義教育ヲ八年ニシテ居ルト云フコトト名

義ノ上ニ於テハ非常ニ相違ガアリマスケレドモ、實質ニ於テハ大差ガナイ、皆高等科ニ残ツテ居ル狀態デアリマスガ、是ハ一ツ高等科ハ廢止シタラ宜カラウト思フノデテ置クノデアルカ、是ガ私ニハ分ラヌノデアリマシテ、寧ロ之ヲ止メテ、私ガ最初ニ申シマシタ幼稚園教育二年、國民學校教育六年、之ヲ了ツタ者ハ今度ハソレヽノ職場職場ニ就ケテ、青年學校ニ入ツテ教育ヲ受ケル、或ハ軍人ニナル、或ハ官吏ニナル、其ノ他適當ナ職業ニ向ハントスル人々、別ニ是ハ教科ヲ設ケテモ宜イト思ヒマスガ、一般的ニ見テ高等科ヲ廢止スル必要ガアルト思ヒマスルガ、如何デアリマスカル。○岡部國務大臣 高等科ノ教育ニ付キマシテハ、固ヨリ尋常科六年ノ上ニ更ニ二年ノ正規ノ課程ヲ教育スルト云フコトハ、ヤハリ非常ニ個々ノ兒童ノ發達ノ上ニ資スル所ガ大キナモノガアルノデアリマシテ、現ニ工場等ニ於キマシテハ、高等科ヲ卒業シタル者デナケレバ役ニ立タナイト云フコトサヘ言フ者ガ澤山アルヤウナ實情デアリマス、今ノ高等科ハ義務制ヲ止メテモ制度トシテハ殘シテアル、不徹底デアルト云フ御意見ハ、一應御尤モナ御意見トモ拜シマスルガ、併シ又一方高等科ノ二年間ノ教育ト云フモノガ、丁度發育ノ最モ旺盛ナ時ニアリマスルノデ、之ヲ止メルト云フ考ヘハ持ツテ居リマセヌ、併シ職場ニ就イテ青年學校ノ教育ヲ受ケル者モ、是レ亦義務制トシテヤツテ居ル譯デアリマス、普通科ノ方ハヤハリ二年、上ノ方ノ本科ヨリハ稍々教育的ナ色彩ヲ濃厚ニ持ツテ居ル譯デアリマシテ、ヤハ

リ現場ニ就キマシテモ教育ヲ或る程度施ス
ト云フコトガ非常ニ能率増進ノ上ニモ好イ
結果ガアリマスノデ、殊ニ高等科ノ如キ、
從來モ非常ニ整頓シタ教育機構トシテヤリ
來ツタノデアリマスカラ、ヤハリ其ノ子供
達ノ能率ヲ増進シテ行キ、又當人ノ資質ノ
向上ヲ圖ツテ行クト云フコトニハ、非常ニ
寄與スル所ガ大キナモノガアルノデアリマ
スカラ、是ハ義務ハ止メテモ、併シ此ノ希
望者ニハ其ノ機會ヲ與ヘルト云フコトガ全
般的ニ考ヘテ滴當ト考ヘテ、サウ云フ風ニ
決定シタ次第アリマス

○多田委員 先程大臣ハ此ノ席ニオイデニ
ナラナカツタモノデアリマスカラ、私ガ申
上ガタコトヲ御聽取リニナラナカツタ點モ
アルト思ヒマスガ、私ハ幼稚園ヲ二箇年教
育ニシテ、満五歳カラヤツテ、國民學校ハ
六年間ノ教育デ、教育内容ヲ非常ニ強化シ
テ、六年デ八年位ノ成績ヲ擧ゲルト云フヤ
ウナ方針デ進ムベシ、斯ウ云フ建前カラ申
シテ居ルノデアリマス、隨テ只今大臣ハ、
工場アタリデハ高等科ヲ卒業シタ者ヲ必要
トシテ居ルノデアル、斯ウ申サレルノデア
リマスガ、ソレハ今日マデノ教育ノヤリ方
ダカラサウ云フコトヲ要求スルノデアツテ、
此ノ戰時下ニ於テ私ガ只今申シマシタヤウ
ニ、根本的ニ改善ヲ加ヘテ行クト云フコト
デアリマスナラバ、必ズシモ高等科ノ生徒
デナクテモ宜カラウト思フ、尋常六年ノ卒
業デ結構ダト思フ、ソレニ況ニ私ハ青年
學校ヲ強化シテ、所謂勵ギナガラ學び、學
ビナガラ勵ク、所謂知行合一ノ教育ヲ執ツ
テ行クト云フ行キ方ヲシタイ、斯ウ考ヘテ
居ルノデアリマスカラ、必ズシモ高等科ヲ
存置シテ置ク必要ハナカラウト思フ、如何

ニモ義務教育ハ止メタノダ、天下ニ向ツテ
戦力増強ハ之ニ依ツテ非常ニ強化サレタソ
ダ、斯様ニ申シテ居リマスケレドモ、實際
カラ言フト、斯ク高等科ガアツテ其處へ皆
入り込ンデ居ル、止メタ理由ヲナサナイ、
是ガ私ハ非常ニ面白クナイ結果ヲ來スト思
フノデアリマスカラ特ニ申上ガルノデアリ
マスガ、一つ十分御研究ヲ願ヒタイト思ヒ
マス

○岡部國務大臣 御意見ハヨク拜聽致シマ
シタ、此ノ國民學校ノ高等科ノ問題、或ハ
青年學校トノ關聯、中等學校其ノ他上級學
校トノ學校教育課程ノ問題等ハ、時局下ニ
於テ將來ニ瓦ツテ考究スペキ問題ガ私ハア
ルト著ヘテ居リマス、隨テ其ノ幼稚園ノ問
題、或ハ就學年齢ノ低下ノ問題ト云フヤウ
ナコトハ、總テ關聯シタ教育ノ大キナ體形
ノ問題ガト考ヘテ居リマスノデ、是等ニ付
テハ研究モ既ニシテ居リマスルシ、又尙ホ
今後十分ニ研究シテ行カナケレバナラヌ問
題ト考ヘテ居リマスルガ、實ハ文部省ニモ
マダ教育研究機關ノ完備シタモノガアリマ
セヌノデ、此ノ點ハ私モ遺憾ニ感じテ居ル
ノデアリマス、教育ノ問題ハ固ヨリ此ノ時
局ノ線ニ沿ツテ應急ノ措置ヲシナケレバ
ナラヌコトハ申スマデモアリマセヌガ、併
シ又餘リニ輕率ナコトモ無論出來ナイノデ
アリマス、是等ニ付テハ十分研究ヲ重ネテ
善處シテ行キタイト考ヘテ居ル次第アリ
マス

○小柳委員長　又參ラレマスケレドモ、出来ルナラバ成ベク一括シテ……
○多田委員　先程私申シマシタヤウニ、豫算總會ハ今日デ三日開カレテ居ルノデアリマスガ、教育問題ニ少シモ觸レテ居ラナイ、此ノ委員會デハ各委員大ニ精勵努力シテ、教育問題ヲ大ニ論議シヨウト云フコトニナツテ居リマス、私ハ別トシテ、私ノ後ニハソレヽ専門家ガ蘊蓄ヲ傾ケテ、白熱セル議論ヲ闘ハサレルコトデアラウト思フ、一ツ大臣ニモ此處ニ御残リヲ願ツテ、アチラハ延バシテモ宜イト思フ、委員長カラアチラノ委員長ニ御話ヲ願ツテ、此ノ委員會ニハ専門家ガ澤山オイデニナルノデスカラ、此處ニオイデラ願ツテウント胸襟ヲ開イテ語ラレンコトヲ御願ヒ致シマス
更ニ私ハ飽クマデ戰力増強ト云フコトヲ中心トシテ、教育問題ヲ論議シテ居リマス、ソコデ男子ノ中等學校ヲ極度ニ縮小シテ行ツタラドウカ、斯ウ云フコトヲ考ヘル、今マデ各府縣大抵一郡ニ一校若シクハ二校位アル、私立學校ヲレタラドノ位ノ數字ニ上ツテ居ルカ知リマセヌガ、相當ノ數字ニ上ツテ居ル、來年カラ四年制ニスルト云フ御話デアリマスケレドモ、四年制ニスルトカ或ハ學徒ノ勤勞動員ト云フコトヲ定メテ、一年ノ三分ノ一ヲ勤勞方面ニ使フトカ云フ如キコトハ出來ルモノデハアリマセヌ、兩立シナイ、二足ノ草鞋ヲ履カウト云フコトニ況ヤ學問ヲシナガラ勞働ヲスルト云フガ如キコトハ出來ルモノデハアリマセヌ、兩立行ク、學問ハ學問デヤルト云フ建前ヲ執ツ

テ行カナケレバナラヌ、青年學校ノ如キ職場ニ居ツテ其ノ餘暇ニ一年二百數十時間ト云フガ如キコトヲヤルト云フコトハ別デアリマス、ソレスマモ中々出來ナイ、デアリマスカラ中學校ヲ存置シテ置イテ、其ノ生徒ヲ或ハ遠イ處へ、或ハソチコチ引張リ廻シテ勤勞ニ從事セシメルト云フコトハ容易ニ出來ナイ、隨ツテ之ニ依ツテ生産力増強ヲ圖ルト云フコトハ不可能ト言ツテ、宜カラウト思フ、寧ロ私ハ此ノ場合中等學校ハ廢止セヌマデモ、一縣ニ一ツ二ツノ程度ニ止メテ置イテ、アトハモウ廢メシマツテ、サウシテソレドヽ職場ニ就カシムル、或ハ軍ニ或ハ生産ニ、農業ニ、各方面ニ活動セシメテ此ノ時局ヲ乘切ルコトニスル必要ガアルト思フ、ドウモ今マデノ日本ノ様子ヲ見マスト、問題ガ起ツテ來ナケレバヤラナイ、是ハ私ハ甚ダ遺憾ニ思フ、此ノ戦争ヲ勝抜ク爲ニハ——此ノ戦争ニドウシテモ勝ツト云フコトハ私共ノ決心デアル、ソレガ爲ニハモウ遅イト思フ、モツト戰力ヲ增强シテ行ク必要ガアルト思フ、私ハ此ノ意味ニ於テ中等學校ヲ極度ニ縮小スルノ意思ナキヤ否ヤヲ文部大臣ニ伺ツテ置キタインデアリマス

其ノ目的ヲ達スル所以デハナイト云フ御意見、是モ確カニ十分ナル效果ヲ上ガルコト等デ、學問ヲシナガラ、勤勞ヲスルコトハ云フモノハ飽クマヂモ之ヲ昂揚シテ行カナケレバ國家ノ將來ノ發展ハ期シ得ナイト考ヘルノデアリマス、固ヨリ此ノ戰爭下ニ於テハ將來ノコトバカリヲ言ツテ居ラレルノデハアリマセヌノデ、今日ノ戰局ニ對處シテ行カナケレバナラナイノデアリマスガ、勤勞ノ關係其ノ他ニ鑑ミマシテ、先づ今日ノ措置ヲ以テ今ノ所デハ足リルト考ヘテ居ル譯デアリマス

○多田委員 是レ以上話ヲ進メマスト議論ニナリマスケレドモ、私ハ現在ノ男子ノ中等學校ハ、女子モアトデ申上ダマスケレドモ、今私ガ申上ダマシタヤウニ廢メテ行クノガ本筋デ、又サウ云フ機運ガ來ルト思ツテ居リマス、是ハ豫言シテ置キマス、成ベク早ク是ハ實行スル方ガ宜イ、來年、再來年ニナルコトガ今日時局ノ最モ要請スル點デアルト云フコトヲ申上ゲテ此ノ點ハモウ止メテ置キマスツテ實行スルト云フヨリカ、今一ツ英斷ヲ試ミ更ニ只今ノ點ニ關係ヲ致シマシテ女子教育デアリマスガ、女ノ教育モコ、デーツ一大轉換ヲスル必要ガアル、文部省ニ於テモ此ノ點ヲ緊急措置トシテ發表ヲシテアリマスケレドモ、女ガ男ノ職場ヲ奪フ或ハ軍需方面ニモ婦人ガ入ツテ行カナケレバナラナイ、時局ノ婦人ニ要請スル範圍ハ極メテ多モ女ハ徵用シナイト斯様ニ申ノテ居リマス、家族制度ノ必要上其ノ美風ヲ破壊シナイト

スケレドモ、私ハ本當ハアノ說ハ反對デアル、女子モ徵用スベシト云フ論デス、徵用セザルベカラザル時節ニナツテ來テ居ル、何ガ故ニア、云フ議論ヲシテ居ルカト私ハ不思議ニ思ツテ居ル位デアル、其ノ位時局ハ益、逼迫シ、女子ニ負荷セラレタル使命ハ多イノデアリマスガ、文部省ト致シマシテハ、緊急措置ニ執レル女子教育、例ヘバ女子ノ商業部門モ非常ニ増加シテ行クト云フヤウナコトモ其ノ一例デアリマセウガ、保安、保健ノ方面、保育ノ方面ニモ力ヲ注イデ行キ、軍需ノ方面ニモ女ノ力ヲ籍リテ行カナケレバナラスト云フ要請ガ時々刻々ト起ツテ參ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ女子教育ノ一大轉換ト申シマスカ、此ノ劃期的計畫ヲコ、デ立テ、行ク必要ガアラウト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テ御經綸ヲ伺ツテ置キタインデアリマス

ノ就職ニ付テハ相當強度化シテ居ル譯ニアリマスガ、併シ微用ト云フヤウナ見地カラ、女子
定シテ居リマセヌノデ、ヤハリ飽クマデモ挺身隊ヲ以テ、相當強度ノ勸奨ニ依ツテ之ヲ實施シテ行カウト云フコトニ大體シテ居ル次第デアリマス、マア今日ノ所ニ於テハ、ヤハリ其ノ程度デ以テ十分效果ヲ擧ゲルト云フコトニ努力シテ居ル譯ニアリマス、又只今マデ學徒ノ勤勞ニ致シマシテモ、女子ノ就職ニ致シマシテモ、豫定數ニハ達シテ居ラナイヤウナ實情デアリマシテ、是ハ先づ總テノ受入レノ方面ノ態勢等モ整備致シマシテ、働く得ルモノハ十分ニ働くセルト云フヤウナ所マデ速カニ到達スルコトガ必要カト考ヘテ居ル譯ニアリマス

○多田委員 今少シ女子教育ノ轉換ト云フコトニ付テ文相ノ具體の方策ヲ伺ヒタインデアリマスケレドモ、併シ餘リ時間ガ掛リマスカラ此ノ點ハモウ止メテ置キマス

ソコデ緊急措置ニ依リマスト、法文科ノ縮小、理工系統ノ強化、文科ハ在來ノ三分ノ一ニスル、而シテ理工科ハ倍フ標準トルト云フコトデアリマスケレドモ、是ハ一體何ヲ標準トシテ斯様ナコトガ出來タノデアリマスカ、又此ノ程度デモ宜シト思フノデアルカドウカ、私ハ文科系統ハモツトタト云フコトハ、何ヲ標準トシテヤツテ居ルノデアルカ、是モウント擴張強化シテ宜イト思フ、文部當局ガ三分ノ一、二倍ニ決メタツテ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイ

學校ハ二分ノニシタト云フ譯デアリマシテ、又擴張ハ二倍トハツキリ決メタ譯デハナイノデアリマス、出來ルダケ擴張スルトコトデアリマスガ、理工科系統ニナリマスト、教室バカリデハ出來マセヌ、ソコニ設備モ必要デアリマス、其ノ設備ガ今日ハ中々サウ簡単ニ出來ナイ點モアリマスカラ、ソレ等ノ點ノ事情ノ許ス限り、凡ユル方面ヲシテ此ノ方面ハ増員スルコトニシテ居ル譯デアリマス、先程申シタヤウナ譯デ、中等商業學校ハ大部分ガ工業學校、理工科系統ニ轉換スルト云フコトニシテ居ル譯デアリマス、是ハ現在ノ數字ヲ申上げマセヌト分リマセヌガ、倍トハ參ラナイカモ知レマセヌケレドモ、相當大キナ増員ガ出來ルト考ヘテ居リマス

ハ今日ノ場合ニ於テハ文部省ガ中心トナツ
テ之ヲヤラナケレバ駄目ダト思ツテ居ル、
而モ文部省ガ丁度之ヲヤリ掛ケタヤウニ考
ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ整備統合問
題ハ一體ドウナツテ居ルノデアリマスルカ、
一つ大臣ノ御言明ヲ伺ツテ置キタイト思ヒ
マス

○岡部國務大臣 今多田君ノ御話ニナリマ
ジタヤウナ、専門學務局長カラノ御答ヘヲ
繰返スコトニナルノデアリマスガ、元々教
育ノ事ハ各自ガ自發的ナ熱意ヲ以テ掛ラナ
ケレバ、教育ノ效果ト云フモノハ譽得ナ
イモノデアルト考ヘマスノデ整理統合等ニ
付キマシテモ、ヤハリ學校當局者ノ大多數
ノ者ガサウ云フ氣持ニナツテ來テ初メテ實
行シ得ルノデハナカラウカト考ヘテ居ルノ
デアリマス、之ヲ無理矢理ニ工場ヲ併セル
ヤウナ、會社合併ノヤウナ譯ニハヤリニク
イ、又ヤルベキデハナイヤウニ考ヘテ居ル
ノデアリマス、併シ今關係學校ノ間に於テ、
統合ノ問題ノ交渉ノ進ンデ居ルモノモアリ
マス、サウ云フモノニ對シテハ文部省トシ
テモ、極力其ノ實現ヲ援助スルコトニ努力致
シテ居ル譯デアリマスガ、マダ具體的ニ發
表スル程度ニハ達シテ居リマセヌ、勿論今
多田君ノ御考ヘノヤウナ整理統合ハ、此ノ
際大イニヤルベシト云フ意見モ少クハナイ
ノデアリマスガ、是ハ色々沿革モアリ又特
殊ノ意義モアルコトデアリマスカラ、我々
ハ慎重ノ上ニモ慎重ヲ期シテ居ル次第デア
リマス

○多田委員 大學ヲ整備スル必要ガアルト
云フコトハ、是ハモウ殆ド定論デハナカラ
ウカト思フ、只大臣ハ自發的ニ起ルノヲ待
ツテ居ルト云フヤウナ意味合デ、銀行會社
都下ノ或ル法文科經濟學部ノ學生ハ、定員
ノ約二割弱ダト云ヒマス、今回ノ緊急措置ニ
依リマシテ、學部ニ殘ル學生數ハ平均現在
ノ割ニ過ギナイ、デアルカラ事實上授業
ガ出來ナイコトニナルト云フ話デアリマス、
私ハ斯ウシタコトヲ考ヘテ見マスト、モウ
徵兵猶豫ノ撤廢、而モ學校モ立行カヌト云
フヤウナ情勢ニナツテ居ル以上ハ、親心ヲ
以テ文部省ガ寧ロ此ノ間ニ介在シテ、親切
ニ之ヲ指導シテ整備統合スルト云フコトガ
必要ダト思フ、唯徒ラニ之ヲ放任シテ置ク
ト云フガ如キコトハ、今日ノ場合執ルベキ
手段デハナイト思フ、殊ニ況ヤ學校ニハ學
校ノ歴史ガアリマス、又感情モアリマス、
惡ク言ヘバ因縁情實モアリマス、中々是ハ
棄テテ置イテ自分デヤリ得ルモノデハアリ
マセヌ、文部省ガ指導役トナツテ此ノ際ヤ
ルト云フコトガ必要ダト思ヒマスルガ、文
部大臣ハ如何ナル見解ヲ持タレテ居ルノデ
アリマセウカ

○岡部國務大臣 其ノ點ニ於テハ大體御同
感デアリマスルノデ、可能ナルモノニ對
シテハ成ルベクサウ云フ風ニアリタイ、ア
ルコトハ結構ナコト考ヘテ居リマス、又
出來ルコトハ或ルベク援助ラシテ、補助マ
テモ考ヘテ居ル譯デアリマス

○多田委員 私ハ整備統合問題ニ付テ文部
當局ノ執レル態度、昨年ノ八月大學專門學校
長會議ニ於テ執レル態度、其ノ後臨時措置
置同ジャウニ、コチラカラ合併ヲ獎メルコ
トハドウカト思フト云フコトデアリマスガ、
併シ必要ガアルト云フ以上ハ、ヤハリ國家
ノ權力ヲ之ニ加味シテ、之ヲ實現、實行シナ
ケレバナリマセヌ、是ハ私ハ當然ノコトダト
思ヒマス、私ノ聞ク所ニ依リマスト、東京
ノ約二割弱ダト云ヒマス、今回ノ緊急措置ニ
依リマシテ、學部ニ殘ル學生數ハ平均現在
ノ割ニ過ギナイ、デアルカラ事實上授業
ガ出來ナイコトニナルト云フ話デアリマス、
私ハ斯ウシタコトヲ考ヘテ見マスト、モウ
徵兵猶豫ノ撤廢、而モ學校モ立行カヌト云
フヤウナ情勢ニナツテ居ル以上ハ、親心ヲ
以テ文部省ガ寧ロ此ノ間ニ介在シテ、親切
ニ之ヲ指導シテ整備統合スルト云フコトガ
必要ダト思フ、唯徒ラニ之ヲ放任シテ置ク
ト云フガ如キコトハ、今日ノ場合執ルベキ
手段デハナイト思フ、殊ニ況ヤ學校ニハ學
校ノ歴史ガアリマス、又感情モアリマス、
惡ク言ヘバ因縁情實モアリマス、中々是ハ
棄テテ置イテ自分デヤリ得ルモノデハアリ
マセヌ、文部省ガ指導役トナツテ此ノ際ヤ
ルト云フコトガ必要ダト思ヒマスルガ、文
部大臣ハ如何ナル見解ヲ持タレテ居ルノデ
アリマセウカ

○岡部國務大臣 其ノ點ニ於テハ大體御同
感デアリマスルノデ、可能ナルモノニ對
シテハ成ルベクサウ云フ風ニアリタイ、ア
ルコトハ結構ナコト考ヘテ居リマス、又
出來ルコトハ或ルベク援助ラシテ、補助マ
テモ考ヘテ居ル譯デアリマス

○多田委員 私ハ整備統合問題ニ付テ文部
當局ノ執レル態度、昨年ノ八月大學專門學校
長會議ニ於テ執レル態度、其ノ後臨時措置
置同ジャウニ、コチラカラ合併ヲ獎メルコ
トハドウカト思フト云フコトデアリマスガ、
併シ必要ガアルト云フ以上ハ、ヤハリ國家
ノ權力ヲ之ニ加味シテ、之ヲ實現、實行シナ
ケレバナリマセヌ、是ハ私ハ當然ノコトダト
思ヒマス、私ノ聞ク所ニ依リマスト、東京
ノ約二割弱ダト云ヒマス、今回ノ緊急措置ニ
依リマシテ、學部ニ殘ル學生數ハ平均現在
ノ割ニ過ギナイ、デアルカラ事實上授業
ガ出來ナイコトニナルト云フ話デアリマス、
私ハ斯ウシタコトヲ考ヘテ見マスト、モウ
徵兵猶豫ノ撤廢、而モ學校モ立行カヌト云
フヤウナ情勢ニナツテ居ル以上ハ、親心ヲ
以テ文部省ガ寧ロ此ノ間ニ介在シテ、親切
ニ之ヲ指導シテ整備統合スルト云フコトガ
必要ダト思フ、唯徒ラニ之ヲ放任シテ置ク
ト云フガ如キコトハ、今日ノ場合執ルベキ
手段デハナイト思フ、殊ニ況ヤ學校ニハ學
校ノ歴史ガアリマス、又感情モアリマス、
惡ク言ヘバ因縁情實モアリマス、中々是ハ
棄テテ置イテ自分デヤリ得ルモノデハアリ
マセヌ、文部省ガ指導役トナツテ此ノ際ヤ
ルト云フコトガ必要ダト思ヒマスルガ、文
部大臣ハ如何ナル見解ヲ持タレテ居ルノデ
アリマセウカ

○岡部國務大臣 其ノ點ニ於テハ大體御同
感デアリマスルノデ、可能ナルモノニ對
シテハ成ルベクサウ云フ風ニアリタイ、ア
ルコトハ結構ナコト考ヘテ居リマス、又
出來ルコトハ或ルベク援助ラシテ、補助マ
テモ考ヘテ居ル譯デアリマス

○岡部國務大臣 御質問ノ大東亞共榮圈建
設ニ貢獻すべキ指導者ノ養成ト云フ問題
シテ行ク、是等モ今日研究スペキ事柄デア
リマス

ガ決定ヲシテ各大學學長トノ交渉ノ經緯、
其ノ後ニ於ケル狀況、是等ニ付テモ實ハ意
見ガアルノデアリマス、併シ申上ヌコト
ニ致シマスガ、兎ニモ角ニモ文部省ガツツ
指導役ニナツテ、傍観シナサイデ、自ラ其ノ
渦中ニ飛込ンデ、補助スベキハ補助スル、
助クベキハ助ケル、殺スベキハ殺スト云フ
コトデ宜イト思フ、國家ノ要請ニ依ツテヤ
ル、私學ヲ撲滅スルトカ擁護スルトカサウ云
フ考ヘ方デハイケナイ、國家ノ爲ニ今はダ
ケノ大戰爭ヲシテ居ル、其ノ爲ニハ文教ノ
府トシテハドウ云フコトヲシナケレバナラ
スカト云フコトヲ岡部文相ハ能ク御承知デ
アリマスカラ、唯、一ツ勇斷以テ之ニ當ルト
云フ御考ヘノ下ニ整備統合ヲ著々ト其ノ實
ヲ示サレンコトヲ特ニ希望致シマシテ此ノ
點ハ止ヌマス

ソコデ大東亞共榮圈ノ確立ト云フコトハ
今日何人モ之ヲ希望シ又其ノ成立ヲ信ジテ
疑ハヌノデアリマスガ、其ノ確立ニ資スル
爲ニ文部省トシテハ如何ナル方針ヲ執ラン
トスルノデアルカ、之ヲ具體的ニ申シマス
ト、大東亞共榮圈ノ中心トシテ立ツ我ガ日
本、而モ彼ノ國民、民族ヲ指導シテ行カナ
ケレバナラヌ我々日本人、曾テ私共ガ滿洲
ニ於テ支那ニ於テ苦キ經驗ヲ嘗メタルコト
ヲ避ケル爲ノ方策ヲ講ジテ行カナケレバナ
ラナイ、ソレニハ一二文部省ガ中心トナツ
テ活動シナケレバナラヌ、其ノ指導者ヲ養
成スル爲ノ方策、或ハ日本ノ文化、日本精
神ノ開拓ト云フガ如キコトヲ此ノ際大東亞
共榮圈内ニ考ヘテ行カナケレバナラヌ
アルガ、是等ニ付テ如何ナル方策ヲ執ラン
トスルノデアラウカ、或ハ又日本語ヲ普及
ハ、是ハ確カニ根本的ナ重大ナ問題デアリ

マス、御話ノ通り從來日本ハサウ云フ點ニ
於テハ寧ロ失敗ノ歴史ヲ持ツテ居ツタノデ
アリマス、此ノ過去ノ經驗ニ鑑ミマシテ、
今後ハ眞ニ尊敬ト信賴ヲ贏チ得ル如キ指導
者ヲ養成シテ、大東亞共榮圈ノ建設ト云フ
コトニハ率先中心トナツテ行カナケレバナ
ラスト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ爲ニ
ハ人格的ナ教養ハ固ヨリノコト、又知識
的ナ所謂日本皇國觀ト云フコトニ付テハ
徹底シタル觀念ヲ持チ、更ニ大東亞共榮圈
ニ關スル知識ハ勿論、更ニ日本世界觀ト云
フモノニ對シテモ茲ニ一ツ徹底シタル觀
念ヲ持ツヤウニ教育ヲシテ參ラナイト、動
モスルト從來ノヤウナ轍ヲ履ム虞ガナイデ
ハナイト考ヘルノデアリマス、是等ニ付キ
マシテハ種々ノ方策ハ考ヘ得ルノデアリマ
スガ、我々トシテハ今日其ノ見地カラ國民
學校教育ヲ初メトシテサウ云フコトヲ多分
ニ織込ンデ居ル次第デアリマス、又ソレヨ
リモ上級ノ學校ニ向ヒマシテハ常ニサウ云
フコトヲ注意シテ念頭ニ置キツ、教育ノ指
導ニ當ツテ行キタイト考ヘテ居ル次第デア
リマス

日本語ノ教育ノコトニ付キマシテモ、是
ハ既ニ文部省内ニ日本語教育振興會ト云フ
補助團體モ作ツテ居ルノデアリマシテ、私
自身其ノ會長ヲシテ居ルヤウナ譯デアリマ
ス、日本語ノ教科書等ハ相當多數編纂致シ
マシテ、現地ノ方ニモ送り出シテ居ルヤウ
ナ譯デアリマス、是等ニ付キマシテハ、具
體的ニ又政府委員ノ方カラ御説明申上ゲル
コトニシタイト思ヒマス
南方科學ノ研究ニ付キマシテモ是レ亦非
常ニ大切ナコトデアリマシテ、科學研究機
關ハ各大學ニ於テ設置セラル、コトニナツ
居ルノデアリマス、所ガ此ノ二ツノモノト
マス、御話ノ通り從來日本ハサウ云フ點ニ
於テハ寧ロ失敗ノ歴史ヲ持ツテ居ツタノデ
アリマス、此ノ過去ノ經驗ニ鑑ミマシテ、
今後ハ眞ニ尊敬ト信賴ヲ贏チ得ル如キ指導
者ヲ養成シテ、大東亞共榮圈ノ建設ト云フ
コトニハ率先中心トナツテ行カナケレバナ
ラスト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ爲ニ
ハ人格的ナ教養ハ固ヨリノコト、又知識
的ナ所謂日本皇國觀ト云フコトニ付テハ
徹底シタル觀念ヲ持チ、更ニ大東亞共榮圈
ニ關スル知識ハ勿論、更ニ日本世界觀ト云
フモノニ對シテモ茲ニ一ツ徹底シタル觀
念ヲ持ツヤウニ教育ヲシテ參ラナイト、動
モスルト從來ノヤウナ轍ヲ履ム虞ガナイデ
ハナイト考ヘルノデアリマス、是等ニ付キ
マシテハ種々ノ方策ハ考ヘ得ルノデアリマ
スガ、我々トシテハ今日其ノ見地カラ國民
學校教育ヲ初メトシテサウ云フコトヲ多分
ニ織込ンデ居ル次第デアリマス、又ソレヨ
リモ上級ノ學校ニ向ヒマシテハ常ニサウ云
フコトヲ注意シテ念頭ニ置キツ、教育ノ指
導ニ當ツテ行キタイト考ヘテ居ル次第デア
リマス

○多田委員 大臣ハ急グヤウデスカラ大臣
ニモウ少シ質問ヲ進メテ見タイト思ヒマス、
次ハ戰爭完遂ニ最モ必要ナル條件デアリマ
スル戰意昂揚ニ關シテノ文相ノ抱負ト申シ
マスカ、御意見ヲ伺ツテ置キタイト思フノ
デアリマス、戰爭遂行ノ資材獲得ノ方面カ
ラ申シマスト、軍需省ガ最近成立致シマシ
テ大體見當ガ付イテ參ツテ居ルノデアリマ
ス、ソレカラ戰爭遂行ニ必要デアル食糧ノ
問題、所謂國民生活ノ安定ヲ得ル爲ニハ農
商省ガ中心トナツテ之ヲ指導シテ居リマ
シテ、大體ニ於テ先づ國民ハ安心ヲ致シテ
アルト考ヘテ居ルノデアリマス、所ガ從來
居ルノデアリマス、所ガ此ノ二ツノモノト
マス、御話ノ通り從來日本ハサウ云フ點ニ
於テハ寧ロ失敗ノ歴史ヲ持ツテ居ツタノデ
アリマス、此ノ過去ノ經驗ニ鑑ミマシテ、
今後ハ眞ニ尊敬ト信賴ヲ贏チ得ル如キ指導
者ヲ養成シテ、大東亞共榮圈ノ建設ト云フ
コトニハ率先中心トナツテ行カナケレバナ
ラスト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ爲ニ
ハ人格的ナ教養ハ固ヨリノコト、又知識
的ナ所謂日本皇國觀ト云フコトニ付テハ
徹底シタル觀念ヲ持チ、更ニ大東亞共榮圈
ニ關スル知識ハ勿論、更ニ日本世界觀ト云
フモノニ對シテモ茲ニ一ツ徹底シタル觀
念ヲ持ツヤウニ教育ヲシテ參ラナイト、動
モスルト從來ノヤウナ轍ヲ履ム虞ガナイデ
ハナイト考ヘルノデアリマス、是等ニ付キ
マシテハ種々ノ方策ハ考ヘ得ルノデアリマ
スガ、我々トシテハ今日其ノ見地カラ國民
學校教育ヲ初メトシテサウ云フコトヲ多分
ニ織込ンデ居ル次第デアリマス、又ソレヨ
リモ上級ノ學校ニ向ヒマシテハ常ニサウ云
フコトヲ注意シテ念頭ニ置キツ、教育ノ指
導ニ當ツテ行キタイト考ヘテ居ル次第デア
リマス

○岡部國務大臣 御話ノ通り此ノ戰意昂
揚、思想ノ問題、是ハ戰爭ノ最後ヲ決スル
鍵ヲ握ツテ居ルヤウナ風ニモ考ヘラレマス
ノデ、我々トシテハ此ノ點ニ付テハ非常ニ
重要性ヲ認メテ居ルノデアリマス、固ヨリ
大政翼賛會或ハ情報局等ガ此ノ方面ニモ相
當大キナ力ヲ持ツテ努力ハサレテ居ルノデ
アリマスガ、併シ其ノ根本ハ何ト申シマシテ
モ思想ノ問題デアルト考ヘルノデアリマシ
テ、此ノ思想ノ問題ヲ根本的ニ究明シ、又之
ニ對スル指導ヲシテ行クノハ文部省ノ責任
デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、所ガ從來
居ルノデアリマス、所ガ此ノ二ツノモノト
マス、御話ノ通り從來日本ハサウ云フ點ニ
於テハ寧ロ失敗ノ歴史ヲ持ツテ居ツタノデ
アリマス、此ノ過去ノ經驗ニ鑑ミマシテ、
今後ハ眞ニ尊敬ト信賴ヲ贏チ得ル如キ指導
者ヲ養成シテ、大東亞共榮圈ノ建設ト云フ
コトニハ率先中心トナツテ行カナケレバナ
ラスト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ爲ニ
ハ人格的ナ教養ハ固ヨリノコト、又知識
的ナ所謂日本皇國觀ト云フコトニ付テハ
徹底シタル觀念ヲ持チ、更ニ大東亞共榮圈
ニ關スル知識ハ勿論、更ニ日本世界觀ト云
フモノニ對シテモ茲ニ一ツ徹底シタル觀
念ヲ持ツヤウニ教育ヲシテ參ラナイト、動
モスルト從來ノヤウナ轍ヲ履ム虞ガナイデ
ハナイト考ヘルノデアリマス、是等ニ付キ
マシテハ種々ノ方策ハ考ヘ得ルノデアリマ
スガ、我々トシテハ今日其ノ見地カラ國民
學校教育ヲ初メトシテサウ云フコトヲ多分
ニ織込ンデ居ル次第デアリマス、又ソレヨ
リモ上級ノ學校ニ向ヒマシテハ常ニサウ云
フコトヲ注意シテ念頭ニ置キツ、教育ノ指
導ニ當ツテ行キタイト考ヘテ居ル次第デア
リマス

○多田委員 戰意昂揚、思想善導ノ責任ハ
文相ニアリ、斯ウ御言明ニナリマシタ、洵
ニ結構デアリマシテ、私共大イニ意ヲ強ウ
マスカ、御意見ヲ伺ツテ見タイン、又只今
豫算等ニモ思想善導ニ關スル計畫ガ織込ン
デアルト云フコトデアリマスカラ、此ノ點
ハ後カラ事務當局ノ方カラ伺ツテ見タイト
思フノデアリマス

固ヨリ文部大臣ノ言ハル、ヤウニ、文部
省ハ學校ガ中心デアルト云フコトデアツテ、
此ノ思想善導ニ付テモ中々容易デナイト云
フコトヲ仰セラレマシタガ、洵ニサウデア
ラウト思ヒマスガ、私ハ文部省ガ其ノ管下
ヲ、部下ヲモウ少シ總動員シテ思想善導、

戰意昂揚ニ積極的ニ乗出シテハドウデアラ
ウカ、斯ウ思フ、我ガ國民ノ忠勇義烈ニ
シテ、洵ニ畏多イコトデアリマスルガ、
御稜威ノ下彼ノ戰果ヲ收メテ居ルコトハ
私共大和民族トシテ衷心感激ニ堪ヘナイ
ノデアリマスルガ、併シ鬱ツテ者ヘテ見マ
スト云フト、我々日常經驗シテ居リマスコ
ト、或ハ政治的ニ或ハ經濟的ニ產業的ニ思想
的ニ見テ、多クノ國民中遺憾ノ節ガナイトハ
申サレマセヌ、唯今日表面ニ現ハレテ居ラ
ス、口カラロヘ傳ヘラレテ居リマスケレド
モ、記事トシテ我々ノ目ニ觸レナイ「ラジオ」
聲トシテ我々ノ耳ニ聽ヘナイダケデアツテ、
中々サウ簡單ニ濟マサレザル情勢ト云フモ
ガ起ツテアルト云フコトダケハ御諒承願ハ
ネバナリマセヌ、恐ラクハ政府當局者モ此ノ
點ハ十分御考ヘ下サレテ居ルコトデアラウ
ト思ヒマス、私ハ其ノ具體的ニコトニ付テ
ハ此ノ場合特ニ申サヌコトニ致シマシテ、
大臣ノ格別ナル所謂眼光紙背ニ徹スル體ノ
眼ヲ以テ此ノ世相ヲ見テ戴キタイト思フノ
デアリマス、所云只今私が抽象的ニ申上ゲ
マシタ此ノ事柄ヲ、此ノ儘捨テ、置イテハ一
體ドウデアラウカ、敵米英ノ謀略ニ掛ル虞
れ斷ジテナシト言明シ得ルデアラウカドウ
カト云フコトヲ餘程考ヘテ行カナケレバナ
ラヌ、ソコデ私ハ敵ノ離反策ニ乘ゼラレヌ
ヤウニ、飽クマデ勝抜ク態勢ヲ確立シテ行
ク爲ニ、特ニ思想善導、戰意昂揚ト云フコ
トヲ茲ニ強調セントスルモノデアリマスガ、
文部省管下ヲ一つ總動員スルト申ス所以ノ
モノハ、此ノ間私ハ地方ニ參リマシテ色々
聽イテ見マンタ、一體國民學校デ今日ノ思
想善導、戰意昂揚ト云フヤウナコトニ付テ
ドンナ指令ヲ受ケテ居ルデアラウカ、ドウ

云フコトヲスベシト云フコトノ命令ヲ受ケ
テ居ルノデアルカト云フコトヲ二、三ノ校
長ニ聽イテ見マシタ、所ガ其ノ人々ノ言ハ
ル、ニ、學年ノ初メニ縣ノ教學課カラ出張
サレテ、郡別ニ校長ヲ集メテ、先づ國防ノ
問題、先づ生產ノ問題、興亞ノ問題、軍人援
護ノ問題等ニ付テ御話ガアリ指導ガアル、ソ
コデ歸ツテ郡單位ニ校長ガ會議ヲ開イテ協
議シタ、併シ極メテ不徹底ノモノデアツタ、
斯様ナコトデアリマス、私ハ今日ノ場合此ノ
程度ノ指導方針デハ、是ハ文部省デヤツテ
居リマスカ、或ハ縣デヤツテ居ルカ分リマセ
スガ、コンナ程度ノ指導方針デハ到底時局
ニ即應スル譯ニハ參ラヌト思ヒマス、モウ少
シ全國的ニ文部省ガ中心トナツテ、各府縣
ノ國民學校長ノ代表者何人カヲ選シテ中央
ニ集メテ、地方長官會議ヲ開クヤウナ形式ヲ
執ツテモ宜シウゴザイマスカラ、文部大臣、
總理大臣ガ之ニ臨席ヲシテ、今日ノ時局、今
日國家ノ要請スルコトハ何デアルカト云フコ
トヲ彼等ノ頭ニウント叩キ込ンデ、サウシ
テ之ヲ持ツテ歸ツテ其ノ學校ナリ教職員ナ
リ、或ハ家庭ナリ或ハ社會ナリニ此ノ指導
ヲ彼等ノ頭ニウント叩キ込ンデ、サウシ
テ見聞談ヲ兒童ノ頭ニ入レ、家庭ニ入レ、
社會ニ入レルト云フコトヲ、國民學校ヲ中
心トシテヤツタラドウデアラウカ、戰爭ヲ
身近カニ感ズルト云フコトデナケレバ本當
ノ戰意ノ昂揚ト云フコトハ出來マセヌ、英
米ト我々ハ内地ニ居ツテ戰フト云フコトデ
アツテハイケナイ、彼等ト四ツニ取ツ組ム
ノダ、彼ノ飛行機ト我ノ體トハ四ツニ取ツ
組ムノダト云フ位ノ決心ヲシナケレバ本當
ノ戰意ノ昂揚ト云フモノハ出來ルモノデハ
アリマセヌ、唯紙ノ上ダケ、或ハ言葉ノ上
ダケデハイケマセヌカラ、國民學校ノ生徒
ナドニハ生々シイ經驗、之ヲ一體驗セシ
メルト云フコトニシマスレバ戰意ノ昂揚ハ
期セズシテ起ル、今日各方面ニ向ツテ飛行
兵ノ志願ヲ、或ハ要請シテ居ルト云フ言葉
トガアルニ過ギナイ、審ロ是ハ大學教授團
ト云フモノヲ組織シテ全國的ニ、全國津々
ト云フモノヲ組織シテ全國的ニ、全國津々

浦々ニ亘ツテ國民ヲ指導スルト云フヤウナ
方法ヲ執ツタラドウデアルカ、象牙ノ塔ヲ
拔出テ是等ノ人々シテ社會的ニ活動セシ
ム所ノ方法ヲ執ル必要ハナイカ、即チ思
想對策ノ上ニ於テモ、或ハ人心指導ノ上ニ
於テモ、私ハ此ノ手段方法ヲ執ルト云フコ
トハ最モ適切ナル方法デアラウト思フ、技術
陣ニ於テモ或ハ食糧陣ニ於テモ、或ハ飛行
機生產陣ニ於テモ、總テノ方面ニ於テ是等
ノ大學教授ガ自ラ陣頭ニ立ツテ國民ニ呼掛
ケルト云フ方法ヲ執ル必要方アルト思フガ、
如何ナモノデアリマセウカ
又國民學校ニ戻リマスガ、國民學校ノ教
職員ニモウ少シ生ケル教育ヲシテ行ツタラ
ドウデアラウカ、戰爭ニ行ツテ自ラ體驗シ
テ來タ教職員、或ハ在郷軍人デモ宜シウゴ
ザイマスガ、サウ云フ人々ノ國民學校ニ連
レ來テ、生々シイ經驗談、活キヽトシ
夕見聞談ヲ兒童ノ頭ニ入レ、家庭ニ入レ、
社會ニ入レルト云フコトヲ、國民學校ヲ中
心トシテヤツタラドウデアラウカ、戰爭ヲ
身近カニ感ズルト云フコトデナケレバ本當
ト云フ御意見デアリマス、是ハ思想對策ニ
付キマシテ色々具體的ノ案ヲ持ツテ居リマ
スノデ、モウ既ニヤツテ居ル仕事モ相當ア
ルノデアリマスガ、之ニ付テ少シ具體的ニ
遺憾ノナイヤウニ最善ノ努力ヲシテ居ル譯
デアリマス
ソレカラ管下ノ總動員ヲシタラ宜カラウ
ト云フ御意見デアリマス、是ハ思想對策ニ
付キマシテ色々具體的ノ案ヲ持ツテ居リマ
スノデ、モウ既ニヤツテ居ル仕事モ相當ア
ルノデアリマスガ、之ニ付テ少シ具體的ニ
御說明申上ガタラ御諒解ノ行ク點モアルト
考ヘテ居リマス、我々トシテ居リマス
ルノデアリマスガ、之ニ付テ少シ具體的ニ
御說明申上ガタラ御諒解ノ行ク點モアルト
考ヘテ居リマス、我々トシテ居リマス
リノ手段ヲ講シテ行キタイト考ヘテ居ル譯
デアリマス、此ノ點ニ付テノ重要性ヲ認メ
ルコトハ多田君ト同様ニ考ヘテ居リマス
ソレカラ大學教授等ヲ動員シタラ宜カラ
ウ、是モヤハリ思想對策ノ一つノ方策トシ
テ色々サウ云フヤウナ點モ考ヘテ居リマス
固ヨリ教授等ハ相當教育、或ハ研究等ニモ
忙シイノデアリマスカラ、其ノ方面ヲシツ
カリヤツテ貰ハナケレバナラスコトハ申ス
マデモナインデアリマス、斯ウ云フヤウナ高イ
教養ヲ持ツタ人達ニ陣頭ニ立ツテヤハリ此

テ居ル、或ハ戰車兵ヲ募集シテ居ル、是等
ノコトニ付テモ今私が申シマスヤウナコト
ヲ先ヅコハニ實行ヲ致シテ、而シテ其ノ實
ヲ舉ゲシメルト云フガ如キ方法ヲ御採リニ
ナル必要ガアルト思ヒマスガ、文部大臣ハ
是等ノ具體方策ニ對シテ如何ナ御考ヘガア
リマスカ、伺ツテ置キタインデアリマス
○岡部國務大臣 今日ノ思想ニ付テノ御話
ガアリマシタガ、之ニ付テハ我々ニ於テモ
深刻ナ觀察ヲシテ居ル譯デアリマス、戰意
昂揚、思想善導ト云フコトハヤハリサウ云
フ方面ニハ特ニ必要ト考ヘテ居ル譯デアリ
マス、是ハ私單ニ文部省バカリノ仕事デモ
アリマセヌノデ、各關係省トモ連絡ヲシテ
遺憾ノナイヤウニ最善ノ努力ヲシテ居ル譯
デアリマス
斯ウ云フ點ニ對シテ文部省ハ如何ニ御考ヘ
ニナツテ居ルノデアルカ、更ニ又文部省ノ
ノ實ヲ舉ゲサシタル必要ガアルト思フガ、
斯ウ云フ點ニ對シテ文部省ハ如何ニ御考ヘ
ニナツテ居ルノデアルカ、更ニ又文部省ノ
足下カラ一つ私ハ考ヘテ行ク必要ガアルト
思フコトハ、全國ノ官公私立ノ大學、是等ノ教
授ハ相當專門家、或ハ達識ノ士、天下崇敬ノ
トナツテ居ル人々ガ頗ル多イノデアリマ
スケレドモ、是等ノ人々カラハ「ラジオ」ニ
依ツテ我々ハ偶々時局ニ關スル意見ヲ聽ク、
聽イテ見マンタ、一體國民學校デ今日ノ思
想善導、戰意昂揚ト云フコトヲ
トガアルニ過ギナイ、審ロ是ハ大學教授團
ノ際大イニ活動シテ貰フト云フコトハ非常

ニ國民全般ニモ良イ影響ガアリ、戰意ノ昂揚ニ資スル所大ナルモノガアルト考ヘマス、ソレモ大體御同感デアリマス
ソレカラ國民學校アタリニ生々シイ經驗ヲ持ツタ者ガ行ツテ話シタラドウカ、是ハ中央カラ派遣スルト云フヤウナコトハ中々出來ルコトデハアリマセヌガ、各學校ニハソレム地元ノ出征軍人ノ歸還者モアルコトデゴザイマスノデ、大體各學校ニ於テハソレ等ノ話ハ皆聽イテ居ルコト思ヒマス、ソレカラ「ラジオ」デモ繰返シ聽イテ居リマス、各學校ニ於テサウ云フコトハ皆ヤツテ居ルコトト考ヘマスガ、之ヲ要スルニ今日國民學校ト雖モサウデアリマスガ、今ヤ中等學校以上ノ學徒ノ戰意昂揚ト云フコトハ、是ハモウ私ハ斷言シテ憚ラナイト思フノデアリマス是ハ我々トシテハ洵ニ心強ク、又賴モシク感ジテ居ルノデアリマシテ、今日ノ青年ガ非常ナ意氣ニ燃立ツテ居ルト云フコトハ、日本ノ將來ハ洵ニ心強イ、大丈夫ダト云フ感ジヲ深クスルノデアリマシテ、固ヨリ中ニハマダノソレノ徹底シナイ者モアルトハ考ヘマスガ、全般的ニ申シマスレバ、日本トシテ是ハ欣幸此ノ上モナイコトト我々ハ考ヘテ居ル譯デアリマス、寧ロ學徒ヨリ年取ツタ者ノ方ガ却テ認識ガ遅レテ居ルノデヤナイカト云フコトヲ能ククノデアリマスガ、子供達が飛行士、飛行兵ヲ志願シヨウトシテモ親ガ中々同意シナイノデ、親深ク、又國家ニ對スル考ヘモ非常ニ徹底シタモノガアルト云フヤウナコトヲ屢々聽クノデアリマシテ、此ノ點ニ付テハ我々深クニ相談シナイデ願書ヲ出シタト云フヤウナタモノガアルト云フヤウナコトヲ屢々聽ク

喜ンデ居ル次第アリマス、尙此ノ上トモサウ云フ精神ガ益、昂揚スルヤウニ努力シテ行キタイト考ヘテ居ル譯デアリマス、ソレカラ校長ヲ中央ニ招致スルト云フトデアリマスガ、是モ隨時ヤツテ居リマス多クノ人間ヲ集メルト云フコトハ交通ノ關係モアリマスガ、ソレ等ノ點モ考ヘテハ居ルノデアリマシテ、現ニ專門學校長等ニ對シテ軍ノ實情等ニ付テノ體驗ヲ持タセルヤウナ措置モ執ツテ、今日各地カラ集ツテ來テ居ルヤウナ譯デアリマス、其ノ他思想對策致シマシテモ屢々會合ヲ催シ、又コチラカラ地方ニモ關係官等ガ出張シテ、地方ノ圖ルト云フヤウナコトヲ始終ヤツテ居ルヤウナ譯デアリマス

○多田委員 思想對策ノ具體策ガアルト云フコトデアリマスカラ、是ハ一ツ後デ又伺ヒタイト思ヒマス、只今私ガ例ヲ擧ゲテ申シマシタノハ、戰意昂揚ニ對スル積極方面ノコトデアリマスガ、消極的方面ニ付テモヤハリ考ヘテ置ケ必要ガアルト思ヒマス、斯ウ云フ場合ニハ政府モ國民モ總テ歩調ガ一本ニナツテ行カナケレバナラヌ、亂レテハイケナイ、私ハ茲ニ一ツ、國民學校ニ關係スルコトデアリマスカラ、例ヲ擧ゲテ文相ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイノデアリマスガ、今日陸軍モ海軍モ、各國民學校ニ向ツシテ志願兵ヲ募集致シテ居リマス所ガ茲ニ不可思議ナルコトハ、海軍ノ方カラ申シマスト、旅費ヲ出ス、而モ大抵ノ所へ入り込ンデ行ツテ志願ヲ受付ケル、此ノ問題ハ陸協議ノ上デ御答辯ニナツテ宜シウゴザイマ

スガ、一應御耳ニ入レテ置キタイト思ヒマ
ス 其ノ位海軍ハ熱心ニヤツテ居リマス、
所ガ陸軍ハドウデアルカト申シマスト、私
ハ千葉縣デアリマスガ、千葉縣デハ僅カ千
葉ト銚子ノ二箇所デ陸軍志願兵ノ検査ヲス
ルノデアリマス、サウシテ其處ヘ行ク者ノ
旅費ハ自辨デアリマス、房州ノ末端カラ其
處ヘ行ク爲ニハ、汽車ヲ利用致シマシテモ
朝ノ時間ニ間ニ合ヒマセヌカラ、前ノ晚
ニ行ツテ泊ツテ居ナケレバナラヌ、而モ館
山マデ汽車ガアリマセヌカラ、其處ニハ已
ムヲ得ズ消防ノ車ヲ利用シテ、何人カノ國
民學校ノ生徒ヲ乗セテ汽車マデ行ク、ソレ
カラニ、三時間モ費シテ千葉ニ行ツテ泊ツ
テ、明日検査ヲ受ケルト云フコトデアツテ
常ナル相違ガアルノデアリマス、ソレデ陸
軍抵一人四十圓位ノ費用ガ掛ルト云フ話デ
アル、而モ附添モ附イテ行カナケレバナラ
ヌト云フ状態デアル、洵ニ其ノ間ニ於テ非
格シタノモ宜イデヤナイカ、試験ヲ一遍受
ケテ吳レ、海軍デ採ラヌカモ知レナイカラ
ラ、又俺ノ方デ採ルト云フヤウナコトデ、
幸ウジテ間ニ合セテ居ルト云フコトデアリ
マス、同ジ帝國ノ海軍ト陸軍デ是ダケノ相
違ガアルト云フコトデアツテハ、是ハ戦意
昂揚ニモ何ニモナリハシマセヌ、國民ハ此
ノ状況ヲ見テ色々ナ話合ヲ致シテ居ル、而
モ上ニ通ズル術モナク、又取上げラレナイ
ト云フ話ヲ、私ハ聞いて參ツタノデアリマ
ス、國民學校生徒固ヨリ之ニ關聯シテ志願
障碍トナルノデアリマスカラ、文相ニ於カ

レマシテハ陸海軍當局ト御相談ヲ願ツテ、此ノ席上ニ於テ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス。其ノ外澤山アリマスケレドモ、段々止メマシテ、更ニ大東亞共榮圈、即チ此ノ戰爭ヲ勝チ抜ク爲ニハ、此ノ圈内ノ全體ノ戰意ノ昂揚ヲ圖ツテ行カナケレバナリマセヌガ、此ノ點ニ對シテ我ガ大日本帝國ノ文部省トシテ、何カ手段方法ヲ執ル必要ハナイカ、彼ノ圈内ノ各國相集マツテ共同宣言ヲ致シテ居リマス、是ハ政治的ニ見テモ、經濟的ニ見テモ、思想的ニ見テモ、可ナリ大キナ效果ヲ及ボシテ居ルノデアリマスガ、文部省ニ於テハ思想ヲ中心トシテ、此ノ共榮圈内各獨立國ノ適當ナル機關ヲ我ガ日本ニ招集シテ、戰意昂揚ニ付テオ互ヒニ協議ヲスル必要ハナカラウカ、日本ノミノ戰意昂揚デアツテハイケナイ、「ダイ」國ノミノ戰意昂揚デアツテハイケナイ、即チ此ノ共榮圈一體トナツテ、此ノ戰爭ヲ勝チ抜カナケレバナラズノデアリマスカラ、共同的ノ戰意昂揚ヲ圖ル必要ガアルト思ヒマス、此ノ提言ヲシテ文相ノ御意見ヲ伺ブノデアリマス○岡部國務大臣 非常ニ有益ナル御提案ト考ヘマス・是ハ篤ト研究シテ行キタイト思ヒマスルガ、文部省ト致シマシテハ、此ノ大東亞共榮圈建設ノ基本ヲ成スモノハ、ヤハリ何ト云ツテモ人間デアリマスルノデ、此ノ人間ヲ養成スルト云フコトニ付テハ、ニ致シマシテ、出來ルダケ優秀ナル留學生ヲ招致シテ、之ニ對シテハ相當ノ補助モ決定致シマシテ、大東亞省ニ於テハ補導ヲ行ヒ、文部省ニ於テハ教育ヲ擔當スルコト與ヘ、學校ニ於テハ之ニ對シテ親切ナル教

其ノ建設ニ資シテ行キタイト云フコトヲ考
ヘマシテ、最近ニ留學生ノ試験ヲスルコト
ニナツテ居リマス、各學校等ニ之ヲ配當致
シマシテ、成規ノ教育ヲ施スコトニスル積
リデアリマス、尙ホ先程申シマシタヤウニ、
大東亞博物館或ハ民族研究所ト云フヤウナ
モノモ、是ハ此ノ共榮圈ノ思想ノ上ニモ相
當貢獻スルモノガアルト考ヘテ居ルノデア
リマス、又民族研究所等ニ於キマシテモ、
各民族ノ事情、其ノ事情ノ中ニハ物的方面
バカリデナク、精神的方面ニ付テモ検討ヲ
シテ、其榮圈建設ノ一助ニ資シテ行キタイ
ト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、最初
ニモ仰セラレマシタ思想指導ノ爲ノ大會議
デモ開イテ、各地カラ招致シテ、サウ云フ
會合ヲシテオ互ヒニ意見ノ交換ヲシ、建設
ニ資シテ行ツタラト云フ御考ヘハ、是ハ非
常ニ結構ナコト考ヘマス、實現スルヤウ
ニ研究シテ見タイト思ツテ居リマス

○多田委員 大體一般的ノ質問ハ此ノ邊デ
中止致シマシテ、此ノ育英法案ノコトニ付
テ二、三大臣ニ伺ツ置キタイト思ヒマス、
希望シテ居ルノデアリマスガ、コ、デ伺ツ
テ見タイコトハ、此ノ法律ヲ運用スルニ當
ツテノ指導精神ハドンナモノデアラウカ、
斯フ云フコトヲ伺ヒタ伊、ナゼ私ガ斯様ナ
質問ヲスルカト申シマスト、世間ノ一部デ
ハ、本法ヲ利用スル所謂貸費生ナル者ハ、
一種ノ僻ミ根性ヲ抱ク虞ガアルデハナカラ
ウカト云フヤウナコトヲ言フ者ガアリマス、

私ハサウ云フコトハナイトハ思ツテ居リマスケレドモ、兎ニ角サウ云フコトヲ言フ方モアル、文相モ亦サウシタ懸念ガアルデハナカレカシト思ツテシタコトガ、幾ラカデモ惡イ結果ヲ生ムト云フガ如キコトガアツテハ困ツタコトニナルノデアリマスカラ、本法運用ニ對シテ、一體ドンナ指導方針ヲ執ルノデアルカ、斯ウ云フコトニ對シテ大イニ世間ノ誤解ヲ解キタイト考ヘテ、斯様ナ質問ヲ致スノデアリマス〇岡部國務大臣 従來斯フ云フヤウナ育英事業ヲ個人的ニ、或ハ地方的ニヤツテ居ルモノガアリマスノデ、無論貸費生モアリマスガ、又給費生ノモノモアルノデアリマシテ、サウ云フ學資ヲ受ケテ居ル者ノ中ニハ、多少僻ミヨ持ツテ居ルヤウナ者、或ハ之ヲ隠シテ居ルヤウナ者モアルヤウニ聞イテ居リマスガ、今度ハ全部賃費デアリマシテ、大威張リデ借りリルコトガ出來ルト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ之ニ對シテ僻ミトカ、人物モ十分選ンデ、唯學問ダケガヨク出來ルト云フノデハ面白クナイト考ヘテ居ルノデアリマス、思想ノ堅實ナ者、又身體ノ強健ナ者、學問モアリ色々ナ仕事ニ耐エル十分ナ素質ヲ持ツタ人間デ、唯經濟上ノ事情デ進學ノ出來ナイ者ニ對シテ此ノ機會ヲ與ヘルコトニシテ行キタイト思ヒマス、而モ是ハ貸付ヲ受ケテスルノデアリマスカラ、將來は返ス義務ガアル譯デアリマス、ソ

レダケニ唯他人カラ恩惠ヲ受ケルト云フヤ
ウナコトハ多少違ノノデアリマス、隨テ
其ノ御懸念ガ若シアリストレバ、之ヲ除去
スルコトニ十分努メテ行キタイト考ヘテ居
ル次第デアリマス

○多田委員 大臣ガ杞憂ナシト仰セラレルノ
デアリマスカラ結構デアリマスガ、實ハ私
サウ云フ意見ヲ外デ聞イタノデアリマス、
大臣モ亦ソンナヤウナ御考ヘデナカラウカ、
ソンナ懸念ヲ多少御持合セデナイカト思ツ
タノデ伺ツテ置イタノデアリマス、要スル
ニ誤解ノナイヤウニシテ置キタイト云フ心
ニ外ナラヌノデアリマス

○岡部國務大臣 自分デ勉強シタクナイト
云フ者ニ勉強ヲ強ヒテ、強制的ニヤラセル
ト云フコトモ如何カト考ヘマス、無論サウ
云フ人間モアルカト考ヘマスルガ、先ヅ大
體ニ於テ志望ヲ一應徵スルコトニシテ居ル
ルノデアリマスカ

○多田委員 ソコガ非常ニ問題ニナルノデ
アリマシテ、私ハ出來ル者デ、金ガナクテ
希望シナイ者ハザラニ是カラ出テ來ルト思
フ、ソレニ對シテ之ヲ勧誘スルトカ、指導
スルトカ云フ方法ヲ執ラナケレバイケナイ
ト思フ、今文部大臣モ言ハル、ヤウニ、頭
ガ良クテ、金ガナクテ勉強シタクナイト云
フ者、之ヲ放り出シテ置クト云フヤウナコ
トデアツテハ、是ハ國家ノ爲ニ非常ナ不利
益デアリ、損失デス、殊ニ今日ノヤウナ場
合ニ於テサウデス、頭ノ良イノガアレバ、
是ハ人ノ子デアツテモ日本ノ子ナノデアル、
日本ノ子ナラバ日本ノ金デ以テ之ヲ教育シ
テ、國家ニ貢獻サセルト云フ建前ヲ執ルコ
トガ必要ダト私ハ思ノ、サウシナケレバ此
ノ法案ヲ作ツタ意味ヲナサスト思フ、デア
リマスカラモウ少シ進ンデ言ヒマスナラバ、
此ノ國家ノ權力ガ教育ノ方面ニモウ少シ浸
透シテ行ク、モウ一步進ンデ言フナラバ、
教育ヲ國家デ管理スルト云フ位ノ建前デ行
クノガ戰時下ノ教育體制デアルト思フ、先
程カラ具體的ニ色々申上ダシタ私ノ精神
ト云フモノハ、大體コヽニ存シテ居ルノデ
アリマス、教育ハ自由ニヤラセル、是ハソ
レデ結構デス、結構デスケレドモ、今日ハ
ソンナ時代ハモウ過ぎタ、出來ル者ハ強制
的ニ國家ノ爲ニ用ヒルト云フ位ノ考ヘ方ヲ
以テシナケレバ、此ノ非常時局突破ノ爲ニ
私ハ寧ロ不利益デアルト者ヘマスカラ斯様
ニ申上ガルノデアツテ、此ノ點ニ對シテ文
部大臣ハ、ソレデモ尙且ツ希望シナイ者ハ
捨テ、置クノダ、ソンナ者ハ澤山殖エテモ
構ハヌト云フ考ヘヲ持ツテ居ラレルノデア
ラウカ、或ハ又私が今申シマスヤウナ考ヘ

方ヲ一應吟味シテ見ル御考へガアルカドウ
ガ、之ヲ伺ツテ置キタイ

○岡部國務大臣 此ノ選定ニ付キマシテ

バ、各専門學校以上ハ其ノ學校ニ於テ、又中等學校ハソレム、地方廳ニ於テ一應選衡シテ、子供ノ進學ヲ妨ゲル者ガナイトモ限ニモアレハ優秀ナ者デアルカラ上ノ學問ヲ優秀ナルオラ持ツテ居ツテ、自分デハ進ンデ勉強シタクナイ、併シ學校當局等が如何ニモアレハ優秀ナ者デアルカラ上ノ學問ヲサセタイト云フ希望ガアル者ハ、是ハ又御話ノ通り勸メテモヤラシテ行ク場合ガアルト考ヘテ居リマス、サウ云フ者ハ何デモ本人ノ自由意思ニ任セルトカ、放ツテ置クベキモノデハナイト考ヘマス、併シサウ云フ者ハ寧ロ例外デヤナカラウカト思フノデアリマシテ、優秀ナル者デ此ノ育英會カラ貸費フ受ケルト云フ希望者ハ相當多イコトダラウト考ヘマスノデ、其ノ中カラ選ソデ此ノ宗員ヲ繼メテ行クト云フコトデ、相當良イ者ガ十分選バレルノデアツテ、ソレ以外ノ今御話ノヤウナ優秀ナル者ハ、決シテ捨テ、置クト云フ意味デハアリマセヌ、併シ事實ニ於テハ少ナカラウ、又良イ者ガアレバ學校カラモ勸メテ貰フト云フコトモ結構ナコト考ヘマス、其ノ點ニ付テハ別ニ御心配ニナルヤウナ扱ヒ方ハシテ行カナイヤウニシテ行キタイト思ツテ居リマス

○多田委員 文部大臣ハサウ云フ人ハ少ナルカ、或ハ中央ニ委員會ヲ設ケテ選定スルカラウト申シテ居ラレルノデアリマスガ、私ハサウ思ハヌ、相當アルト思ヒマス、頭ガ良クテ、余ガナクテボヤ／＼シテ其ノ儘ニナツシマフ者ハ幾ラモアル、グカラヤハリ學校ノ先生ガ、オ前ハヨク出來ル、斯ウ云フ制度ガアルカラツ勉強シタラドウカト云フコトデ、始終勸誘シテ指導スル建

前ヲ執テナケレバナラヌ、又ソレデモ尚且ツ、家ノ子供ハ學問ヲサセルトドンナ方面ニ行クカ分ラスト、無智ナ母親ハ、先程文

部大臣ガ仰シヤルヤウナ妙ナ方ヘ頭ヲ廻ハシテ、子供ノ進學ヲ妨ゲル者ガナイトモ限

ラナイ、サウ云フ者ハ或程度國家ノ力ヲ

以テ引張リ上ゲテ、國家ノ爲ニモナリ、本

人ノ爲ニモナルヤウニ指導シテ行ク必要ガ

アルト思フノデアリマス、此ノ點ハ文部大

臣ハ必ズシモ私ノ說フ否認スルモノデナ

イ、私ノ希望ニ副フヤウナ考ヘ方デ行クト

仰シヤツテ居ラレマスカラ、大體其ノ點ハ

了承シテ置キマス

ソレカラ第一條ニハ優秀ナル學徒デ經濟的理由ニ因リ修學困難ナル者ニ對シ學資ヲ

與ヘルト云フコトガアリマスガ、此ノ選定

如クニ間違ヒノナイヤウニ、而モ十分慎重ナ

ニヤツテ行カナケレバナリマセヌ、ソレ等

ニ付キマシテハ各種ノ施策ヲ講ジマシテ萬

遺憾ナキ手續ヲ以テ參リタイ計畫ヲ著々進

メテ居ル次第アリマス

○多田委員 此ノ點特ニ御注意ヲ願ツテ置

キマス、ソレカラ第十六條ノ問題デアリマ

スガ、大日本育英會ハ左ノ業務ヲ行フ、學

資ヲ貸與スル、學資ノ貸與ヲ受クル學生ヲ

輔導スル、修學上必要ナル施設ノ設置及び

經營ヲスル、前各號ノ業務ニ附帶スル業務

デアルカ、其ノ機關ノ構成ハドウデアルカ、

或ハ各府縣々々ノ學校長トカ、或ハ縣ノ教

學課アタリノ人ヲシテ選定セシメルノデア

スル、斯ウ書イテアリマス、先程ノ大臣

ノ御說明ニ依リマスト、貸費ノ外ニ福利施

設ナドモ講ズル、他ノ方カラ聽キマスト寄

宿舍モ造ル、親心ヲ以テ之ヲ指導スル、身心

ノ鍛錬施設ヲスル、斯様ナコトヲ言ハレテ

居ルノデアリマスガ、私ハ此ノ條文ハ少シ行

過ギデハナイカ、恩惠ガ過ギハセヌカト云

フ感ジガスル、學資ノ貸與ダケデモウ澤山

デス、其ノ上ニ學徒ヲ輔導スル、輔導スル

シテハ豫算トシテ只今計上サレテハナイン

マセヌガ、之ニ付テノ當局ノ御意見ヲ伺ツ

テ置キタインデアリマス

銓衡ハ、各府縣ニ於キマシテ大日本育英會ノ支部ヲ設ケマシテ、府縣知事ヲ支部長トシテ、此ノ下ニソレム、銓衡委員會ヲ作りマシテ、此ノ銓衡委員會ノ銓衡ヲ經テ育英會ノ本部ニ參ルコトニ致シタクイト思ツテ居リマス、專門學校以上ノ學校ノ學生生徒ニ對シマシテハ、本部直接ニ銓衡委員會ヲ設ケマシテ、此ノ銓衡委員會ニ於テ十分慎重ナル調査ヲ致シテ、然ル後大日本育英會ガ決定ヲスルト云フ建前ニ考ヘテ居リマス、尙ホ又は等銓衡ニ當リマシテハ、只今御話ノ如クニ間違ヒノナイヤウニ、而モ十分慎重ニヤツテ行カナケレバナリマセヌ、ソレ等ニ付キマシテハ各種ノ施策ヲ講ジマシテ萬遺憾ナキ手續ヲ以テ參リタイ計畫ヲ著々進メテ居ル次第アリマス

ニ考ヘテ御意見ヲ伺フノデアリマス

○永井政府委員 大日本育英會ノ實際上ノ主タル事業ハ、殆ド貸費ニ相成ル譯デアリマス、唯申スマデモナク大日本育英會ト是ガ貸費ヲ受ケル獎學生——貸費ヲ受ケル者ヲ獎學生ト呼ンデ居リマスガ、此ノ獎學生トノ關係ガ、單ナル金錢ノ貸借ト云フ冷ヤカナ、物質的ナ關係デアツテハナラナイコトハ申スマデモナインデアリマス、此ノ大日本育英會ノ精神カラ申シマシテモ、經濟上困ル青年ニ對シテ、眞ニ國家有用ノ人材トシテ育成シテ行カウト云フコトガ大眼目デアリマスノデ、單ナル學資ノ貸借デハナイ、隨テ貸費ガ眼目デハアリマスガ、其ノ貸費ニ付テハ只今モ御話ノ如ク、色々トシテ考ヘテ行カウト云フノデアリマシテ、目下ノ所計畫及び大日本育英會ニ關シマシテ別途豫算ヲ要求サレテ居リマス事項ニ付テハ、御話ノ如ク此ノ貸費關係ガ殆ド全部デアリマス、其ノ他ノ附帶事業等ニ付キマシテ、又他ノ事業モ或ハ附帶事業トシテ考ヘテ行カウト云フノデアリマシテ、目下ノ所計畫及び大日本育英會ニ關シマシテ別途豫算ヲ要求サレテ居リマス事項ニ付テハ、御話ノ如ク此ノ貸費關係ガ殆ド全部

位ニマア忍ブベシトシテモ、今後修學上必

掲ゲテアリマスヤウナ附帶事業ヲ此ノ大日本育英會ガシテハナラヌト云フ御趣旨デモ
ナイト思ヒマスノデ、先程申上ダマシタヤ
ウニ、經濟的理由ニ依ツテ進學困難ナ者ヲ
國家的有用ノ人材ニ十分育テ上ダルト云フ
精神的ナ意義ニ於テ十分ノ援助ヲスルヤウ
ナ色々ノ事業ハ、今後モヤツテ行ケル途ヲ
開イテ置カケレバナリマセヌ、サウ云フ
意味デ大日本育英會法案ニ其ノ事が明定サ
レテ居ルヤウナ次第アリマスノデ、御諒
承願ヒタイト思ヒマス

○多田委員 同ツテ見マスト、學資ノ貸與

ガ主デアツテ、第三項ナドハ豫算ノ中ニモ

現ハレテ居ラヌシ、差當ツテ之ラドウ云フ

ヤウナ計畫デ實行スルカト云フコトニ付テ

ハ考ヘテ居ラヌ、斯ウ云フコトニ承知シテ

宜シウゴザイマスカ——國家トシテ貸費ス

ルコトガ既ニ大キナ恩典デアリマスカラ、

若シ文部省ニ於テ本案作成ノ上ニ當ツテ、

テヤラナイノダト云フコトデアツテハイケ

ナイト思ヒマスカ、ソレハ

第二項デ學徒ノ輔導ヲスルト書イテアリ、

十分親切ニ相談相手ニナツテヤルト云フコ

ト位マデハ宜シイガ、ソレ以上進ンデ何モ

彼モ——之ヲ見ルト、衣食住一切ノ世話ヲ

アルト思フ、學資ヲ貸シ放シデ何モ考ヘ

第三項以下ノ實質上ノ施設ヲ何モ考ヘテ居

ラスト云フナラバ、是ハナクモガナノ條項

デアルト思フ、學資ヲ貸シ放シデ何モ考ヘ

ミナラズ、之ヲ止メルト云フ必要ノナイコ

トデアルコトハ固ヨリデアリマス、決シテ

御話ノヤウニ、御心配ニナルヤウナ貸費ヲ

受ケ、何モ彼モ此ノ育英會ノ費用デ以テヤ

ツテ貴ヘルト云フヤウナ事態ト云フモノハ、

是ハ無論只今ノ所考ヘテモ居ラナイシ、想

トモ豫テ此ノ問題ニハ非常ニ努力ヲ致シテ

居ツタノデゴザイマスガ、戰爭ガ段々ト苛

烈ニナリマスルニ從ツテ一層此ノ方面ノ施

設ヲ十分ニヤツテ行クコトガ必要デアルト

存ジマス、ソレニハドウ云フコトヲヤルカ

ト言ヒマスト、第一ニハ、先づ戰時國民思

想ヲ確立致シマスルニハ積極面ト消極面ト

ガアルト思フノデアリマスルガ、積極的ノ

面ガ多イノデアリマス、サウシマスト、勢

ヒ思想的ニモ種々ノ困難ガ起ツテ來ルト存

御考慮ヲ願ヒタノデアリマスガ、如何デ

絶對ニ致シマセヌヤウニ致シタイト思ツテ

居リマスノデ、左様御諒承願ヒタイト思ヒ

マス

テ之ヲ滲透セシメテ、其ノ結果戰意ノ昂揚

戰力增强ノ根本ニ培フ爲ニ色々ナ各般ノ教

育内容ノ検討刷新ヲ致シ、或ハ又訓育態勢

申上ゲタノデアリマスガ、此ノ大日本育英

會法案ガ幸ヒニシテ御協贊ヲ得テ出來上リ

マスト、所謂特殊法ニ依ル特殊法人デゴザ

イマシテ、實ハ今モ財團法人トシマシテ大

日本育英會ガ出來上ツテ居リマスガ、是ガ

成立ノ報ガ新聞等ニ於テ傳ハリマスルト、

各方面ノ非常ニ多數ノ人カラ、是コソ目下

ヤツテ貰ヒタイト思ツテ居ツタ事業デアツ

タト云フノデ、涙グマシイバカリノ獻金ガ

相當多數アルノデアリマス、此ノ大日本育

英會ニナリマシテモ、斯ウシタ寄篤ナル寄

附金ト云フヤウナモノハ益多クナツテ參

ルコトカト思ツテ居リマスガ、此ノ特殊法

ニ依ル特殊法人タル大日本育英會ガ運營サ

ソレデアリシノダ、斯ウ私ハ考ヘテ居ルノ

ソレナニマデ優遇スル必要ハナイ、金ヲ貸

シテ親切ニ扱ツテ、精神的ニヤツテヤレバ

ソレデアリシノダ、斯ウ私ハ考ヘテ居ルノ

デアリマスカラ、此ノ點ハ特ニ運營上ニ當

ツテ御注意ヲ願ヒタノデアリマス、其ノ

ソレデアリシノダ、斯ウ私ハ考ヘテ居ルノ

デアリマスカラ、此ノ點ハ特ニ運營上ニ當

ツテ御注意ヲ願ヒタノデアリマスカラ、ソレヲ

レルニ當リマシテ、斯ウシタ寄附金等ノ財

源ヲ以チマシテ、此ノ條文ノ各項ニアリマ

スルヤウナ附帶事業ヲ自ラ致シテ行クト云

フコトハ、是ハ結構ナコトデアリマスルノ

ミナラズ、之ヲ止メルト云フ必要ノナイコ

トデアルコトハ固ヨリデアリマス、決シテ

シマスコトハ、御意見ノ通り洵ニ緊要ナコ

トト存ズルノデゴザイマシテ、文部省ニ於

テモ豫テ此ノ問題ニハ非常ニ努力ヲ致シテ

居ツタノデゴザイマスガ、戰爭ガ段々ト苛

烈ニナリマスルニ從ツテ一層此ノ方面ノ施

設ヲ十分ニヤツテ行クコトガ必要デアルト

存ジマス、ソレニハドウ云フコトヲヤルカ

ト言ヒマスト、第一ニハ、先づ戰時國民思

想ヲ確立致シマスルニハ積極面ト消極面ト

ガアルト思フノデアリマスルガ、積極的ノ

面ガ多イノデアリマス、サウシマスト、勢

ヒ思想的ニモ種々ノ困難ガ起ツテ來ルト存

御考慮ヲ願ヒタノデアリマスガ、如何デ

絶對ニ致シマセヌヤウニ致シタイト思ツテ

居リマスノデ、左様御諒承願ヒタイト思ヒ

マス

○多田委員 當局ガ左様ナ考ヘナラバ結構

デアリマスガ、サツキ私伺ツタ時ニハ、寄

宿舍モ勿論造ル、ソレカラ特別ノ福利施設

モヤルノダ、兎ニ角萬遺憾ナキヲ期シテ

貸費生ト云フモノハモウ身體一つ、頭一つ

持ツテ來サヘスレバ、何モ彼モ國家ノ御厄介ニナツテ立派ニ育ツテ行クノダト云フ風

ニ、御説明ニ依ルト聞エルノデアリマス、

ソンナニマデ優遇スル必要ハナイ、金ヲ貸

シテ親切ニ扱ツテ、精神的ニヤツテヤレバ

ソレデアリシノダ、斯ウ私ハ考ヘテ居ルノ

デアリマスカラ、此ノ點ハ特ニ運營上ニ當

ツテ御注意ヲ願ヒタノデアリマス、其ノ

ソレデアリシノダ、斯ウ私ハ考ヘテ居ルノ

デアリマスカラ、此ノ點ハ特ニ運營上ニ當

ツテ御注意ヲ願ヒタノデアリマスカラ、ソレヲ

レルニ當リマシテ、斯ウシタ寄附金等ノ財

源ヲ以チマシテ、此ノ條文ノ各項ニアリマ

スルヤウナ附帶事業ヲ自ラ致シテ行クト云

フコトハ、是ハ結構ナコトデアリマスルノ

ミナラズ、之ヲ止メルト云フ必要ノナイコ

トデアルコトハ固ヨリデアリマス、決シテ

シマスコトハ、御意見ノ通り洵ニ緊要ナコ

トト存ズルノデゴザイマシテ、文部省ニ於

テモ豫テ此ノ問題ニハ非常ニ努力ヲ致シテ

居ツタノデゴザイマスガ、戰爭ガ段々ト苛

烈ニナリマスルニ從ツテ一層此ノ方面ノ施

設ヲ十分ニヤツテ行クコトガ必要デアルト

存ジマス、ソレニハドウ云フコトヲヤルカ

ト言ヒマスト、第一ニハ、先づ戰時國民思

想ヲ確立致シマスルニハ積極面ト消極面ト

ガアルト思フノデアリマスルガ、積極的ノ

面ガ多イノデアリマス、サウシマスト、勢

ヒ思想的ニモ種々ノ困難ガ起ツテ來ルト存

御考慮ヲ願ヒタノデアリマスガ、如何デ

絶對ニ致シマセヌヤウニ致シタイト思ツテ

居リマスノデ、左様御諒承願ヒタイト思ヒ

マス

○近藤政府委員 戰時ノ國民思想ヲ確立致

シマスコトハ、御意見ノ通り洵ニ緊要ナコ

トト存ズルノデゴザイマシテ、文部省ニ於

テモ豫テ此ノ問題ニハ非常ニ努力ヲ致シテ

居ツタノデゴザイマスガ、戰爭ガ段々ト苛

烈ニナリマスルニ從ツテ一層此ノ方面ノ施

設ヲ十分ニヤツテ行クコトガ必要デアルト

存ジマス、ソレニハドウ云フコトヲヤルカ

ト言ヒマスト、第一ニハ、先づ戰時國民思

想ヲ確立致シマスルニハ積極面ト消極面ト

ガアルト思フノデアリマスルガ、積極的ノ

面ガ多イノデアリマス、サウシマスト、勢

ヒ思想的ニモ種々ノ困難ガ起ツテ來ルト存

御考慮ヲ願ヒタノデアリマスガ、如何デ

絶對ニ致シマセヌヤウニ致シタイト思ツテ

居リマスノデ、左様御諒承願ヒタイト思ヒ

マス

或ハ思想的ニ一定ノ惡イ傾向ニ導クヤウナ運動、思想ガ相當アルコトヲ惧レマンテ、此ノ學說、思想及ビ文化其ノ他ノ方面ニ於ケル國民思想ヲ阻碍シ、若シクハ惡化ニ導クガ如キ諸々ノ問題ヲ根本的ニ研究ヲシ、其外戰時家庭教育ノ刷新及ビ勤勞青少年ノ教化、ソレカラ宗敎家ノ戰時教化ノ振興ノ爲ニ、各宗敎家ガソレドヽ此ノ時局ニ鑑ミ戰意ノ昂揚、戰力ノ増強ニ邁進ヲシテ之ヲ振起セシメルヤウナ方策ヲ立テタイト存ジテ居ルヤウナ次第アリマス、尙ホ今申上ゲタヤウナ家庭生活ヲ根本的ニ增强致シ、之ヲシツカリシタ、思想的ニ動搖ノナイモノニ致ス爲ニ、或ハ母親學級ト云フヤウナモノヲ設ケマシテ、是ハ國民學校若シクハ高等女學校ニ依託實施ヲセシメマシテ、地方或ハ地方農村等ニ於ケル家庭生活ノ戰時的ナ改正——之ニハ色々細カイコトガアリマシテ、日常ノ生活狀況、戰時食糧ノ調理工夫カラ育兒衛生ト云フヤウナ方面マデ、又同時ニ家庭ノ女性ニ對シテ色々ナ戰時的ナ實相ヲ認識セシメル爲ニ行フヤウナ方策モ今講ジテ居ルノデアリマス、其ノ外勤勞青少年、是ハ御承知ノヤウニ今日ノ生產增强ニ最モ多數ヲ要シテ居ルヤウナ部面ニアリマスカラ、是等ノ者ニ對シマシテモ十分ニ報國勤勞觀ヲ認識セシムテ、今日ノ時局下戰力增强ニ遺憾ノナイヤウニ致シマスル爲ニ、國民學校ノ最上級生デ卒業後直グニ勤勞方面ニ從事スルヤウナ生徒、又國民學校高等科ノ生徒ニ對シマシテハ、特ニ鍊成講習會ヲ行ヒマシテ、彼等ガ新シク實踐部面ニ出マシテ、其ノ方面デ色々想上、生活上ノ戸惑ヒ、其ノ矛盾カラ彼等ノ性格及び健康其ノ他ニ於テ矛盾撞著ヲ來

シ、遂ニハ性格的ナ破壊ヲ來スト云ツタヤ
ウナ憂ヒノナイヤウニ、此ノ連絡準備ヲ致
サセル爲ニ、ソレム地方ノ有識者及ビ會
社工場等ノ人々ニモ亦同時ニ青少年ノ生活
ト云フモノヲ理解セシメテ、之ヲ受容レテ、
彼等ガ性格的ニモ、健康的ニモ損ハレヌ
ヤウニ、而モ戰力ノ增强ヲ圖レルヤウナ連
絡鍊成ノ機關ヲ設ケタイ、斯様ニ思ツテ居
ル次第アリマス、同時ニ各工場ニ於ケル、
中等學校若シクハ其ノ他ヲ出マシテ班長、
伍長ノヤウナモノニナツテ、新シク徵用
工ヲ實際擱ンデ世話ヲシテ行クヤウナ者ニ
對シマシテハ、一層ノ訓練ヲ施スヤウニ致
シマシテ、之ヲ私ノ方デハ勤勞高等學級ト
申シテ居リマスガ、大工場ノ私立青年學校
ナドデハ其ノ會社ノ中ニ斯ウ云フモノヲ設
ケサセマシテ、出來ルダケ直接ニ一流ノ人
物ト言ハレルヤウナ人ヲ會社ニ一週間ニ何
時間カハ講師トシテ聘ンデ、是等カラ色々
ナ状況ヲ聽カシテ、彼等ノ修養及び識見ノ
向上ニ努メサセルヤウニ致シテ居リマス、
最近モ某工場ニ參ツテ其ノ様子ヲ私モ見タ
ノデアリマスガ、實ニ熱心ニ斯ウ云フ伍長
級ノ連中ガ、非常ナル興味ヲ持ツテ研修ニ勵
ンデ居ル状況ヲ見テ非常ニ快ク思ツタノデ
アリマス、工場長ナドモ、彼等ガ本當ニ時
局ヲ認識シ、彼等ノ教養ヲ高メルコトニ於
テ、若イ新來ノ徵用工達ヲ本當ニ面倒ヲ見
テ吳レル、能率モ上ルシ又秩序モ保デルノ
デアルカラ、ドウシテモ此ノ問題ハ盛ンニ
ヤツテ貰ハナケレバナラヌト云フコトヲ言
ツテ居リマシタガ、斯ウ云フ方面ニモ努力
ヲ致シタクト思フノデアリマス、ソレカラ
尙ホ地方ノ方面デハ、國民學校ナリ中等學
校ナリ其ノ他カラ、徵用其ノ他ニ依ツテ工

場ニ勤労青少年ヲ送り出スノデアリマスガ、
是等ガ最近兎モスルト、非常ニ不良化スル
ト云フ非難ガアルノデアリマスカラ、今申
上ダタ點ハソレヲドウシテモ改良シナケレ
バナラヌト云フ點カラ注意シテ居ルノデア
リマスガ、ソレヲ注意スルニハ今申上ダタ
諸々ノ施設ト同時ニ、青少年ヲシテ不良化
セシメルノハ主トシテ青少年ガ生活環境ガ
變ツテ、兎モ角淋シガルト云フコトト、親
若シクハ郷里ト云フモノカラ切り放サレル
コトガ非常ナ打撃デアリマスカラ、ソコデ
國民學校及ビ其ノ他ノ學校ノ擔任教員ヲシ
テ、常ニ自分ノ學校ノ卒業生ノ行ツテ居ル
工場ニ對シテハ連絡ヲ取リマシテ、郷里ノ
人々ガドウ云フ狀況デ、後輩ヤ君ノオ父サ
ンナリオ母サンナリハ、君等ガヤツテ居ル
コトヲ大イニ期待シテ待ツテ居ルト云フヤ
ウナ連絡ヲ取り、彼等ガ又ドウ云フ希望ヲ
持ツテ居ルカト云フコトヲ郷里ニ傳ヘテヤ
ルト云フヤウナ、連絡補導ノ機關ヲ新タニ
設置シテ、教員其ノ他ニ當ラセル、斯ウ云
フヤウニ致シテ居ルノデアリマス、其ノ他
是ト同時ニ、斯ウ云フ青年工ヲ入レマスル
工場ノ監督、或ハ企業經營ノ關係者ニ集ツ
テ貰ヒマシテ、是等ニ對シテ新シキ今日ノ
時局ニ即應シテ、殊ニ學徒ノ勤労ト云フヤ
ウナコトデ、一年ノ中四ヶ月モ工場ニ預ケ
ルト云フヤウナコトニナリマスルト、今日
ノ生產工場ト云フモノハ學校ト一體ニナリ
學校ノ氣分ニナツテ是等ヲ十分扱ツテ戴カ
ナケレバナラヌノデアリマスカラ、其ノ企
業經營者ト云フモノト學校當局、教育當局
ト云フモノトガ一ツニナツテ話合フ思想纂
談ノ機會ヲ作ルト云コトヲヤツテ居リマ
ス、尙ホ其ノ外今日國民ニ重大ナル影響ヲ

及ボシツ、アリマスル演劇、詰リ芝居ニアモルトカ、或ハ映畫デアルトカ云フヤウナモノ、是等ニ對シマンシテモ真ニ此ノ我々ノ藝能方面ガ一體トナツテ戦力増強ノ爲ニ努力ヲ致シ、國民ノ士氣昂揚ノ爲ニ努力ヲ致シマスルヤウナ組織ヲ講ジマシテ、最近デハ映畫ノ「スター」デアルトカ、或ハ演劇ノ役者、其ノ他ヲ鍊成ヲ致ス會ヲ致シテ居リマシテ、丁度今日カラ始メマシテ、地方巡業ヲシテ廻ハル藝能者ヲ數十名、若シクハ百名近クモ集メテ、是等ニ戰意ノ昂揚ノ第一線ニ立ツテ働くイテ貰フト云フ氣分デ之ヲヤラセルヤウニ今致シテ居ルノデアリマス、是ハ各方面ニ於テモ其ノ方面ニ於テモ、皆サウ云フ風ニヤラウト思フノデアリマス、尙ホ宗教家ニ於キマシテハ特別布教師ノ鍊成會ヲ催シテ、各方面ノ宗教家ニ一致シテ、此ノ時局ニ即應シテ民心作興ニ當ツテ貰フヤウナ諸々ノ策ヲ講ジテ居ルヤウナ次第アリマス、段々長クナリマシテ、御話シテ居ルト却テ御迷惑デアラウト思ヒマスカラ、此ノ位デ止ヌマスガ、各般ノ問題ニ亘ツテ今日ハサウ云フ風ニ計畫ヲ致シテ居ルヤウナ次第アリマス、是ダケ申上ゲテ置キマス

昭和十九年一月二十五日印刷

昭和十九年一月二十六日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局